別冊資料１

福山市学校施設長寿命化計画

2020 年（令和 2 年）3 月

福山市教育委員会

はじめに

学校施設は，未来を担う子どもたちが集い，生き生きと学び，生活をする場であるとともに，地域住民にとっては生涯にわたる学習，文化，スポーツなどの活動の場であり，災害時には避難先としての役割も果たす重要な施設です。

本市では，企業誘致等に伴う人口の急激な増加に伴い，1969 年（昭和 44 年）から 1997 年（平成 9 年）までの間に 26 校を分離新設し，学校施設を整備してきましたが，この時期に整備した多くの学校施設は，現在，整備後 30 年以上が経過して老朽化が進み，今後 10 年から 20 年の間に，建替えや大規模な改修が集中することとなります。

しかし，少子化・高齢化の進行とそれに伴う人口減少などにより，財政面では税収の減少や医療・介護等の社会保障関係費の増加など，今後さらに厳しさを増すことが予想されます。

国においては，2013 年（平成 25 年）11 月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づき，文部科学省が 2015 年（平成 27 年）3 月に「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定し，教育委員会が所管する域内の学校施設等を対象として，2020 年度（令和 2 年度）までに長寿命化計画を策定するよう求めています。

本市においては，公共施設等サービスを将来にわたり適切に提供できるよう，長期的な視点から全体を見渡し，住みよいまちづくりの実現に取り組むための基本方針として，2016 年（平成 28 年）2 月に「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」を策定し，学校施設を含む公共施設や道路等インフラ施設についての検討や取組が始まっています。

このような状況のなかで，将来にわたって子どもたちが安心・安全な施設環境のなかで健やかに成長し，学習活動を行うことができる学校施設の実現に取り組むため，長期的な視点から学校施設を長寿命化していくための基本計画を策定しました。

目次

第１章　学校施設長寿命化計画の目的
　第１節　学校施設長寿命化計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　第２節　学校施設のめざすべき姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
　第３節　本計画のながれ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

第２章　学校施設を取り巻く現状と課題
　第１節　学校施設の保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
　第２節　学校施設関連経費の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　第３節　学校施設の地域別整備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　第４節　学校の適正配置計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
　第５節　学校施設を取り巻く現状を踏まえた課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

第３章　学校施設の老朽化状況
　老朽化状況の把握フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　第１節　構造躯体の健全性の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　第２節　構造躯体以外の劣化状況の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

第４章　保全に係る基準の設定
　保全に係る基準の設定フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
　第１節　学校施設整備の基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
　第２節　目標使用年数と改修周期の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
　第３節　長寿命化改修の整備レベルの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
　第４節　維持管理レベルの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

第５章　長寿命化の実施計画
　長寿命化の実施計画の策定フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
　第１節　学校施設の長寿命化に向けた整備方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
　第２節　保全優先度の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
　第３節　今後の整備保全計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
　第４節　学校プールの整備方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６６

第６章　継続的な運用方針
　第１節　本計画のコスト効果と今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
　第２節　継続的な運用に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
　第３節　学校施設マネジメントサイクルの構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８０

資料編１　構造躯体の健全性調査による建物別の評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・８１
資料編２　構造躯体以外の劣化状況調査における建物別評価結果・・・・・・・・・・・・・９３
資料編３　施設整備方針別グループの学校別・建物別内訳・・・・・・・・・・・・・・・１０４
資料編４　健全度による学校別・建物別評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１４
資料編５　用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２４

第１章　学校施設長寿命化計画の目的

第１章　学校施設長寿命化計画の目的

第１節　学校施設長寿命化計画について

１　計画の目的

福山市学校施設長寿命化計画（以下，本計画といいます。）の目的は，高度経済成長期に集中して整備した学校の校舎や屋内運動場等の老朽化が進む中，これまでの事後保全から計画的な予防保全へ方針を転換することでこれらの建物を長寿命化し，建替え・改修等に係る中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ，求められる機能や性能の確保も併せて行うことで，めざすべき学校施設を実現することです。

２　計画の位置付け

本計画は，「福山市総合計画」に基づいて公共施設等に関するマネジメントの方針を示す「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」を上位計画として，福山市立の学校の校舎や屋内運動場等の学校施設整備に係る基本計画を定めるものです。

また，2015 年（平成 27 年）6 月に策定した「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」と整合を図りながら策定することとします。

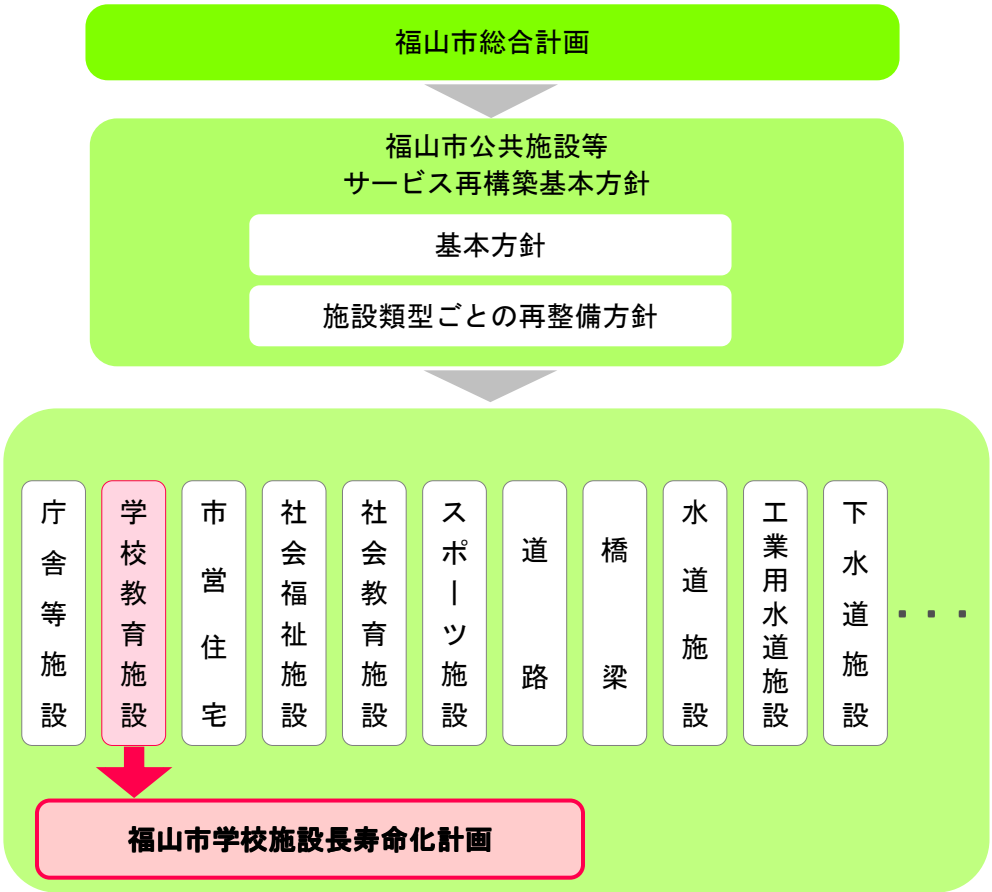


図 1－1　計画の位置付け

３　計画期間

本計画では，2020 年度（令和 2 年度）から 2059 年度（令和 41 年度）までの 40 年間を計画期間とします。

また，本計画は 5 年ごとに見直すこととします。

４　対象施設一覧

本計画における対象施設（以下，学校施設といいます。）は次のとおりです。

施設	対象の棟数		延床面積(㎡)	
小学校 (78 校)	校舎	156 棟	301,744 ㎡	50.6%
	屋内運動場	78 棟	60,359 ㎡	10.1%
中学校 (33 校)	校舎	83 棟	160,074 ㎡	26.8%
	屋内運動場	33 棟	32,617 ㎡	5.5%
	武道場	7 棟	3,321 ㎡	0.6%
義務教育学校 （1 校）	校舎	3 棟	4,924 ㎡	0.8%
	屋内運動場	2 棟	1,616 ㎡	0.3%
中高一貫校 （1 校）	校舎	4 棟	13,554 ㎡	2.3%
	屋内運動場	1 棟	1,564 ㎡	0.2%
	武道場	1 棟	1,115 ㎡	0.2%
幼稚園 (26 園)	園舎	29 棟	13,817 ㎡	2.3%
共同給食調理場 （2 か所）	給食センター	2 棟	1,586 ㎡	0.3%
計	141 施設	399 棟	596,291 ㎡	100.0%

※　対象となる建物は，延床面積が 200 ㎡を超える建物とします。
※　対象となる施設は，延床面積が 200 ㎡を超える建物を有する施設とします。
※　廃校・廃園となった施設は，本計画の対象外とします。
※　福山市公共施設等サービス再構築基本方針における学校教育施設のうち，上記以外の施設は，学校施設とは異なった施設条件であるため，本計画の対象外とします。

第２節　学校施設のめざすべき姿

本市では，2015 年（平成 27 年）6 月に策定した「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」において，「教育環境が変化する中，本市の子どもたちが望ましい教育環境の中で学び合うことができる学校環境を整えることは，現在の教育行政に課せられた重大な責務です。」としています。老朽化の進む学校施設への対応は，学校環境を整えるにあたり，最も基本的かつ重要なことです。

本計画では，学校施設の実態や課題を踏まえ，これからの学校施設がめざすべき姿として次の項目を設定し，実現に向けて取り組みます。

１　安心・安全な施設環境の整備

学校施設は，児童生徒の学びの場であるとともに，住民にとって，スポーツや地域行事，さらには災害発生時の応急避難場所としての役割も担う施設です。

そのため，安心・安全な施設環境を確保することは最も優先すべき課題です。

現在，「福山市立学校施設耐震化推進計画」に基づき，学校施設の耐震化の取組を最優先に進めていますが，この他にも経年劣化に対応するため外壁・屋上防水の改修やトイレ等の衛生設備，給排水設備や電気設備等の改修も一層進めていく必要があります。

２　健全育成のための教育環境の整備

学校施設は，児童生徒が１日の大半を過ごす生活の場でもあります。児童生徒が障がいの有無に関わらず，安全かつ円滑に学校生活を送ることができるよう，バリアフリー化を推進していくことが必要です。

また，近年，地球温暖化の影響等により，夏季における最高気温が上昇傾向にあり，暑さが厳しくなっているなかで，成長期にある児童生徒にとって適切な学習環境となるよう，全市立小中学校の普通教室及び一部の特別教室へ空調設備の整備を進めます。

３　社会の変化に対応する教育環境の整備

情報化・グローバル化が急速に進む高度情報化社会においては，社会の変化に対応できる力を付けることができる教育環境の整備が必要です。

学校施設は，児童生徒の発達段階に応じてＩＣＴ（情報通信技術）に適切に触れられ，家庭や地域との交流や連携を通じて，児童生徒が主体的に活躍できる場であることが求められています。

そのため，建替えや大規模改修の際には，高度情報化社会のニーズの変化に対応したＩＣＴ環境の一体的な整備や学校・家庭・地域との交流や連携に資する環境を整えていく必要があります。

第３節　本計画のながれ

本計画は，学校施設を取り巻く現状と老朽化状況を把握したうえで，保全に係る基準の見直しとこれに基づく長寿命化の実施計画を策定し，持続的に学校施設のマネジメントを実行するための仕組みを構築するというながれとなっています。

第１章　学校施設長寿命化計画の目的

本計画の目的・位置付けを明確にします。

第２章　学校施設を取り巻く現状と課題

学校施設の保有状況，財政状況及び福山市の人口状況等から学校施設を取り巻く現状と課題を把握します。

第３章　学校施設の老朽化状況

学校施設の老朽化状況を建物ごとに把握します。

第４章　保全に係る基準の設定

これまでの保全状況を見直し，学校施設の長寿命化に向けた保全基準を設定します。

第５章　長寿命化の実施計画

学校施設の老朽化状況を踏まえて建物別の整備方針を設定し，今後のコストの見通しと直近５年間の建替え・改修の計画を策定します。

第６章　継続的な運用方針

本計画の効果と課題を示すとともに，学校施設の継続的な実態把握と保全を実行するための仕組みを構築します。

第２章　学校施設を取り巻く現状と課題

第２章　学校施設を取り巻く現状と課題

第１節　学校施設の保有状況

１　公共施設に占める学校施設の割合

本市が保有する公共施設の総数は，2017 年（平成 29 年）3 月 31 日現在，棟数では 4,460 棟，延床面積は 153.2 万㎡です。このうち学校教育施設の延床面積は 68.6 万㎡であり，福山市立大学，福山市研修センター等を除く本計画の対象である学校施設（第 1 章第 1 節参照）の延床面積は 65.6 万㎡と公共施設全体の約 4 割を占めています。

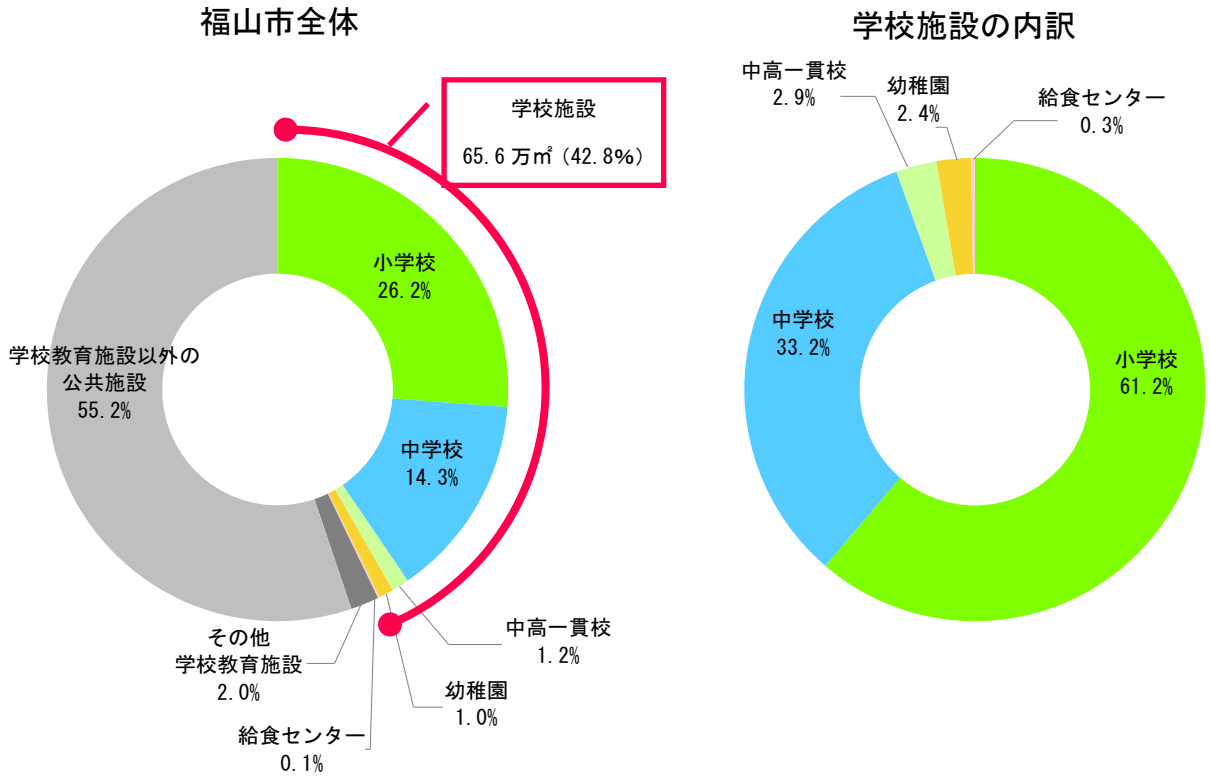


図 2－1－1　本市保有公共施設に占める学校施設の割合とその内訳

※このグラフの延床面積には本計画の対象とならない廃校施設及び 200 ㎡以下の小規模な建物も含んでいます。

※義務教育学校（鞆の浦学園）については，旧鞆小学校の建物を小学校，旧鞆中学校の建物を中学校の延床面積へ算入しています。

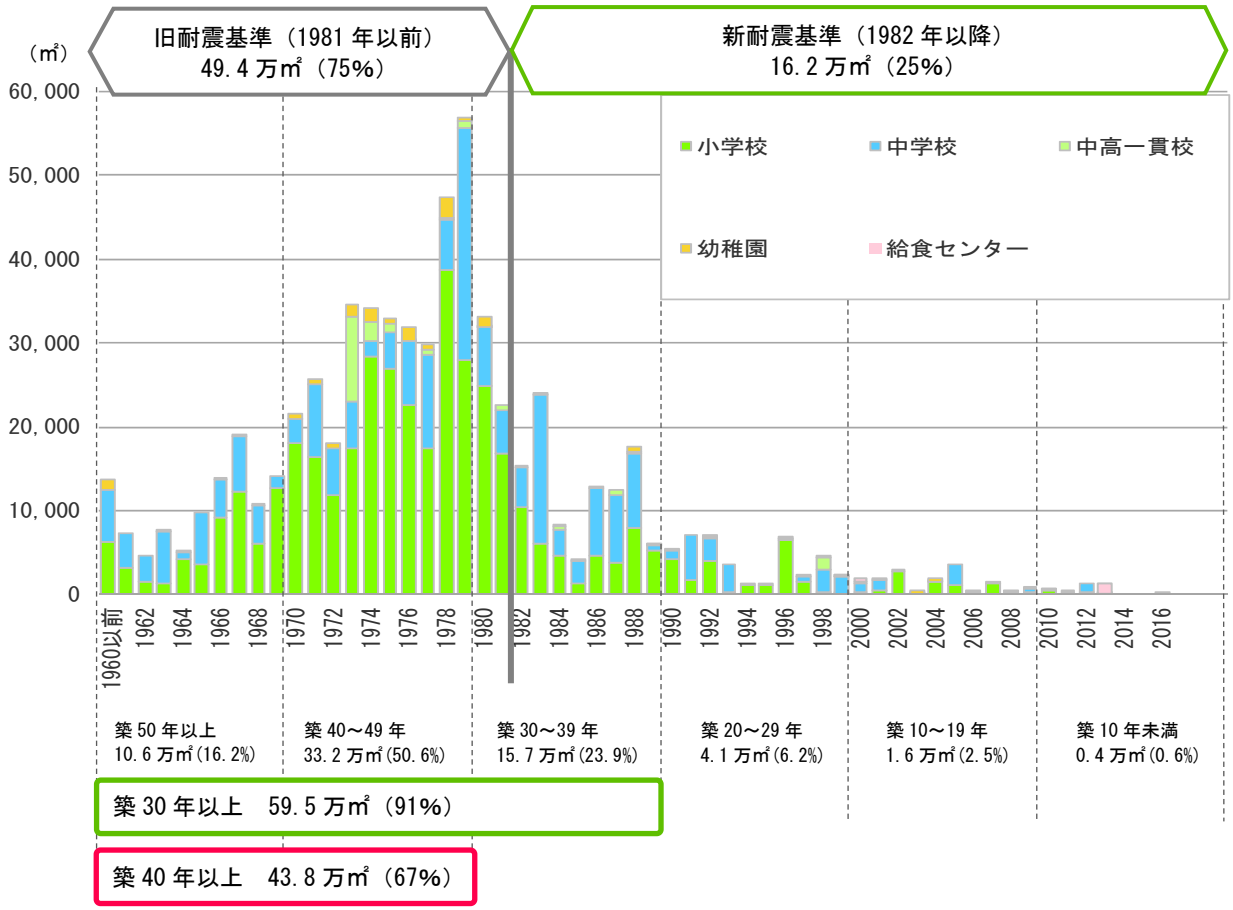
2　学校施設の築年別整備状況

本市の学校施設の築年別整備状況は次のとおりです。

延床面積ベースでみると，築 30 年以上の建物が 59.5 万㎡で 91%を占めており，築 40 年以上の建物は 43.8 万㎡で 67%となっています。

1970 年代から 1980 年代にかけて集中して整備した建物が，築後 30 年から 40 年を経過して老朽化が進行しており，建替えや大規模な改修の時期が迫っています。

図 2－1－2　学校施設の築年別整備状況



※このグラフの延床面積には，本計画の対象とならない廃校施設及び 200 ㎡以下の小規模な建物も含んでいます。

※義務教育学校（鞆の浦学園）については，旧鞆小学校の建物を小学校，旧鞆中学校の建物を中学校の延床面積へ算入しています。

３　学校の近年の整備状況

学校施設の整備状況について，現在，児童生徒の安全確保のため，「福山市立学校施設耐震化推進計画」に基づき，学校施設の耐震化の取組を最優先に進めています。

災害発生時の応急避難場所の役割がある屋内運動場については，2015 年度（平成 27 年度）に耐震化を概ね完了しています。校舎について，耐震補強工事による校舎の耐震化は 2019 年度（令和元年度）末までの完了を予定し，構造躯体の強度が不足し耐震補強が困難とされる建物の建替え工事は 2021 年度（令和 3 年度）末までの完了を予定していますが，学校再編と一体的に校舎の耐震化に取り組む予定の学校については，できるだけ早期に耐震化を完了するようめざしています。

【耐震化に向けた取組状況】

（棟）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020（予定）
全棟数（4 月 1 日時点）	389	389	388	385	382	376
耐震性がある棟数	257	292	319	340	353	358
耐震性がない棟数	132	97	69	45	29	18
解体・未使用化	0	0	1	3	3	8
耐震化率	66.1%	75.1%	82.2%	88.3%	92.4%	95.2%
耐震補強工事棟数	35	27	22	12	8	0
建替え工事棟数	0	0	0	1	2	2

※耐震補強工事棟数及び建替え工事棟数は当該年度内に実施・完了する棟数を記載しています。
※解体または廃校による未使用化のため，全棟数が減少しています。

このほか，児童生徒の健全育成のため，トイレの洋式化，中学校給食の完全実施に向けた取組，空調設備整備に重点的に取り組んでいます。

2019 年（平成 31 年）4 月には，福山市立の学校で初めての義務教育学校として鞆の浦学園が開校しましたが，開校に向けた準備として，北棟校舎及び中棟校舎の耐震補強工事と大規模改修工事を併せて実施し，南棟校舎の建替え工事を実施しました。

また，学校再編に向けた取組として，建替え工事や大規模改修工事を実施しています。

【学校トイレ洋式化率推移】

（%）

年度	2016	2017	2018	2019
小学校	22.6%	32.0%	41.8%	54.4%
中学校	28.5%	36.0%	41.2%	51.8%

※4 月 1 日時点の状況。
※屋内運動場・武道場のトイレについては，災害発生時における応急避難場所として地域住民が使用することから，すべての便器の洋式化について優先的に取り組んでいます。
※校舎のトイレについては，児童生徒数に応じた「適正便器数」（文部科学省によると男子 100 人につき小便器 4，大便器 2，女子 100 人につき大便器 5 としています。）を算定したうえで，これらの大便器についてはすべて洋式便器に切り替えるとともに，校舎 1 階のトイレについては，災害発生時における応急避難場所として，屋内運動場や武道場とともに地域住民が使用することも想定されるため，各トイレに和式便器を 1 つだけ残し，それ以外はすべて洋式化するよう取り組んでいます。
※2018 年度（平成 30 年度）末までで洋式化が必要な便器についての改修工事を完了済みです。

【中学校給食の完全実施に向けた取組状況】

（校，%）

年度	2017	2018	2019	2020（予定）
中学校給食実施校数	15 校	16 校	25 校	32 校
中学校給食実施率	42.9%	45.7%	71.4%	91.4%

※4 月 1 日時点の状況。
※中学校給食については，センター方式（給食センターで調理し，各中学校に搬送する方式）と，親子方式（近隣にある小学校の給食施設で調理し，中学校に搬送する方式）を併用しています。
※中学校給食実施に係る施設整備として，小学校の給食施設及び中学校の配膳室等の整備を順次実施しています。
※2020 年度（令和 2 年度）末までに完了予定です。

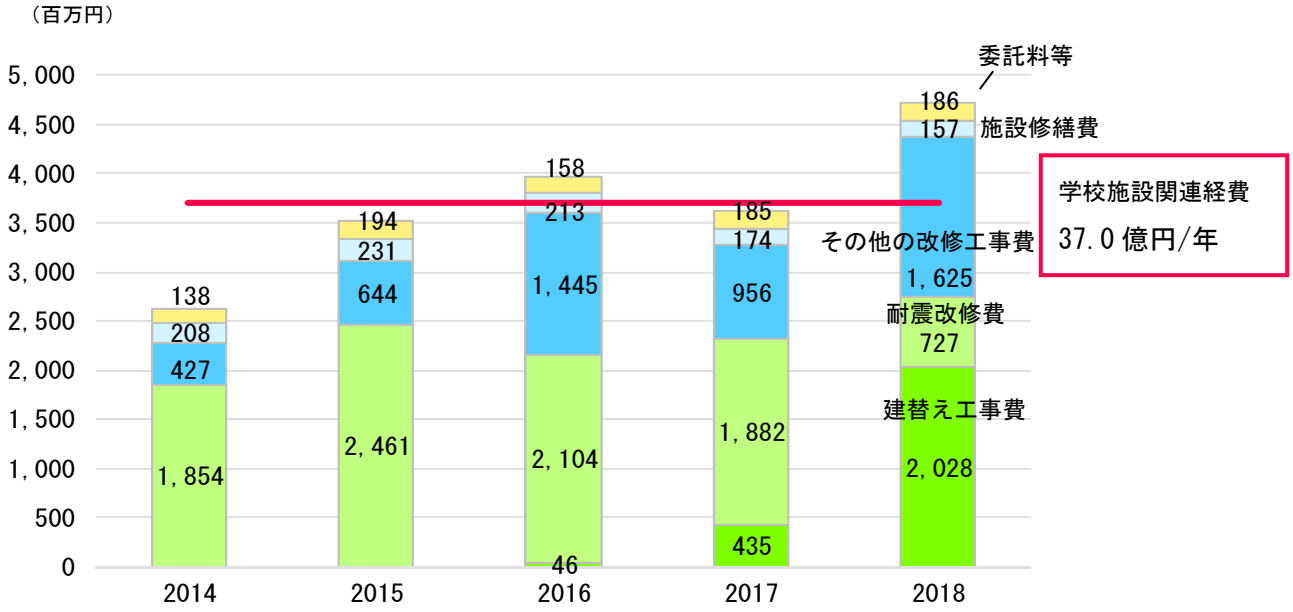
第２節　学校施設関連経費の把握

１　これまでの学校施設関連経費の推移

本市の過去５年間の学校施設に関連する経費は，平均で約 37.0 億円です。

そのうち建替え・耐震改修に係る経費が約 23.1 億円（62%），その他の改修工事に係る経費が約 10.2 億円（28%）となっています。

図 2－2－1　学校施設関連経費の推移と内訳



（百万円）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	5 年平均
建替え工事費	0	0	46	435	2,028	502
耐震改修費	1,854	2,461	2,104	1,882	727	1,806
その他の改修工事費	427	644	1,445	956	1,625	1,019
施設修繕費	208	231	213	174	157	197
委託料等	138	194	158	185	186	172
計	2,627	3,530	3,966	3,632	4,723	3,696

２　財政制約ラインの設定

今後の学校施設整備に係る費用は，本市全体の予算を調整するなかで決定していきますが，本計画における財政制約の目安として，2014 年度（平成 26 年度）から 2018 年度（平成 30 年度）までの直近５年間の学校施設関連経費の平均から 37.0 億円と設定します。

3　今後の建替え・大規模改修にかかるコストシミュレーション

(1) コスト算出条件

・過去の学校施設の整備状況から 50 年目に建替え，20 年目に大規模改修実施と仮定

・試算期間は 2020 年度（令和 2 年度）～2059 年度（令和 41 年度）の 40 年間

・工事期間は建替え 3 年間，大規模改修 1 年間と設定して費用を平準化

・工事単価は次のとおり設定

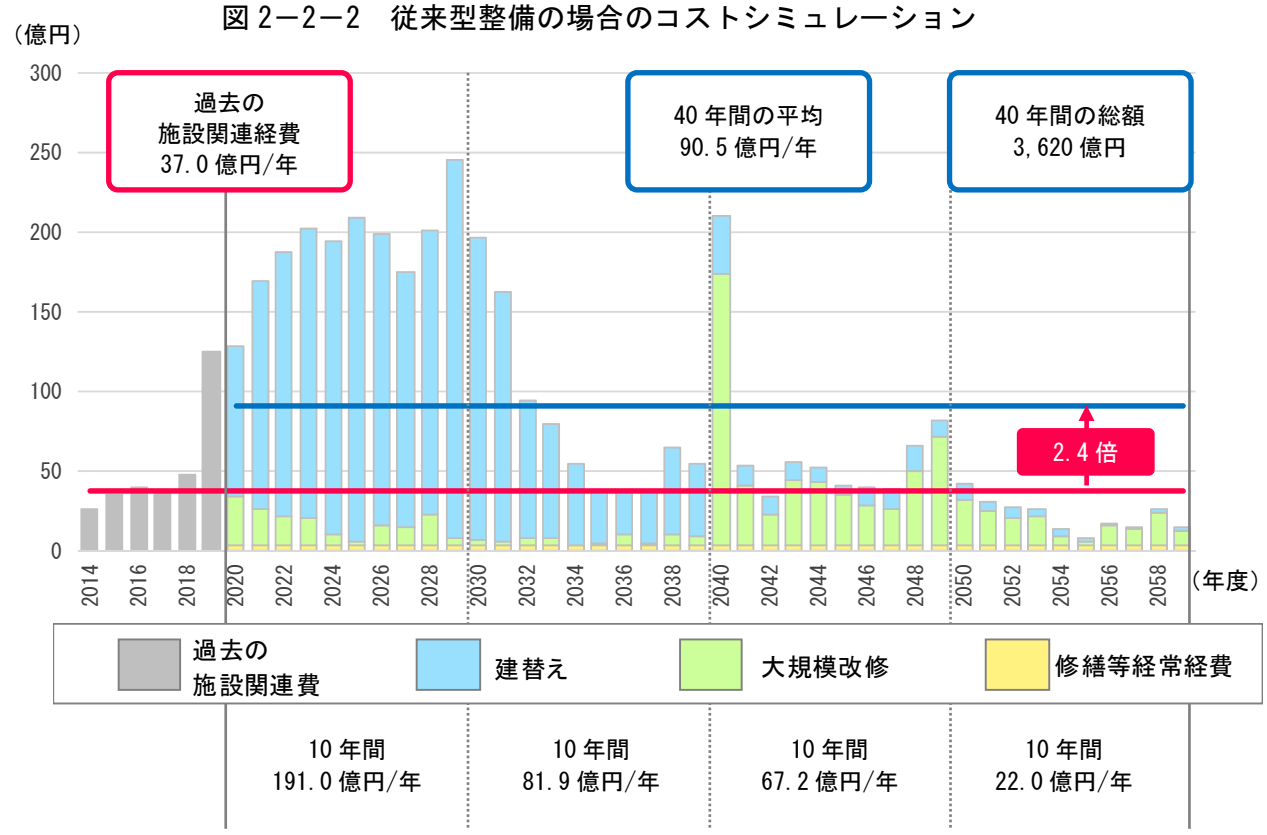
建物の種類	建替え（50 年目）	大規模改修（20 年目）	修繕等経常経費
校舎	514.5 千円/㎡	102.1 千円/㎡	1 年あたり 600 円/㎡
体育館	311 千円/㎡	60.5 千円/㎡	
武道場	366 千円/㎡	91.1 千円/㎡	
園舎	280 千円/㎡	70 千円/㎡	
給食センター	455 千円/㎡	113.8 千円/㎡	

(2) 学校施設の過去の実績に基づいたコストシミュレーション

現在と同面積で，築 50 年目で建替え，築 20 年目で大規模改修を実施すると仮定した場合，直近 10 年間では約 1,910 億円（年平均 191 億円）が必要となり，今後 40 年間では，総額約 3,620 億円（年平均 90.5 億円）が必要となります。

過去 5 年間の学校施設関連経費は年平均 37.0 億円のため，今後かかる費用は，過年度平均費用の約 2.4 倍に相当します。

図 2－2－2　従来型整備の場合のコストシミュレーション

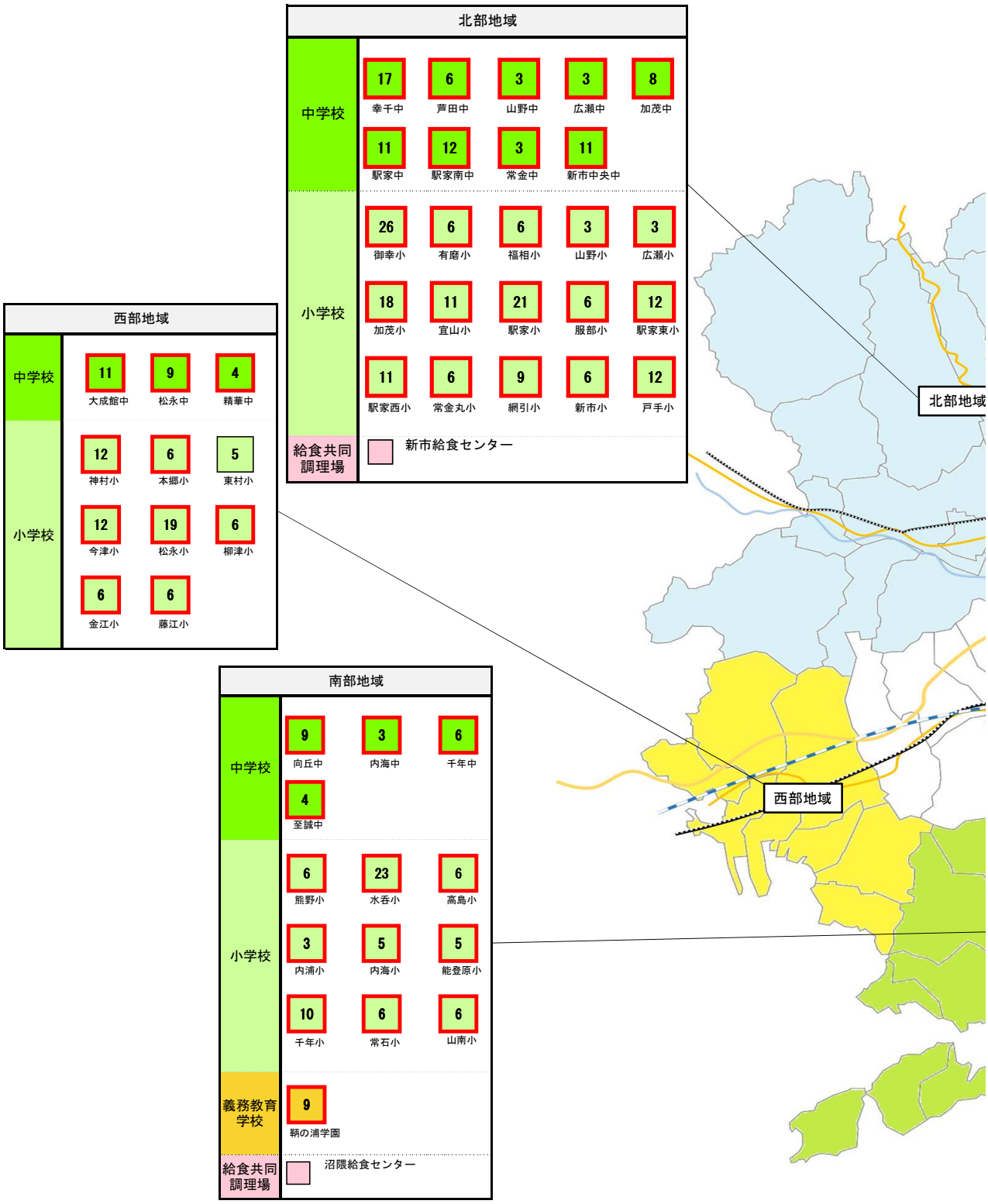


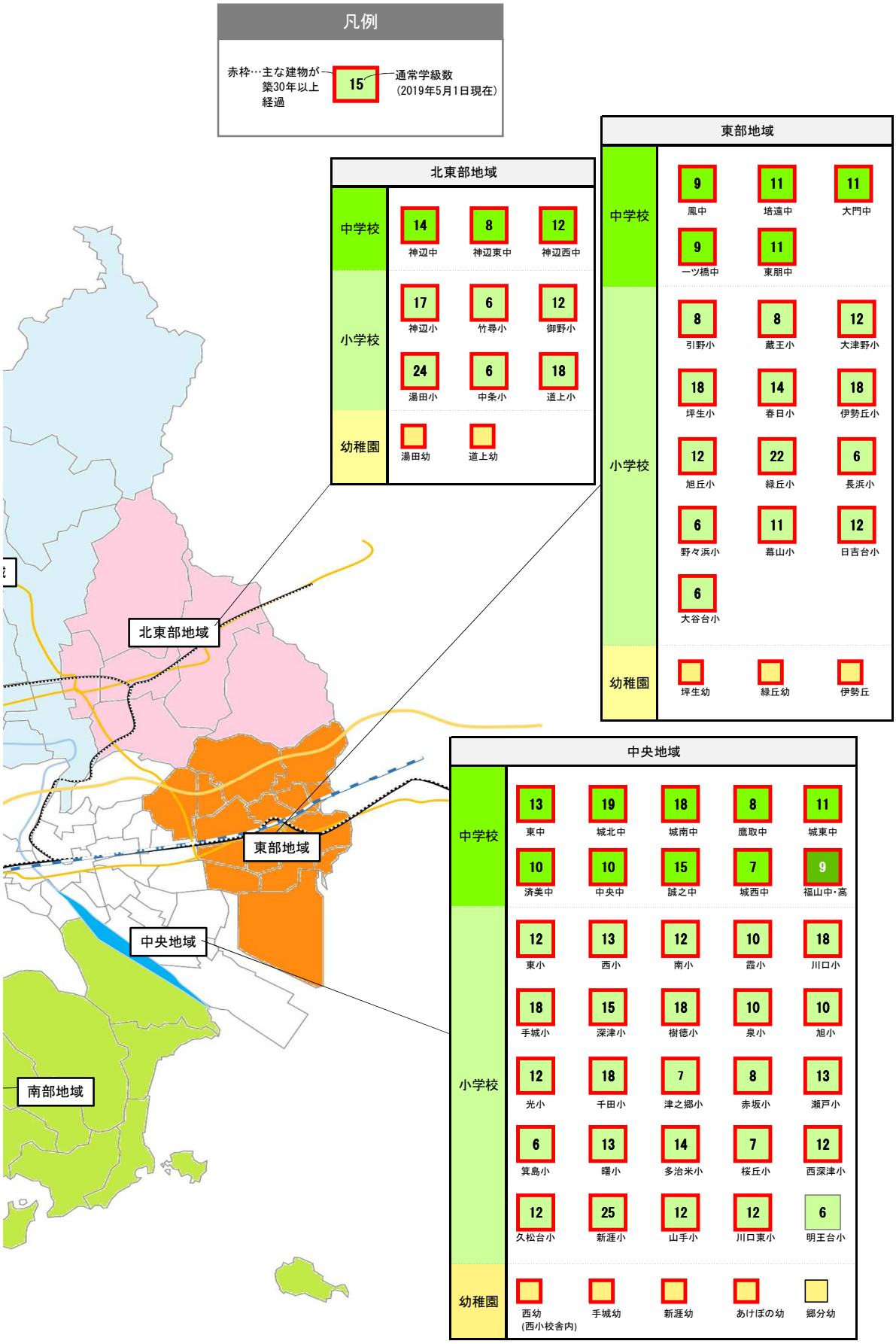
第３節　学校施設の地域別整備状況

１　地域別学校施設の配置状況

本市内の学校施設の地域別配置状況は次のとおりです。
多くの学校施設が築30年以上の建物を有しています。（図中赤枠）
また，小規模校（小学校で11学級，中学校で8学級以下）が各地域にあることがわかります。

図2－3－1　地域別学校施設配置状況




凡例
赤枠…主な建物が築30年以上経過
15
通常学級数（2019年5月1日現在）
北東部地域
中学校
14 神辺中
8 神辺東中
12 神辺西中
小学校
17 神辺小
6 竹尋小
12 御野小
24 湯田小
6 中条小
18 道上小
幼稚園
湯田幼
道上幼
東部地域
中学校
9 鳳中
11 培遠中
11 大門中
9 一ツ橋中
11 東朋中
小学校
8 引野小
8 蔵王小
12 大津野小
18 坪生小
14 春日小
18 伊勢丘小
12 旭丘小
22 緑丘小
6 長浜小
6 野々浜小
11 幕山小
12 日吉台小
6 大谷台小
幼稚園
坪生幼
緑丘幼
伊勢丘
中央地域
中学校
13 東中
19 城北中
18 城南中
8 鷹取中
11 城東中
10 済美中
10 中央中
15 誠之中
7 城西中
9 福山中・高
小学校
12 東小
13 西小
12 南小
10 霞小
18 川口小
18 手城小
15 深津小
18 樹徳小
10 泉小
10 旭小
12 光小
18 千田小
7 津之郷小
8 赤坂小
13 瀬戸小
6 箕島小
13 曙小
14 多治米小
7 桜丘小
12 西深津小
12 久松台小
25 新涯小
12 山手小
12 川口東小
6 明王台小
幼稚園
西幼（西小校舎内）
手城幼
新涯幼
あけぼの幼
郷分幼
北東部地域
東部地域
中央地域
南部地域

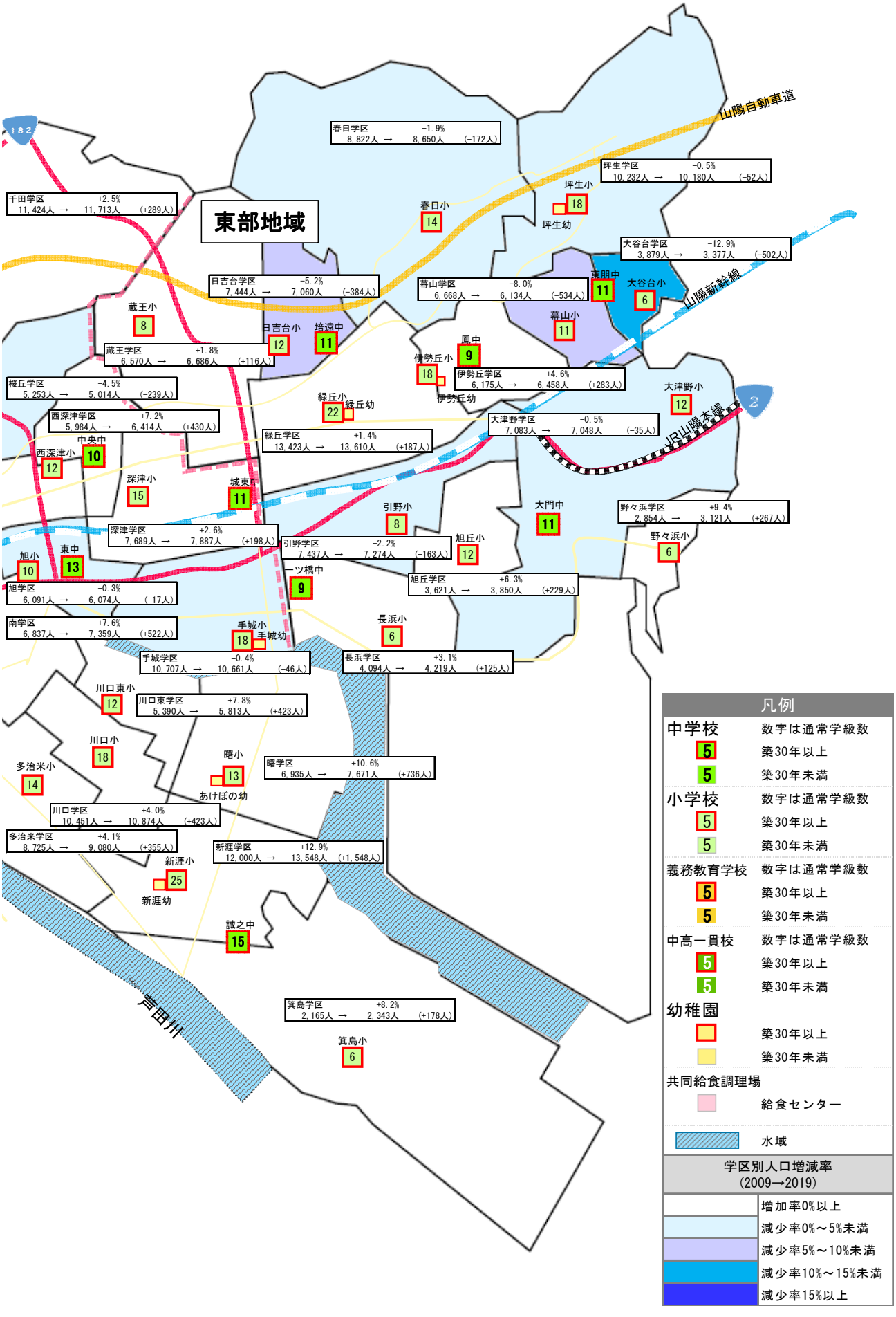
2　地域別の学校施設の配置状況と過去10年間の人口の推移

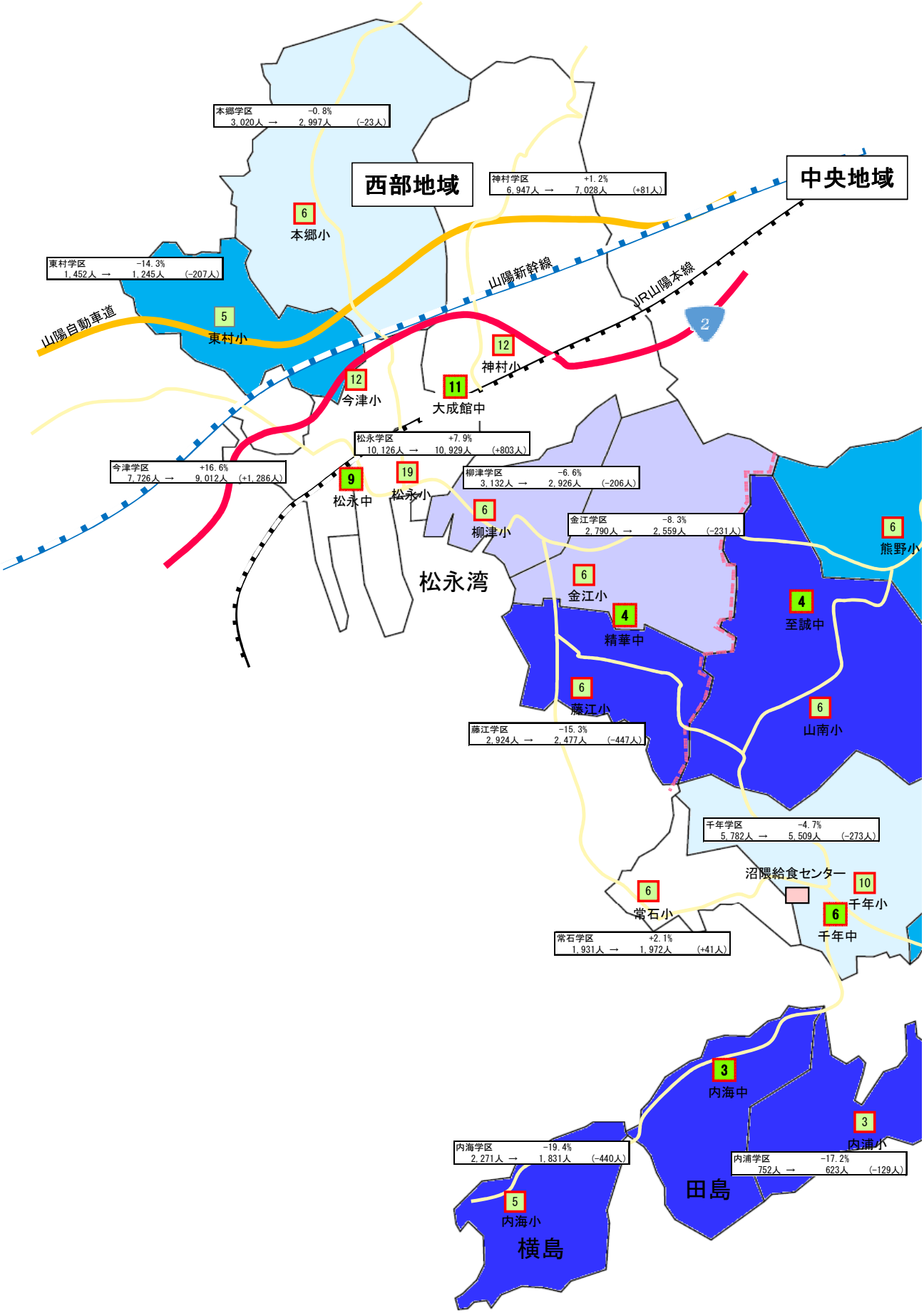
(1) 中央・東部地域

中央・東部地域における学校施設の配置状況と過去10年間の人口変化は次のとおりです。
増減が混在しているものの，人口が増加している地域が半数以上を占めています。



図2－3－2　中央・東部地域の学校施設配置状況と過去10年間の人口推移図
（資料：小学校区別世帯・人口一覧表）


東部地域
山陽自動車道
山陽新幹線
JR山陽本線
芦田川
春日学区 −1.9% 8,822人 → 8,650人 (−172人)
千田学区 +2.5% 11,424人 → 11,713人 (+289人)
坪生学区 −0.5% 10,232人 → 10,180人 (−52人)
坪生小 18
坪生幼
春日小 14
大谷台学区 −12.9% 3,879人 → 3,377人 (−502人)
日吉台学区 −5.2% 7,444人 → 7,060人 (−384人)
幕山学区 −8.0% 6,668人 → 6,134人 (−534人)
東朋中 11
大谷台小 6
蔵王小 8
幕山小 11
日吉台小 12
培遠中 11
鳳中 9
伊勢丘小 18
伊勢丘学区 +4.6% 6,175人 → 6,458人 (+283人)
蔵王学区 +1.8% 6,570人 → 6,686人 (+116人)
伊勢丘幼
大津野小 12
桜丘学区 −4.5% 5,253人 → 5,014人 (−239人)
緑丘小 22
緑丘幼
西深津学区 +7.2% 5,984人 → 6,414人 (+430人)
大津野学区 −0.5% 7,083人 → 7,048人 (−35人)
緑丘学区 +1.4% 13,423人 → 13,610人 (+187人)
中央中 10
西深津小 12
深津小 15
城東中 11
引野小 8
大門中 11
野々浜学区 +9.4% 2,854人 → 3,121人 (+267人)
深津学区 +2.6% 7,689人 → 7,887人 (+198人)
引野学区 −2.2% 7,437人 → 7,274人 (−163人)
旭丘小 12
野々浜小 6
旭小 10
東中 13
一ツ橋中 9
旭丘学区 +6.3% 3,621人 → 3,850人 (+229人)
旭学区 −0.3% 6,091人 → 6,074人 (−17人)
南学区 +7.6% 6,837人 → 7,359人 (+522人)
手城小 18
手城幼
長浜小 6
手城学区 −0.4% 10,707人 → 10,661人 (−46人)
長浜学区 +3.1% 4,094人 → 4,219人 (+125人)
川口東小 12
川口東学区 +7.8% 5,390人 → 5,813人 (+423人)
川口小 18
曙小 13
曙学区 +10.6% 6,935人 → 7,671人 (+736人)
多治米小 14
あけぼの幼
川口学区 +4.0% 10,451人 → 10,874人 (+423人)
多治米学区 +4.1% 8,725人 → 9,080人 (+355人)
新涯学区 +12.9% 12,000人 → 13,548人 (+1,548人)
新涯小 25
新涯幼
誠之中 15
箕島学区 +8.2% 2,165人 → 2,343人 (+178人)
箕島小 6
凡例
中学校 数字は通常学級数
築30年以上
築30年未満
小学校 数字は通常学級数
築30年以上
築30年未満
義務教育学校 数字は通常学級数
築30年以上
築30年未満
中高一貫校 数字は通常学級数
築30年以上
築30年未満
幼稚園
築30年以上
築30年未満
共同給食調理場
給食センター
水域
学区別人口増減率 (2009→2019)
増加率0%以上
減少率0%～5%未満
減少率5%～10%未満
減少率10%～15%未満
減少率15%以上


西部地域
中央地域
本郷学区 -0.8% 3,020人 → 2,997人 (-23人)
神村学区 +1.2% 6,947人 → 7,028人 (+81人)
東村学区 -14.3% 1,452人 → 1,245人 (-207人)
松永学区 +7.9% 10,126人 → 10,929人 (+803人)
今津学区 +16.6% 7,726人 → 9,012人 (+1,286人)
柳津学区 -6.6% 3,132人 → 2,926人 (-206人)
金江学区 -8.3% 2,790人 → 2,559人 (-231人)
藤江学区 -15.3% 2,924人 → 2,477人 (-447人)
千年学区 -4.7% 5,782人 → 5,509人 (-273人)
常石学区 +2.1% 1,931人 → 1,972人 (+41人)
内海学区 -19.4% 2,271人 → 1,831人 (-440人)
内浦学区 -17.2% 752人 → 623人 (-129人)
6 本郷小
5 東村小
12 神村小
12 今津小
11 大成館中
9 松永中
19 松永小
6 柳津小
6 金江小
4 精華中
6 藤江小
6 熊野小
4 至誠中
6 山南小
6 常石小
沼隈給食センター
10 千年小
6 千年中
3 内海中
3 内浦小
5 内海小
山陽自動車道
山陽新幹線
JR山陽本線
2
松永湾
田島
横島

(2) 南部・西部地域

南部・西部地域における学校施設の配置状況と過去10年間の人口変化は次のとおりです。
増減が混在しているものの，人口が減少している地域が半数以上を占めています。

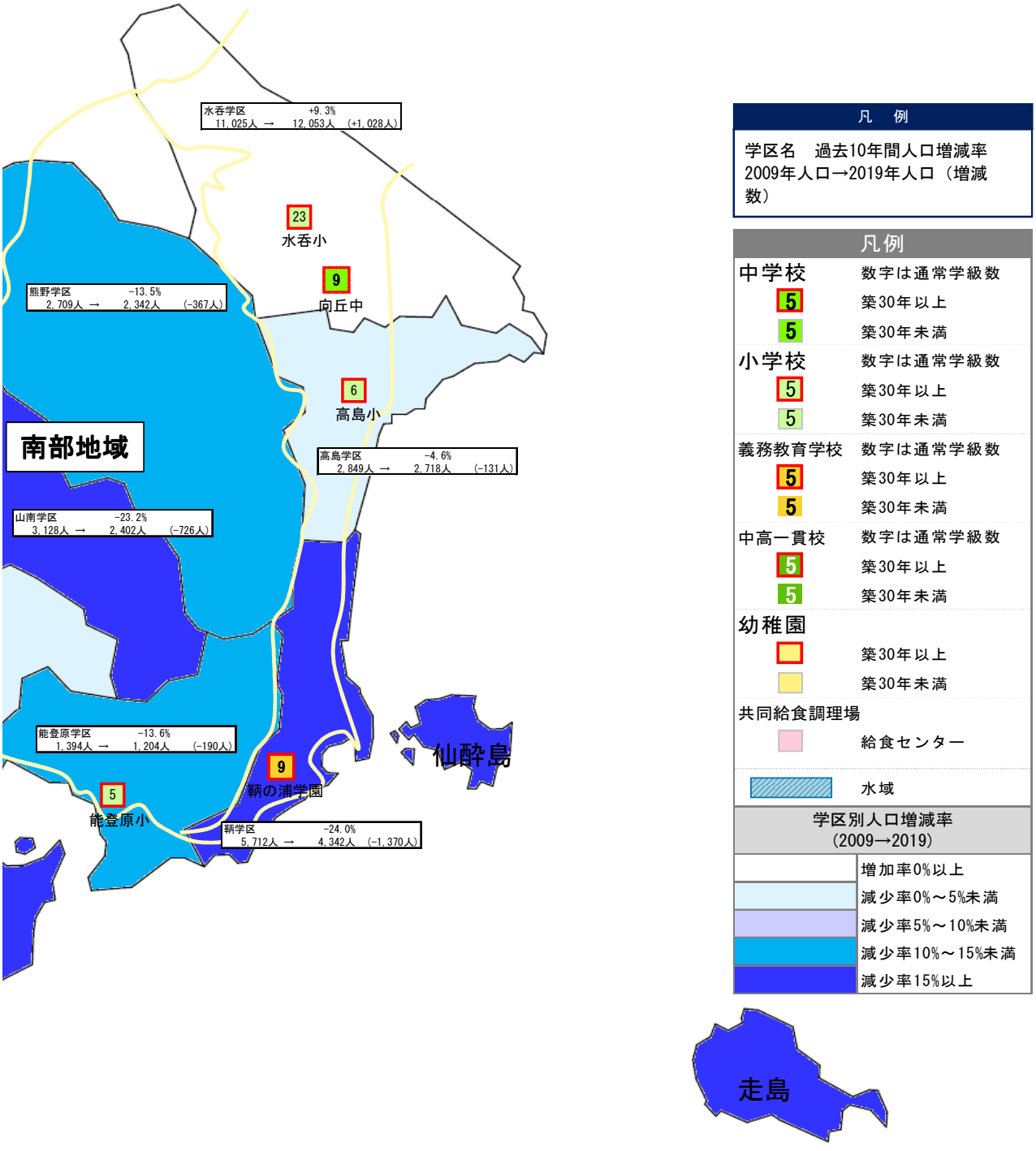


図2－3－3　南部・西部地域の学校施設配置状況と過去10年間の人口推移図
（資料：小学校区別世帯・人口一覧表）

(3) 北部・北東部地域

北部･北東部地域における学校施設の配置状況と過去10年間の人口変化は次のとおりです。

増減が混在しているものの，人口が減少している地域が半数以上を占めています。

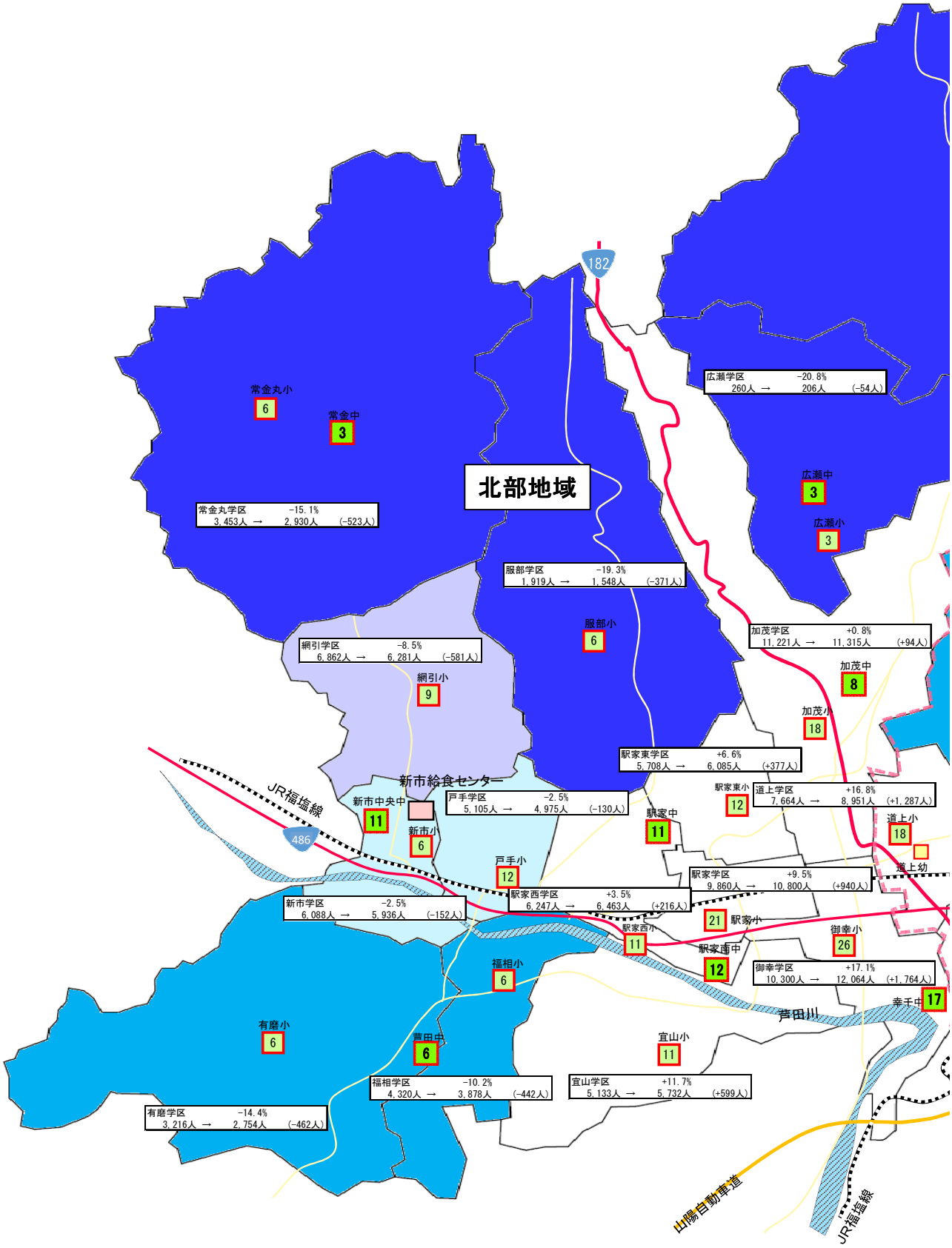




図2－3－4　北部・北東部地域の学校施設配置状況と過去10年間の人口推移図
（資料：小学校区別世帯・人口一覧表）

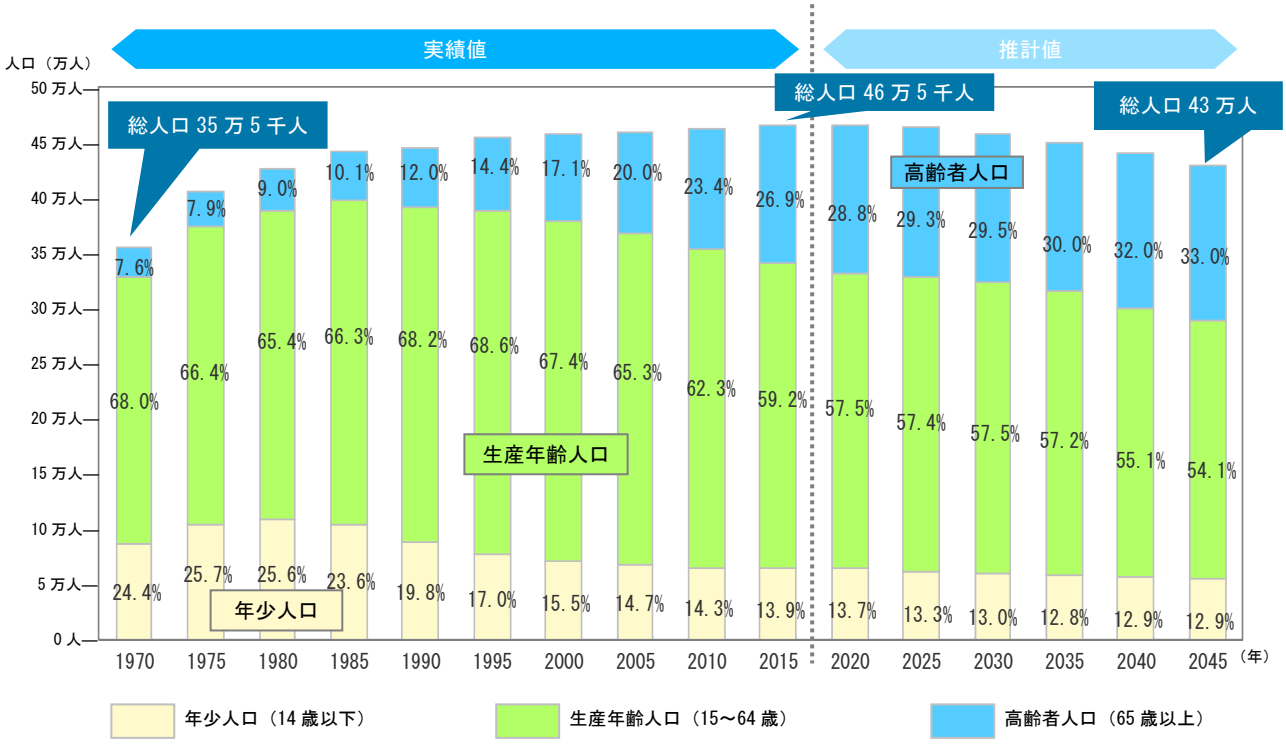
第４節　学校の適正配置計画

１　将来人口の推計

2015 年（平成 27 年）の国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の資料を基に作成した本市の将来人口推計によると，2015 年（平成 27 年）に約 46.5 万人であった本市の人口は，2045 年（令和 27 年）には約 43 万人と 30 年間で約 7.5%の人口の減少が予測されています。

また，2015 年（平成 27 年）に約 6.5 万人であった 14 歳以下の年少人口は，2045 年（令和 27 年）には約 5.5 万人に減少すると予測されます。

図 2－4－1　福山市の将来人口推計



資料：国勢調査，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

２　児童・生徒数の変化

市立小中学校の児童生徒数は，1983 年（昭和 58 年）の 68,116 人をピークに，現在はピーク時の 54%となっており，2045 年（令和 27 年）にはピーク時の 36%になる見込みです。そのため，将来は小規模校が増加することが予想されます。

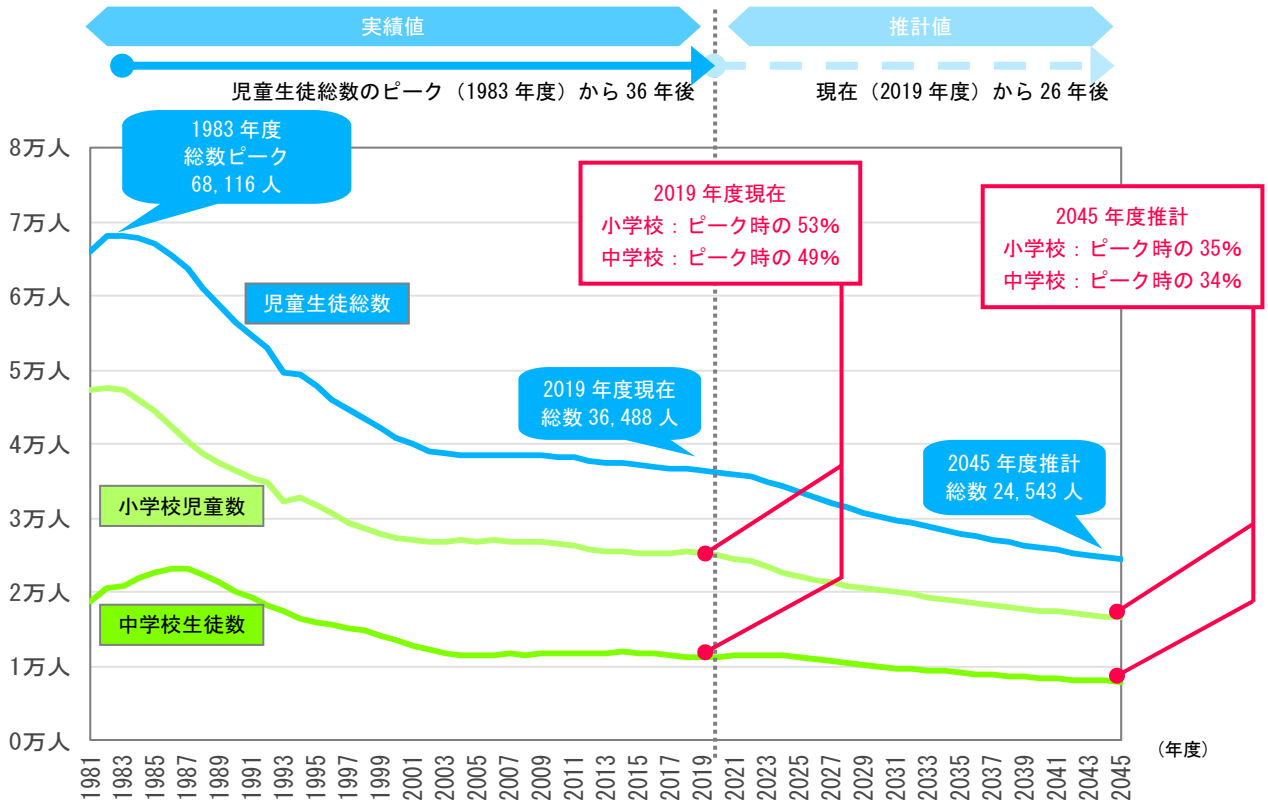
(1) 小学校

市立小学校の児童数は，2019 年（令和元年）5 月 1 日現在 25,163 人です。（義務教育学校前期課程を含む）児童数のピークは，1982 年（昭和 57 年）の 47,560 人で，現在はピーク時の 53%となっており，2045 年（令和 27 年）時点ではピーク時の 35%となると推計しています。

(2) 中学校

市立中学校の生徒数は，2019 年（令和元年）5 月 1 日現在 11,325 人です。（義務教育学校後期課程及び中高一貫校のうち福山中学校を含む）生徒数のピークは，1986 年（昭和 61 年）の 23,182 人で，現在はピーク時の 49%となっており，2045 年（令和 27 年）時点ではピーク時の 34%となると推計しています。

図 2－4－2　福山市立小中学校の児童生徒数推移



３　学校の適正配置計画の実施状況

少子化に伴い，小中学校の児童生徒数が減少するなか，学校配置は高度成長期の急激な人口増加に伴い分離新設した当時のままであり，学校の小規模化が進行しています。

本市では，これからの子どもたちに求められる資質・能力を育むことができる環境をつくるため，2015 年（平成 27 年）6 月に「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」，同年 8 月に「福山市学校規模・学校配置の適正化計画（第 1 要件）」を策定し，学校再編に取り組んでいます。

現在の取組状況は次のとおりです。

開校（予定）年月	再編対象の学校など	備考
2019 年（平成 31 年）4 月	鞆小・鞆中	鞆の浦学園
2020 年（令和 2 年）4 月	東村小・今津小	遺芳丘小学校
	服部小・駅家東小	駅家北小学校
2022 年（令和 4 年）4 月	内浦小・内海小・能登原小・千年小・常石小・内海中・千年中	
	山野小・広瀬小・加茂小	
	山野中・広瀬中・加茂中	
	常金中・新市中央中	
	イエナプラン教育校の設置	
	特認校の設置	

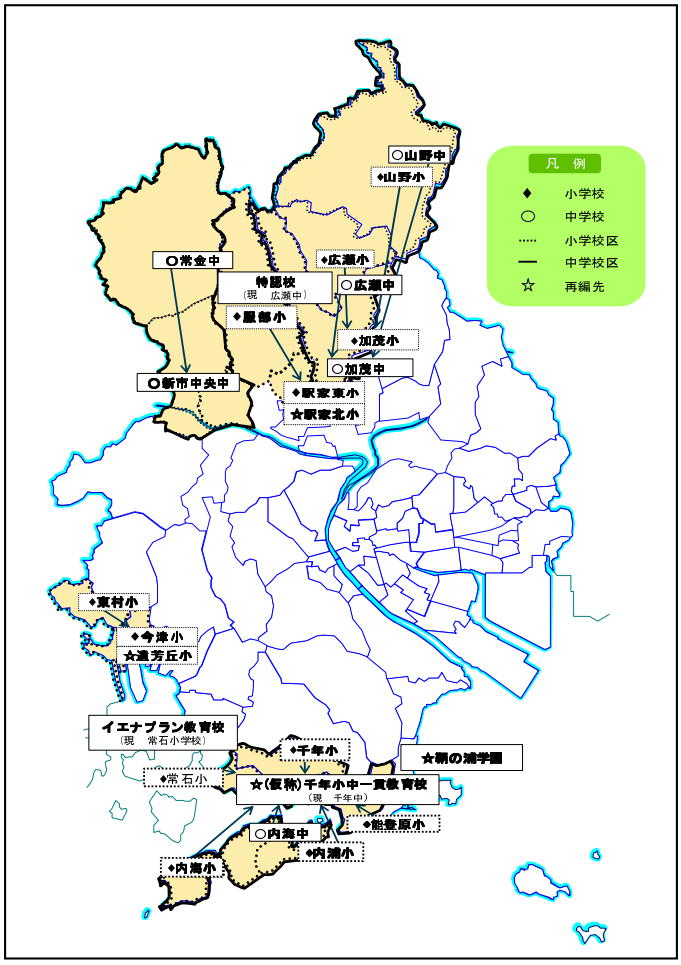


図 2－4－3　学校再編計画図

「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」においては，一定の集団規模により得られる教育効果，教員配置など教育指導面の充実や管理運営面などから総合的に判断し，次のとおり適正規模の基準を定めています。

	学校 （全学年の学級数）	学級 （1 学級あたりの人数）
小学校	12 学級から 18 学級まで	16 人以上
中学校	9 学級から 12 学級まで	20 人以上

適正規模の基準に達しない学校について，学校規模に応じ，第 1 要件から第 3 要件までの区分を設け，第 1 要件に該当した学校から，段階をおって取組を進めていきます。

また，小中一貫教育の効果を高める上において，義務教育 9 年間の子どもの成長を見通し，柔軟な教育課程の編成や指導方法により効果的な学校運営を行うことができることから，中学校区を基本に，児童生徒数の将来推計，学校施設の老朽化の状況などを見据える中で，義務教育学校の整備の可能性についても，併せて検討していきます。

学校規模と学校配置の適正化への取組方針
第 1 要件　小学校　過小規模校　（学級数 1～5 学級） 中学校　過小規模校Ⅰ　（学級数 1～3 学級かつ全ての学級で 1 学級あたりの人数が 19 人以下）
近隣の学校と再編する方向で速やかに協議に入ります。
第 2 要件　小学校　小規模校Ⅰ　（全学年が 1 学級かつ 1 学級あたりの人数が 15 人以下） 中学校　過小規模校Ⅱ　（学級数 3～5 学級）
小学校について，学級人数が 1 学年でも要件に該当し，その後 2 年間の状況と将来推計をみる中で，要件の解消が見込めない場合は，再編対象校として検討に入ります。 中学校について，要件に該当し，その後 2 年間の状況と将来推計をみる中で，要件の解消が見込めない場合は，再編対象校として検討に入ります。
第 3 要件　小学校　小規模校Ⅱ　（学級数 6～11 学級） 中学校　小規模校　（学級数 6～8 学級）
要件に該当し，その後 5 年間の状況と将来推計をみる中で，要件の解消が見込めない場合は，再編対象校として検討に入ります。

※要件となる学級数，児童生徒数は，各年 5 月 1 日時点の数値とします。
　学級数は通常学級の数を基本とします。
※児童生徒数の将来推計は，社会的要因等により必要に応じて見直しを行います。

第５節　学校施設を取り巻く現状を踏まえた課題

１　人口・児童生徒数の二極化

本市全体の人口及び児童生徒数は減少傾向にあり，今後も緩やかな減少が続くと見込まれます。

一方で，学区別では，人口が増加している地域と減少している地域が混在し，小規模校（小学校で 11 学級以下，中学校で 8 学級以下）があるなかで，25 学級以上の大規模校となっている学校もあります。

そのため，学校の適正配置への取組は避けられない課題となっています。

２　学校施設の老朽化の進行

本市では，1970 年代から 1980 年代前半にかけて集中して学校施設の整備を行ってきました。そのため，約 9 割の建物で築 30 年以上を経過しており，築 40 年以上を経過した建物は 6 割を超えています。

現在は，耐震改修及び耐震補強が困難な建物の建替え等に集中して取り組んでいますが，その一方で，これまでは建物の長寿命化を目標とした，学校全体の仕上げや設備の計画的な改修を実施しておらず，経年劣化等による不具合が生じてから対応する事後保全が常態化しています。

また，建物や設備の仕様・性能が建築当時のままとなっているものも多く，バリアフリー化，省エネルギー化または多様な学習内容，学習形態による活動が可能となる教育環境等の整備など現代の社会的要請への対応が不十分となっています。

３　膨大な建替えコスト

これまでと同じように建築後 50 年程度での建替えを行う場合，今後 10 年間に建替えが集中するため，今後 40 年間のコストシミュレーションでは，過去 5 年間の施設関連経費（年平均 37.0 億円）を大きく上回る年平均 90.5 億円（40 年間総額 3,620 億円）が必要となります。

この問題の解決には，学校施設の長寿命化に向けた取組が必要です。そのため，学校施設の老朽化状況を把握し，今後の整備方針を定め，計画的に実行していくことが求められます。

第３章　学校施設の老朽化状況

学校施設の老朽化状況は，「構造躯体の健全性調査」と「構造躯体以外の劣化状況調査」の２つに分けて把握・評価します。

これらの評価結果から，保全の優先順位付け，保全方針・基準の見直しにつなげます。

学校施設の老朽化状況の把握

構造躯体の健全性調査



構造躯体…建物の構造体で，柱や梁，床版など

①耐震診断データによる簡易評価

耐震診断の既存データを用いて，コンクリート中性化，圧縮強度の数値から構造躯体の健全性を把握します。

②構造躯体の健全性まとめ

個別建物の構造躯体健全性調査に基づき，長寿命化の可否を判定し，期待できる使用年数を把握することにより具体的な長寿命化方針につなげます。

構造躯体以外の劣化状況調査



構造躯体以外…屋根・屋上や外壁，設備など

①建築物定期点検及び現地調査

各部位の劣化状況，仕様，工事履歴について技術者が目視を主体に調査，現況を写真に記録します。

②劣化状況まとめ

各部位の劣化状況を評価し，建物の健全度を評価します。

構造躯体の健全性調査写真は「学校施設の長寿命化改修の手引（文部科学省）」より

第１節　構造躯体の健全性の把握

１　構造躯体の健全性の調査方法

(1) 調査方法

建物は，その構造躯体の健全性が確保されてはじめて，長期間使用することができますが，施工時の状況，その後の使用状況または立地環境によって，使用できる年数が異なります。

そのため，長寿命化の実施方針を立てるには，建物ごとに構造躯体の健全性を把握する必要があります。構造躯体の健全性の評価は，専門知識を有する技術者が現地調査や材料試験を行ったうえで評価するものですが，今回は効率的に把握するために，過去の耐震診断時の調査結果を用いて簡易的な健全性評価を実施しました。

(2) 対象施設

200 ㎡を超える面積を有する旧耐震基準の建物(280 棟)のうち，耐震診断を行った建物 256 棟（小学校 165 棟，中学校 74 棟，義務教育学校 3 棟，中高一貫校 4 棟，幼稚園 10 棟）

(3) 評価方法

ア　鉄筋コンクリート造（ＲＣ造）建物の評価方法

耐震診断報告書における構造躯体データのうち，コンクリート圧縮強度とコンクリート中性化深さのデータを用いて，次のとおり評価します。

圧縮強度	低強度(13.5N/㎜^{2}未満)の場合は，長寿命化に適さないと判断
中性化深さ	調査時点で 30 ㎜に達しているものは，長寿命化に適さないと判断
中性化の進行速度	調査時点で理論値よりも中性化の進行が早ければ，長寿命化に適さないと判断

なお，中性化の進行速度を評価することで，理論上は構造躯体の残存耐用年数を求めることができますが，今回はサンプル数の限られた過去の調査データを用いたため，評価結果は期待できる使用年数(築後年数)として，「80 年以上」「60～80 年」「60 年未満」の 3 区分で取りまとめます。

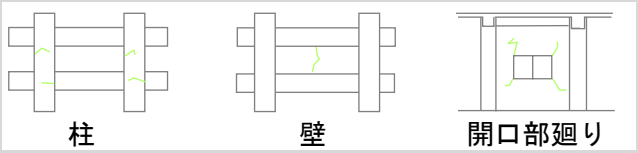
構造躯体の健全性とは

建築物の使用年数の限界は，構造躯体の物理的な劣化による時期，あるいは社会的・技術的な変化により機能・性能の相対的な価値が失われる時期が考えられます。

長寿命化において，構造躯体の耐用年数まで使い続けることをめざす場合，構造躯体が健全であることを確認する必要があります。

鉄筋コンクリートに生じる劣化には，①コンクリートの変質・組織崩壊・ひび割れ・欠けなどのコンクリート自身の劣化と，②鉄筋の腐食とに大別できます。

通常，これらの劣化現象は単独で発生しますが，個々の劣化現象は互いに助長しあう関係にあります。例えば，鉄筋がコンクリートの中性化や塩分の進入によって腐食すると，コンクリートのひび割れや剥落などの劣化を招きます。また，コンクリートに組織破壊やひび割れが生じると，鉄筋の腐食が促進されます。



コンクリートのひび割れ



コンクリートの中性化深さ

（資料：文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引」）

コンクリートの中性化

大気中の二酸化炭素がコンクリート中に侵入し，コンクリートをアルカリ性から中性に変えていく現象をいい，中性化の進む速さは時間の平方根に比例することが知られています。

コンクリートの中性化が進行すると内部の鉄筋がさびやすい状況になり，コンクリートのひび割れや剥落の原因になります。

イ　鉄骨造（Ｓ造）建物の評価方法

耐震診断報告書における構造躯体データのうち，内部鉄骨健全度データを用いて評価します。

２　構造躯体の健全性の調査結果

(1) 耐震診断時の構造躯体データによる評価集計

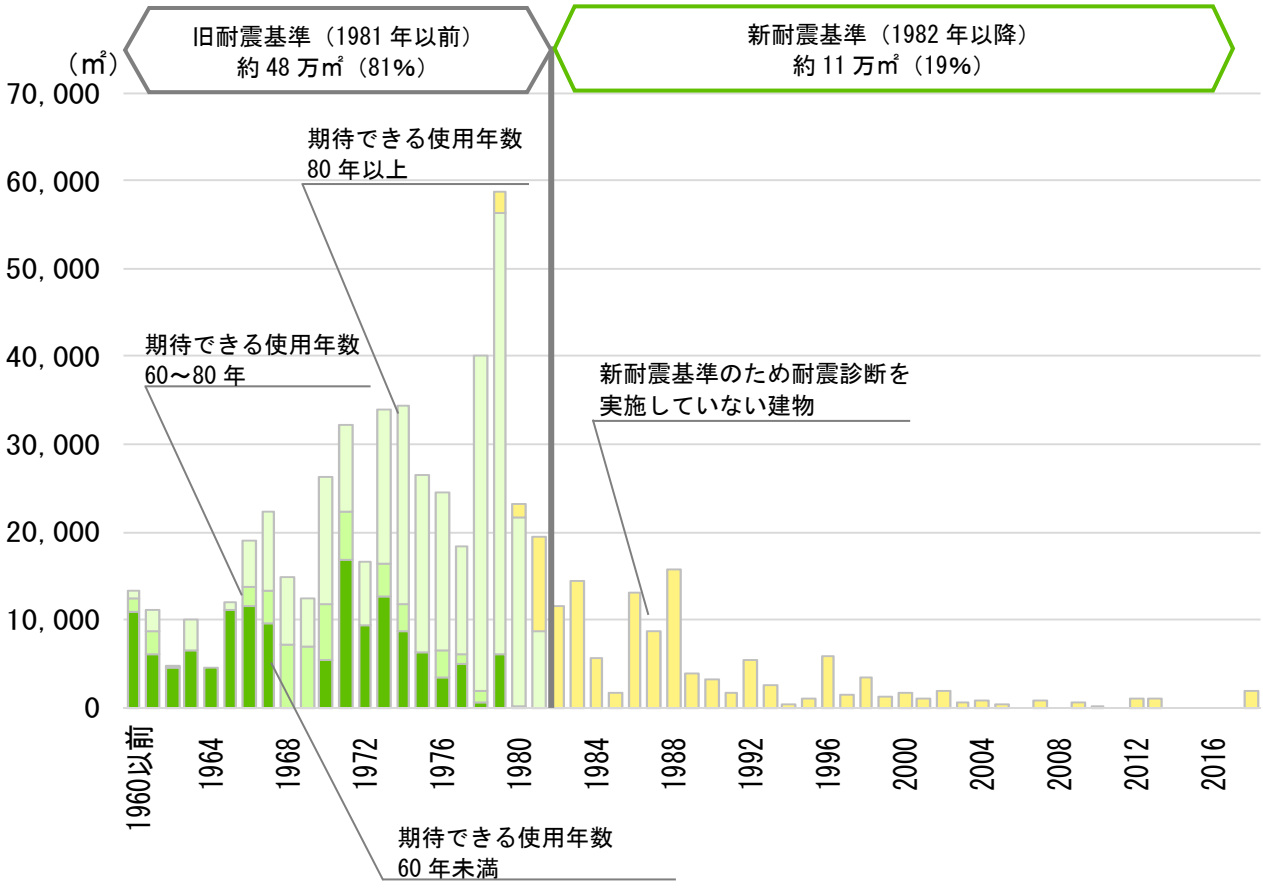
耐震診断報告書がある 256 棟のうち，期待できる使用年数（築後年数）が 80 年以上と判定された建物が 179 棟，60～80 年と判定された建物が 19 棟，60 年未満と判定された建物が 58 棟です。

なお，学校別の調査結果は資料編 1 を参照してください。

（棟）

建物別	期待できる使用年数			計
	60 年未満	60～80 年	80 年以上	
小学校	35 （ 21%）	16 （ 10%）	114 （ 69%）	165 （ 100%）
中学校	19 （ 26%）	2 （ 3%）	53 （ 71%）	74 （ 100%）
義務教育学校	0 （ 0%）	0 （ 0%）	3 （ 100%）	3 （ 100%）
中高一貫校	2 （ 50%）	1 （ 25%）	1 （ 25%）	4 （ 100%）
幼稚園	2 （ 20%）	0 （ 0%）	8 （ 80%）	10 （ 100%）

(2) 築年別評価結果集計（図 3－1－1）



3　新耐震基準の建物について

これまで耐震診断を実施していない新耐震基準の建物については，おおむね築 35～40 年で構造躯体健全性調査（詳細調査）を行い，長寿命化の可否を判定したうえで期待できる使用年数に応じた改修を行います。

第２節　構造躯体以外の劣化状況の把握

１　構造躯体以外の劣化状況の調査方法

(1) 調査方法

定期的に行っている建築物定期点検の点検結果及び専門知識を有する技術者の現地調査により構造躯体以外の劣化状況を把握しました。

(2) 調査対象

小学校	78 校（232 棟）
中学校	33 校（122 棟）
義務教育学校	1 校（　5 棟）
中高一貫校	1 校（　6 棟）
幼稚園	10 園（ 12 棟）
給食センター	2 棟

(3) 調査内容

建物の性能や機能を維持していくうえで把握しておくべき部位について，その仕様と劣化状況を写真及び目視確認により把握します。設備は，現地の目視確認だけでは評価できないため，設置・更新からの経過年数を把握します。この調査結果から，直近で対応しなければならない工事内容とそのコストの算出につなげます。

表　部位ごとの現地調査内容

部位	主な調査項目
屋根・屋上	・仕様の確認 ・雨漏りの有無 ・防水面の劣化状況 ・金属屋根の劣化状況
外壁	・仕様の確認 ・鉄筋露出の有無 ・外装材の劣化状況 ・外部開口部の仕上げ(アルミサッシ・スチール・木等) ・外部その他(外部階段，屋上手摺等の鉄部)

２　構造躯体以外の劣化状況の評価方法

屋根・屋上，外壁の劣化状況は目視により，内部仕上げ，電気設備及び機械設備は設置・更新からの経過年数を基本に以下の判断基準に照らし，Ａ～Ｄの４段階で評価します。

(1) 屋根・屋上，外壁の目視による評価基準

次の基準でＡ～Ｄの評価を実施します。

良好 → 劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化 （安全上，機能上，問題なし）
C	広範囲に劣化 （安全上，機能上，不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上，機能上，問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

(2) 内部仕上げ，電気設備，機械設備の評価基準

設置・更新からの経過年数を基本に評価します。

良好 → 劣化

評価	基準
A	20 年未満
B	20 年～40 年未満
C	40 年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

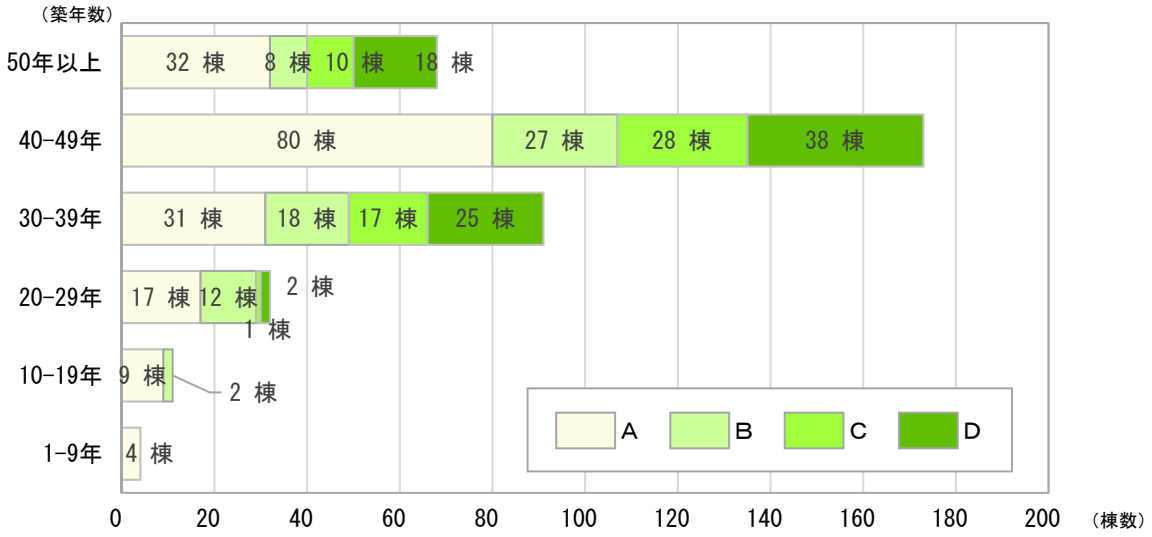
３　構造躯体以外の劣化状況の評価結果

今回の現地調査で目視点検を行った屋根・屋上と外壁について，築年数別の劣化状況をそれぞれ示します。

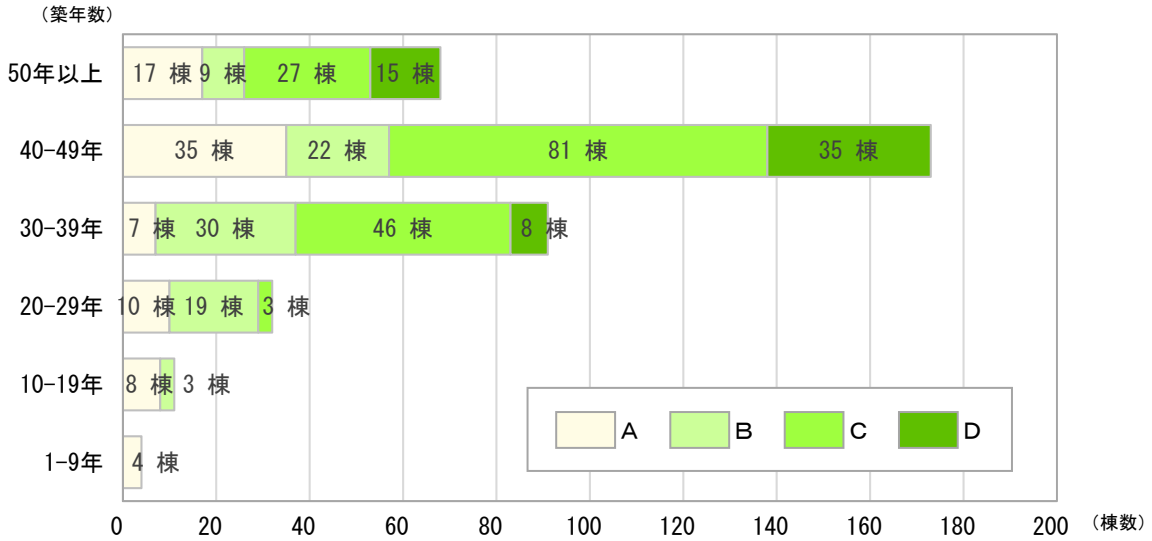
築 20 年を超えるとＣ評価（広範囲の劣化事象）やＤ評価（早急な対応が必要な事象）が見られるようになり，築 30 年を超えるとそれが急増し，改修時期を迎えていることが分かります。

なお，学校別の調査結果は資料編 2 を参照してください。

(1) 屋根・屋上の劣化状況評価結果（図 3－2－1）



(2) 外壁の劣化状況評価結果（図 3－2－2）



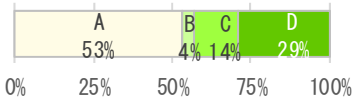
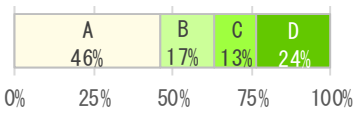
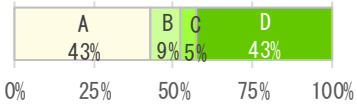
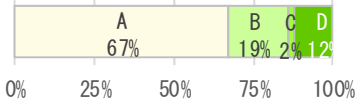
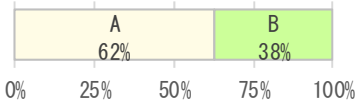
(3) 部位別劣化状況

部位改修を実施していますが，早急に対応する必要がある部位（D評価）が見られる状況です。

今回の現地調査で目視点検を行った屋根・屋上と外壁について，経過年数別の劣化状況を校舎と屋内運動場に分けてそれぞれ示します。

ア　校舎

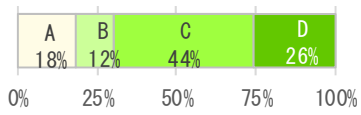
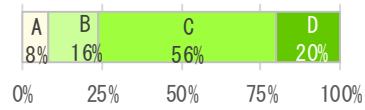
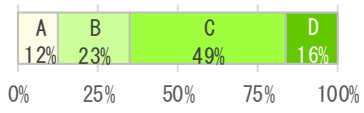
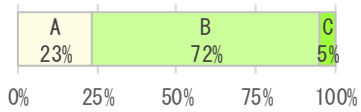
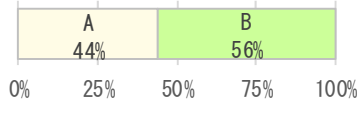
(ｱ) 屋上

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価
50年～ 53棟	修繕・改修が行われており57%の校舎は問題がないといえます。残り43%の校舎は劣化の進行が見られ2回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	樹徳小　南棟 （建築後52年・改修後30年） 	川口小　南棟 （建築後53年・改修後27年） 
40～49年 122棟	修繕・改修が行われており63%の校舎は問題がないといえます。残り37%の校舎は劣化の進行が見られ2回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	東小　南棟 （建築後41年） 	蔵王小　校舎棟 （建築後46年） 
30～39年 61棟	修繕・改修が行われており52%の校舎は問題がないといえます。残り48%の校舎は劣化の進行が見られ，改修時期を迎えています。 延床面積比 	高島小　校舎棟 （建築後33年） 	水呑小　南棟 （建築後35年） 
20～29年 15棟	修繕・改修が行われており86%の校舎は問題がないといえます。残り14%の校舎は劣化の進行が見られ，改修時期を迎えています。 延床面積比 	城東中　北棟 （建築後26年） 	広瀬小　校舎棟 （建築後24年） 
10～19年 6棟	老朽化が顕在化していません。 延床面積比 	—	—

Ａ　概ね良好
Ｂ　部分的に劣化（安全上，機能上，問題なし）
Ｃ　広範囲に劣化（安全上，機能上，不具合発生の兆し）
Ｄ　早急に対応する必要がある（安全上，機能上，問題あり）

Ｂ評価	Ａ評価
光小　南棟（建築後 52 年・改修後 19 年） 	神村小　北棟（建築後 57 年・改修後 3 年） 
樹徳小　北棟（建築後 48 年・改修後 18 年） 	泉小　北棟（建築後 48 年・改修後 7 年） 
至誠中　校舎棟（建築後 38 年・改修後 6 年） 	今津小　南棟（建築後 39 年・改修後 9 年） 
城東中　技術棟・武道場（建築後 29 年） 	明王台小　北棟（建築後 23 年） 
郷分幼稚園　保育管理棟（建築後 16 年） 	神辺中　技術棟（建築後 10 年） 

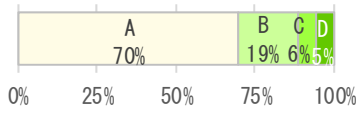
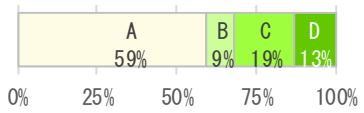
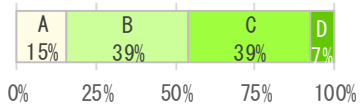
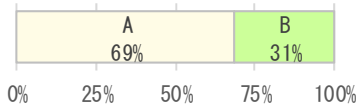
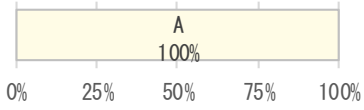
（1） 外壁

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価
50年～ 53棟	修繕・改修が行われており 30%の校舎は問題がないといえます。残り 70%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	樹徳小　南棟 （建築後 52 年・改修後 30 年）  遠景　近景	熊野小　北棟 （建築後 52 年・改修後 19 年）  遠景　近景
40～49年 122棟	修繕・改修が行われており 24%の校舎は問題がないといえます。残り 76%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	西小　南棟 （建築後 46 年）  遠景　近景	春日小　南棟 （建築後 49 年・改修後 22 年）  遠景　近景
30～39年 61棟	修繕・改修が行われており 35%の校舎は問題がないといえます。残り 65%の校舎は劣化の進行が見られ，改修時期を迎えています。 延床面積比 	箕島小　校舎棟 （建築後 38 年）  遠景　近景	藤江小　北棟 （建築後 38 年）  遠景　近景
20～29年 15棟	修繕・改修が行われており 95%の校舎は問題がないといえます。残り 5%の校舎は劣化の進行が見られ、改修時期を迎えています。 延床面積比 	—	有磨小　北棟 （建築後 29 年） 
10～19年 6棟	老朽化が顕在化していません。 延床面積比 	—	—

B評価	A評価
曙小　南棟（建築後 50 年・改修後 14 年）   遠景　近景	向丘中　南棟（建築後 56 年・改修後 8 年）   遠景　近景
旭小　北棟（建築後 49 年・改修後 19 年）   遠景　近景	深津小　北棟（建築後 49 年・改修後 1 年）   遠景　近景
高島小　校舎棟（建築後 33 年）   遠景　近景	日吉台小　南棟（建築後 39 年・改修後 6 年）   遠景　近景
城東中　北棟（建築後 26 年）   遠景　近景	東村小　校舎棟（建築後 27 年） 
中条小　中棟（建築後 17 年） 	内海小　給食棟（建築後 14 年） 

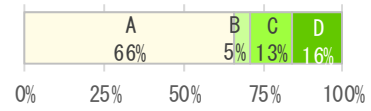
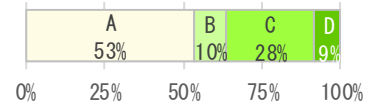
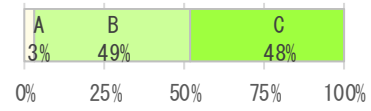
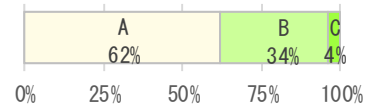
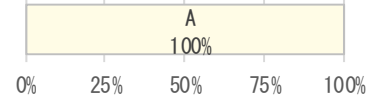
イ　屋内運動場

(ｱ) 屋根

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価
50年～ 15棟	修繕・改修が行われており 89%の校舎は問題がないといえます。残り 11%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	東中　屋内運動場 （建築後 58 年） 	引野小　屋内運動場 （建築後 51 年） 
40～49年 51棟	修繕・改修が行われており 68%の校舎は問題がないといえます。残り 32%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	久松台小　屋内運動場 （建築後 40 年） 	中央中　屋内運動場 （建築後 45 年） 
30～39年 30棟	修繕・改修が行われており 54%の校舎は問題がないといえます。残り 46%の校舎は劣化の進行が見られ改修時期を迎えています。 延床面積比 	駅家西小　屋内運動場 （建築後 36 年） 	川口東小　屋内運動場 （建築後 38 年） 
20～29年 12棟	老朽化が顕在化していません。 延床面積比 	—	—
10～19年 5棟	老朽化が顕在化していません。 延床面積比 	—	—

B評価	A評価
新市小　屋内運動場（建築後 50 年・改修後 8 年） 	駅家小　屋内運動場（建築後 52 年・改修後 8 年） 
駅家東小　屋内運動場（建築後 42 年） 	春日小　屋内運動場（建築後 41 年・改修後 11 年） 
千年小　屋内運動場（建築後 35 年） 	赤坂小　屋内運動場（建築後 31 年） 
明王台小　屋内運動場（建築後 23 年） 	光小　屋内運動場（建築後 28 年） 
—	網引小　屋内運動場（建築後 17 年） 

（イ） 外壁

経過年数	劣化評価の分布	D評価	C評価
50年～ 15棟	修繕・改修が行われており 71%の校舎は問題がないといえます。残り 29%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	東中　屋内運動場 （建築後 58 年）  遠景　　近景	引野小　屋内運動場 （建築後 51 年）  遠景　　近景
40～49年 51棟	修繕・改修が行われており 63%の校舎は問題がないといえます。残り 37%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	西深津小　屋内運動場 （建築後 41 年）  遠景　　近景	箕島小　屋内運動場 （建築後 41 年）  遠景　　近景
30～39年 30棟	修繕・改修が行われており 52%の校舎は問題がないといえます。残り 48%の校舎は劣化の進行が見られ 2 回目の改修時期を迎えています。 延床面積比 	—	内海小　屋内運動場 （建築後 37 年）  遠景　　近景
20～29年 12棟	修繕・改修が行われており 96%の校舎は問題がないといえます。残り 4%の校舎は劣化の進行が見られ，改修時期を迎えています。 延床面積比 	—	三谷分校　屋内運動場 （建築後 28 年） 
10～19年 5棟	老朽化が顕在化していません。 延床面積比 	—	—

B評価	A評価
加茂小　屋内運動場（建築後 51 年・改修後 10 年）   遠景　近景	培遠中　屋内運動場（建築後 51 年・改修後 8 年）   遠景　近景
旭丘小　屋内運動場（建築後 45 年・改修後 12 年）   遠景　近景	山南小　屋内運動場（建築後 40 年・改修後 7 年）   遠景　近景
千年小　屋内運動場（建築後 35 年）   遠景　近景	今津小　屋内運動場（建築後 39 年） 
広瀬小　屋内運動場（建築後 24 年） 	鞆の浦学園（旧鞆小）屋内運動場（建築後 29 年・改修後 3 年）   遠景　近景
—	水呑小　屋内運動場（建築後 12 年）   遠景　近景

４　学校施設の老朽化状況の実態を踏まえた課題

(1) 構造躯体の健全性について

過去の耐震診断時の調査結果を用いた簡易評価により構造躯体の健全性を把握しましたが，長寿命化に必要な強度が不足し，期待できる使用年数が 60 年未満となった建物は小学校 35 棟，中学校 19 棟，中高一貫校 2 棟，幼稚園 2 棟の計 58 棟となりました。

これらの建物は，築後 60 年程度での建替えを行う必要があるほか，その他の建物についても，耐震診断を行っていない新耐震基準の建物や，耐震診断から実際の改修工事までに相当の時間が経過しているものについては，改修工事に先立って構造躯体の健全性を調査する必要があり，その結果によっては，長寿命化改修から建替えに方針転換しなければならない建物が増加する可能性があります。

(2) 構造躯体以外の劣化状況について

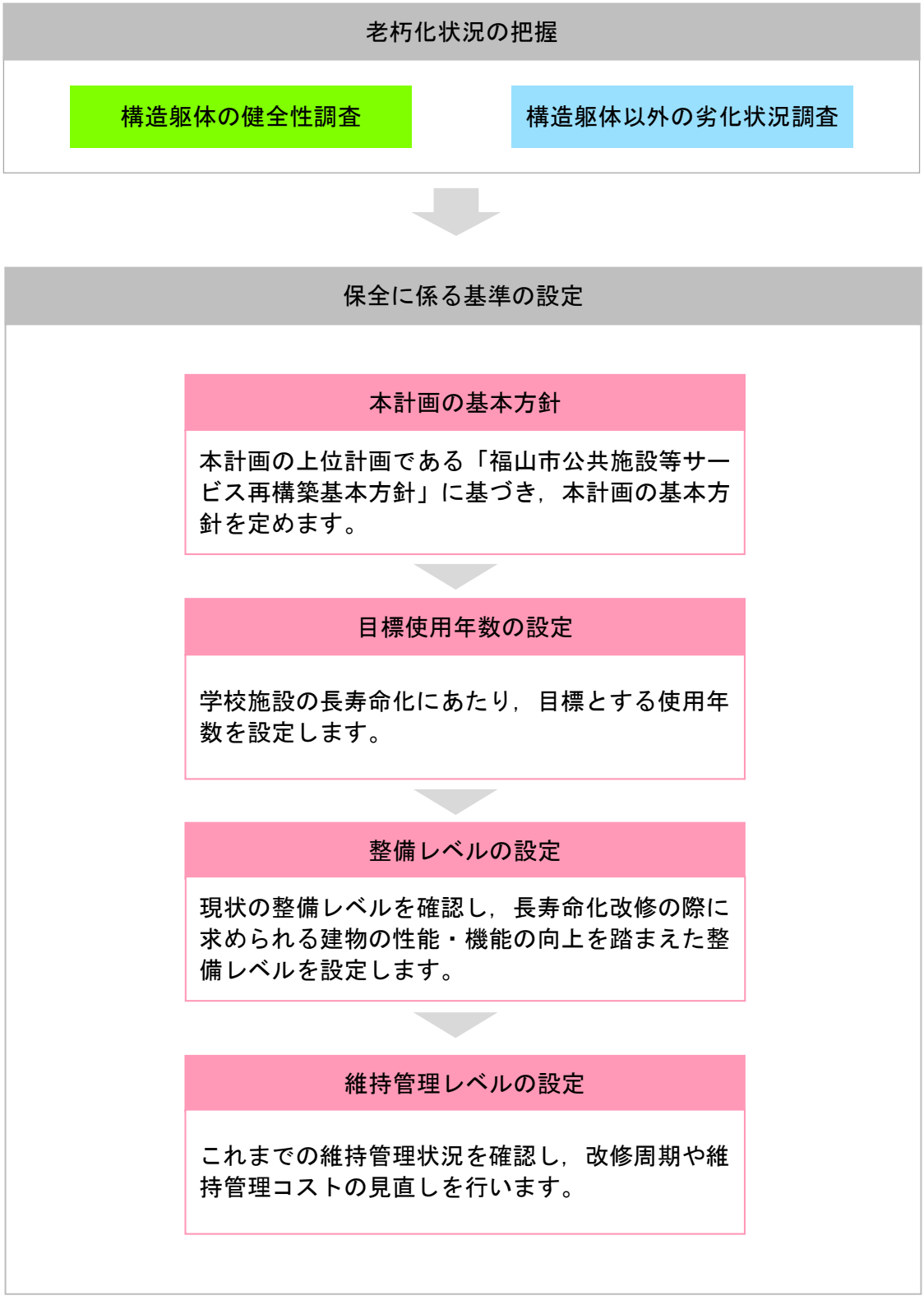
今回の調査結果では，老朽化が進行している建物が多いことや，事後保全が常態化している実態があることから，広範囲に劣化が見られると判断されるＣ評価や，早急に対応する必要があると判断されるＤ評価が多く見受けられました。

今後は，劣化が著しい建物の修繕や改修に取り組むとともに，安心・安全な施設環境を確保するためにも，事後保全から計画的な予防保全へと方針を転換する必要があります。

第４章　保全に係る基準の設定

第４章　保全に係る基準の設定

第３章の学校施設の老朽化状況の把握を受けて，保全につなげるための基準の設定フローは次のとおりです。



第１節　学校施設整備の基本的な方針

１　福山市公共施設等サービス再構築基本方針について

本計画の上位計画である「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」の基本理念，取組の方針である３つの柱及び学校教育施設の再整備方針は次のとおりです。

福山市公共施設等サービス再構築基本方針（一部抜粋）

基本理念

社会の変化に的確に対応し，将来にわたり活力のある，持続可能なまちづくりをめざし，公共施設等の再構築・再整備を通して最適な公共サービスの提供を実現する。

取組の方針

１　適正配置，保有総量の縮小

〇将来への負担を軽減
- ・売却処分を基本
- ・資産の適切な運用

〇資産保有量全体の縮減
- ・機能の見直しや集約化
- ・計画的な統廃合や再配置

２　効率的，効果的な活用

〇最大限の有効活用
- ・まちづくり推進のための支援
- ・新たな施設への転用

３　計画的保全，長寿命化（更新コストの縮減）

〇可能な限りの長寿命化
- ・法定点検や日常点検の実施
- ・更新コストの縮減

施設類型ごとの再整備方針（学校教育施設）

〇計画等の推進

小学校・中学校については「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」に基づき策定された「福山市学校規模・学校配置の適正化計画」により対象施設の再編の取組を進めます。幼稚園等については，「福山市公立就学前教育・保育施設の再整備計画」に基づき対象施設の再整備に取り組みます。

〇耐震化・長寿命化の方針

児童生徒の安全性の確保のため，耐震化については「福山市立学校施設耐震化推進計画」を基本に推進するとともに，長寿命化については効率的・計画的な予防保全を図ります。これらについては，学校規模・学校配置の適正化の取組との整合性を図りながら取り組みます。

〇統合・廃止の方針

小学校・中学校については，学校の小規模化が進む中，一定の集団規模を確保することで，子どもたちの多様な人間関係を通した学びの充実を図るため，学校の再編に取り組みます。幼稚園については，将来的な児童数の推移や保護者のニーズ，地域の状況等を総合的に判断する中で，集団保育の継続や新たな教育・保育機能の充実などを踏まえた再整備に取り組みます。

２　学校施設整備の基本方針

「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」を踏まえ，本計画の基本方針は次のとおりとします。この基本方針を踏まえ，今後の学校施設の整備レベル等を設定します。

本計画の基本方針
１　適正配置，保有総量の縮小に向けた取組
○小中学校については，「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」に基づき策定された「福山市学校規模・学校配置の適正化計画」により，適正規模・適正配置に取り組みます。 また，児童生徒数の減少により生じた余裕教室については，有効活用をより一層進めるとともに，学校や地域での様々な活動において将来的にも使用する見込みがないと判断される場合は，用途の転用や取り壊しの検討を行い，保有総量の縮小に取り組みます。 ○幼稚園については，施設の老朽度・立地条件・現在のニーズ・役割・拠点性等や公共施設サービス再構築の視点も踏まえるなかで，統合等による幼保連携型認定こども園への移行を検討します。
２　効率的，効果的な活用に向けた取組
○児童生徒や住民等，利用するすべての人が安全で使いやすい学校施設とするため，バリアフリー化を推進します。 ○成長期にある児童生徒にとって適切な学習環境となるよう，全市立小中学校の普通教室及び一部の特別教室へ空調設備の整備を進めます。 ○ＩＣＴ環境の整備や学校・家庭・地域との交流環境の整備等，社会の変化へ対応する教育環境の整備を進めます。 ○建替えや大規模な改修の際には，高断熱高気密化や省エネルギー効果の高い設備の導入等により，建物の環境性能の向上を図ります。 ○より効率的・効果的な施設整備を進めるため，ＰＰＰやＰＦＩ等の民間の専門的なノウハウや技術を活用した施設整備の手法について，研究を進めます。
３　計画的保全，長寿命化（更新コストの縮減）に向けた取組
○これまでの事後保全から計画的な予防保全へと方針を転換することで学校施設を長寿命化し，建替え・改修に係る中長期的なトータルコストの縮減と財政負担の平準化に努めます。 ○改修に先立ち構造躯体の健全性の詳細調査を実施することで，効果的な改修につなげます。 ○法定点検や日常点検により適切な維持管理を実施するほか，点検結果のデータを蓄積し，具体的な改修計画に反映します。

第２節　目標使用年数と改修周期の設定

１　構造躯体の目標使用年数の設定

文部科学省の「学校施設の長寿命化改修の手引」によると，鉄筋コンクリート造校舎は「適切なタイミング（おおむね築後 45 年程度まで）で長寿命化改修を行うことで，改修後 30 年以上，物理的な耐用年数を延ばすことができます。」と記載されています。

また，同省「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」によると「実際の学校施設の物理的な耐用年数は，適切な維持管理がなされ，コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度，さらに，技術的には 100 年以上持たせるような長寿命化も可能である。」と記載されています。

これを参考として，鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の建物については，今後は築後 40 年が経過する頃に長寿命化改修を実施し，築後 80 年程度まで使用できるよう長寿命化を図ります。

屋内運動場や幼稚園等の鉄骨造の建物については，実際は柱脚，仕口の状況を把握し，長寿命化の可能性を確認する必要がありますが，現時点では鉄筋コンクリート造の建物と同様に築後 80 年程度までの長寿命化が可能と想定します。木造等は小規模な建物のため，築後 50 年程度で建替えることとします。ただし，構造躯体の健全性の評価結果に基づき，目標使用年数が短くなる場合もあります。

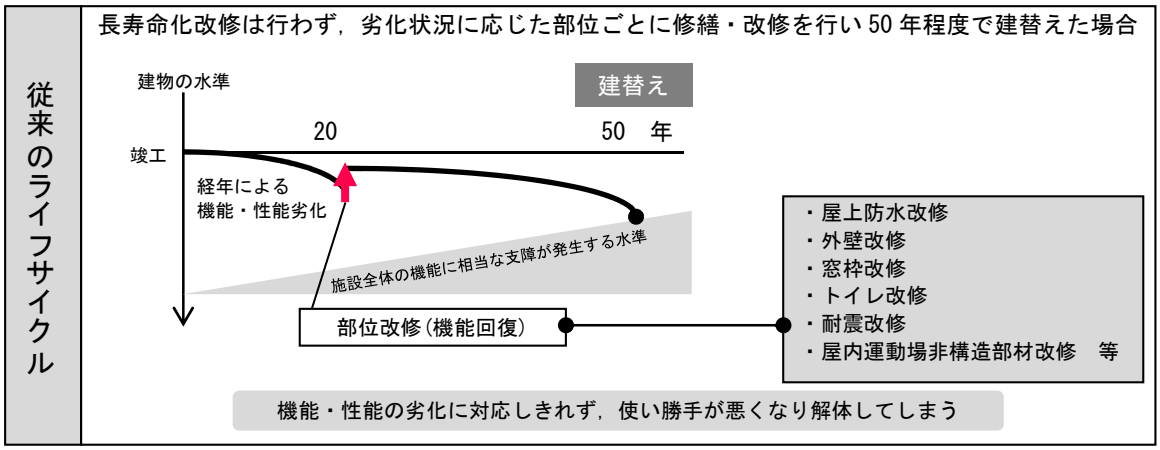
また，目標使用年数を経過する頃に構造躯体の健全性調査を再度行い，その評価結果により建物の継続使用が可能と判断される場合は，改修を行うことで目標使用年数を延長することも検討します。

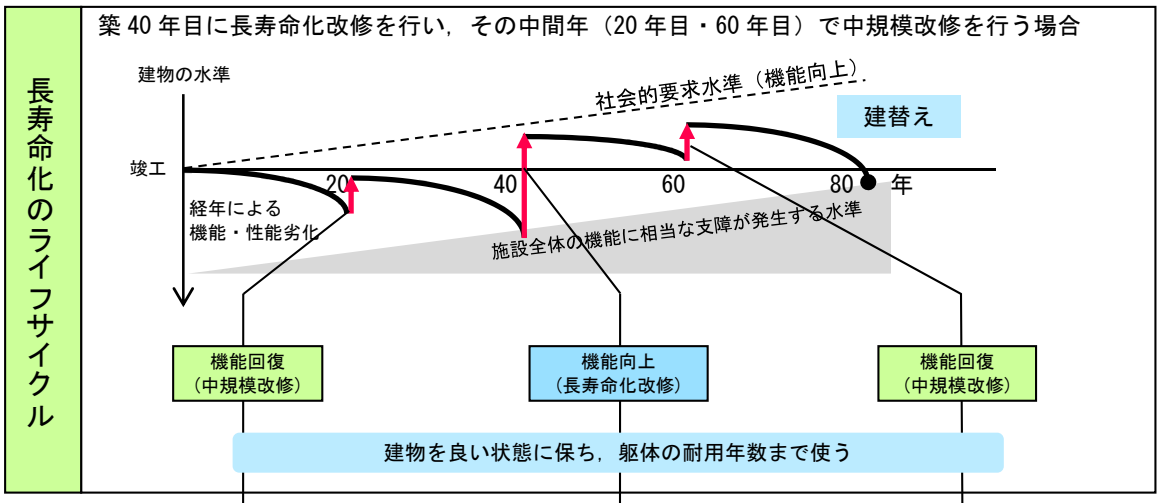
構造別の目標使用年数		
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
80 年	80 年	50 年

2　改修周期の設定

従来の建替え中心から建物の長寿命化に切り替えて整備を進めます。

長寿命化改修を実施した場合の改修周期は次のとおりです。



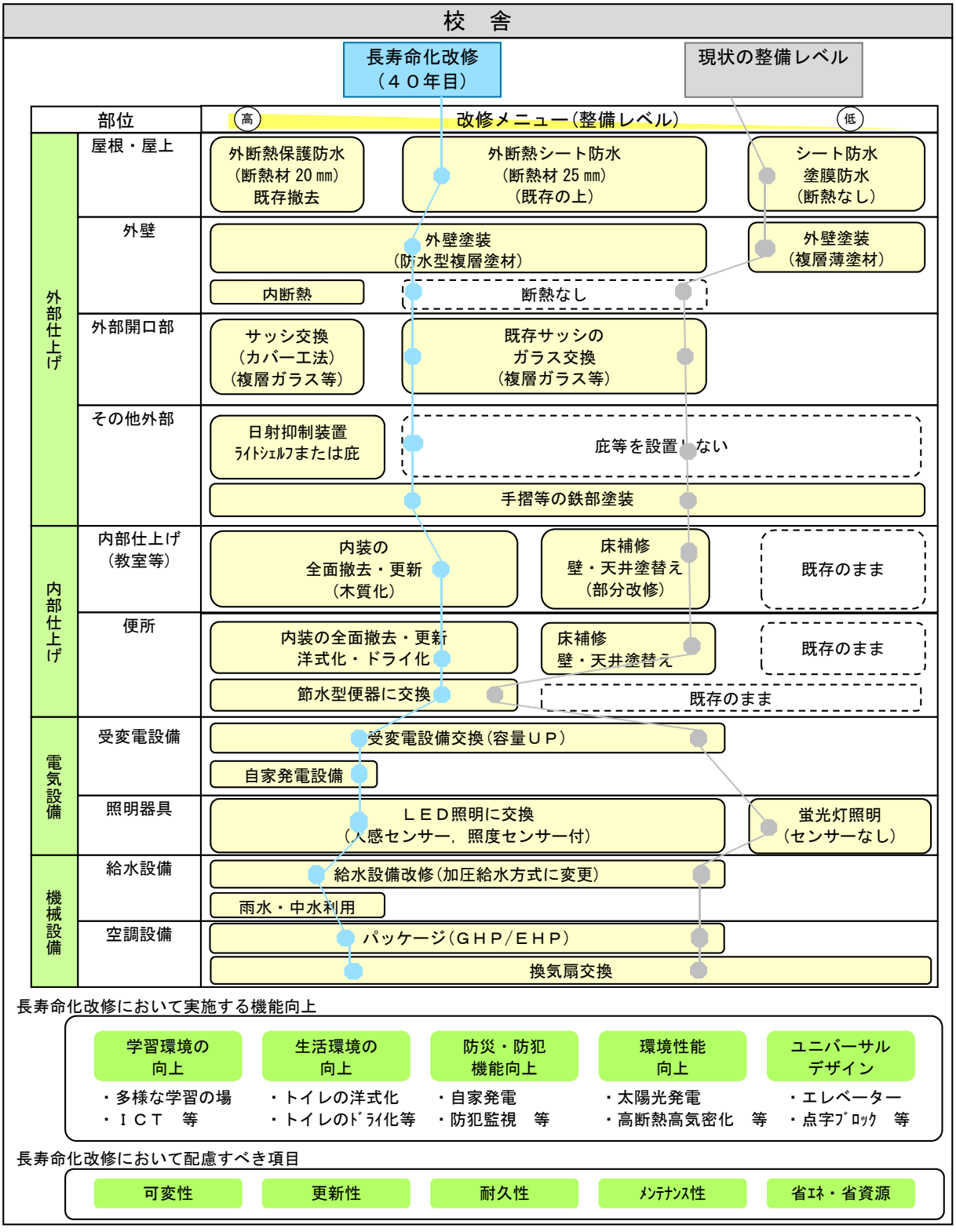


築 20 年目 中規模改修	築 40 年目 長寿命化改修	築 60 年目 中規模改修
経年劣化による損耗，機能低下に対する機能回復工事	経年劣化に対する機能回復工事と，社会的要求に対応するための機能向上工事	経年劣化による損耗，機能低下に対する機能回復工事
主な工事内容 ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・開口部改修 ・内部改修 ・電気設備改修 ・給排水衛生設備改修 ・空調機器更新　　等	主な工事内容 ・屋上防水改修（断熱化） ・外壁改修 ・コンクリート中性化対策 ・開口部改修 ・内部改修（床・壁・天井） ・受変電設備改修 ・照明設備改修 ・通信・防災設備改修 ・給排水衛生設備改修 ・空調機器更新 ・空調配管改修 ・多様な学習形態へ対応 等	主な工事内容 ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・開口部改修 ・内部改修 ・電気設備改修 ・給排水衛生設備改修 ・空調機器更新　等

第３節　長寿命化改修の整備レベルの設定

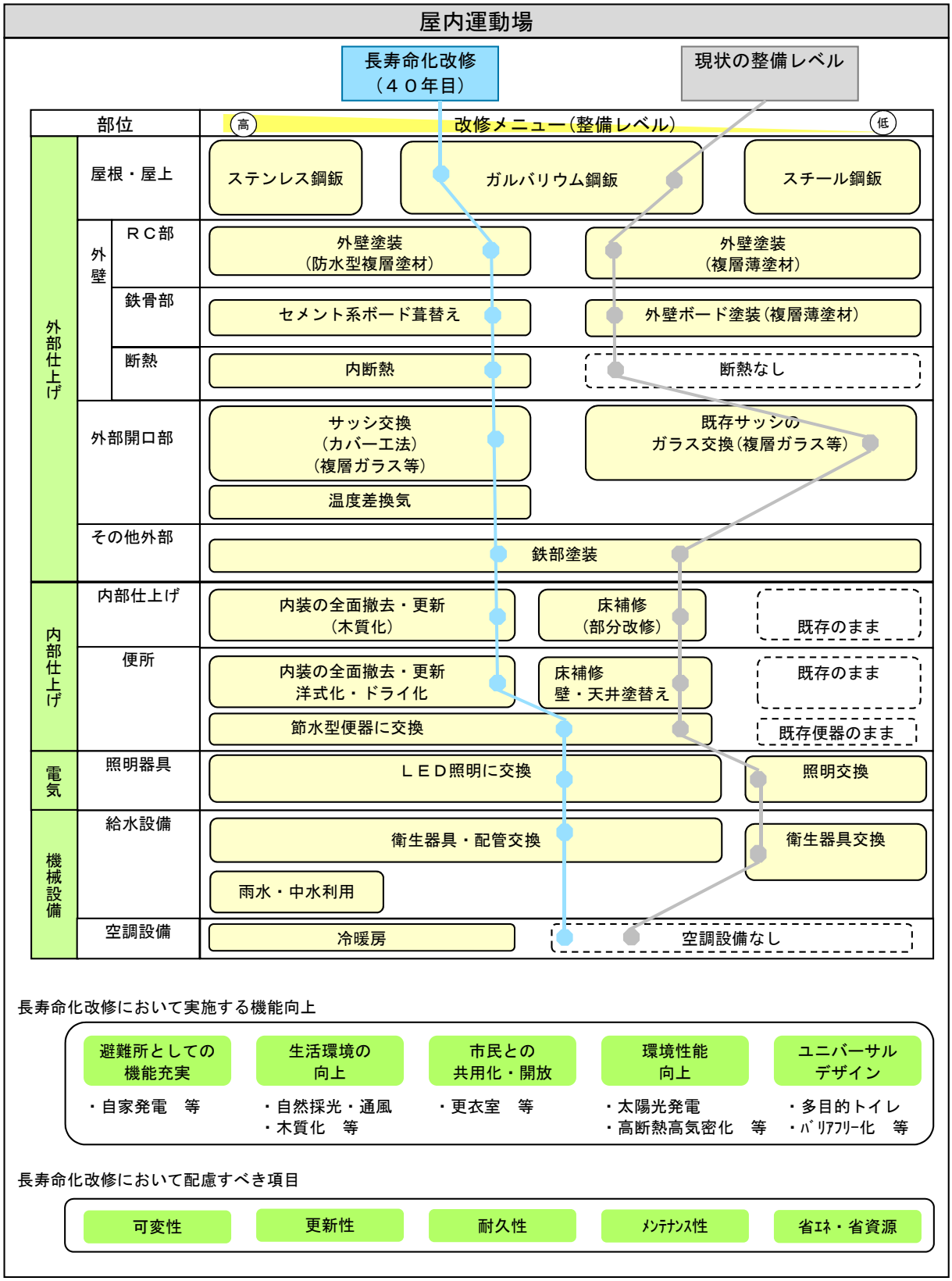
１　校舎の長寿命化改修の整備レベルの設定

長寿命化改修では，建物の基本的性能の向上を図るとともに，省エネ化やバリアフリー，防災等の機能を向上させる必要があります。これらの項目に対して，次のとおり各部の整備レベルを設定し，少ないコストで大きな効果が得られるよう最適な仕様を設定します。



２　屋内運動場の長寿命化改修の整備レベルの設定

屋内運動場の屋根，外壁の改修は，既存の仕上げや劣化の状況により，葺き替えまたはカバー工法を選択します。利用面からは，災害時の応急避難所としての機能や，地域開放・市民との共用化等を考慮した整備を検討します。



３　改修イメージ

長寿命化改修実施後のイメージ写真と主な工事内容は次のとおりです。

(1) 外部仕上げのイメージ

【　外　壁　】



・外壁改修
・外部開口部改修
・手すり等の鉄部塗装

【　屋　根　・　屋　上　】



・屋上防水改修
・屋根改修

(2) 内部仕上げのイメージ

【　教　室　】



・床仕上げの改修
・壁・天井の塗装替え
・建具改修
・照明器具のＬＥＤ化

【　廊　下　・　階　段　】



・床仕上げの改修
・壁・天井の塗装替え
・消火設備改修
・照明器具のＬＥＤ化

【　ト　イ　レ　】



・便器の洋式化　　・床のドライ化
・節水型便器に交換　　・バリアフリー化

4　校舎の整備レベルの向上とライフサイクルコスト（ＬＣＣ）

現状の整備レベルでの 50 年建替えと，長寿命化改修を行い 80 年建替えとした場合のＬＣＣコストについて，校舎を例として比較します。現状の整備レベルで 50 年の使用年数とする方が，使用年数が短い分，ＬＣＣコストが低くなりますが，100 年間の長期的視点に立つと，長寿命化改修を行い 80 年の使用年数とした方が，コストを縮減することができます。

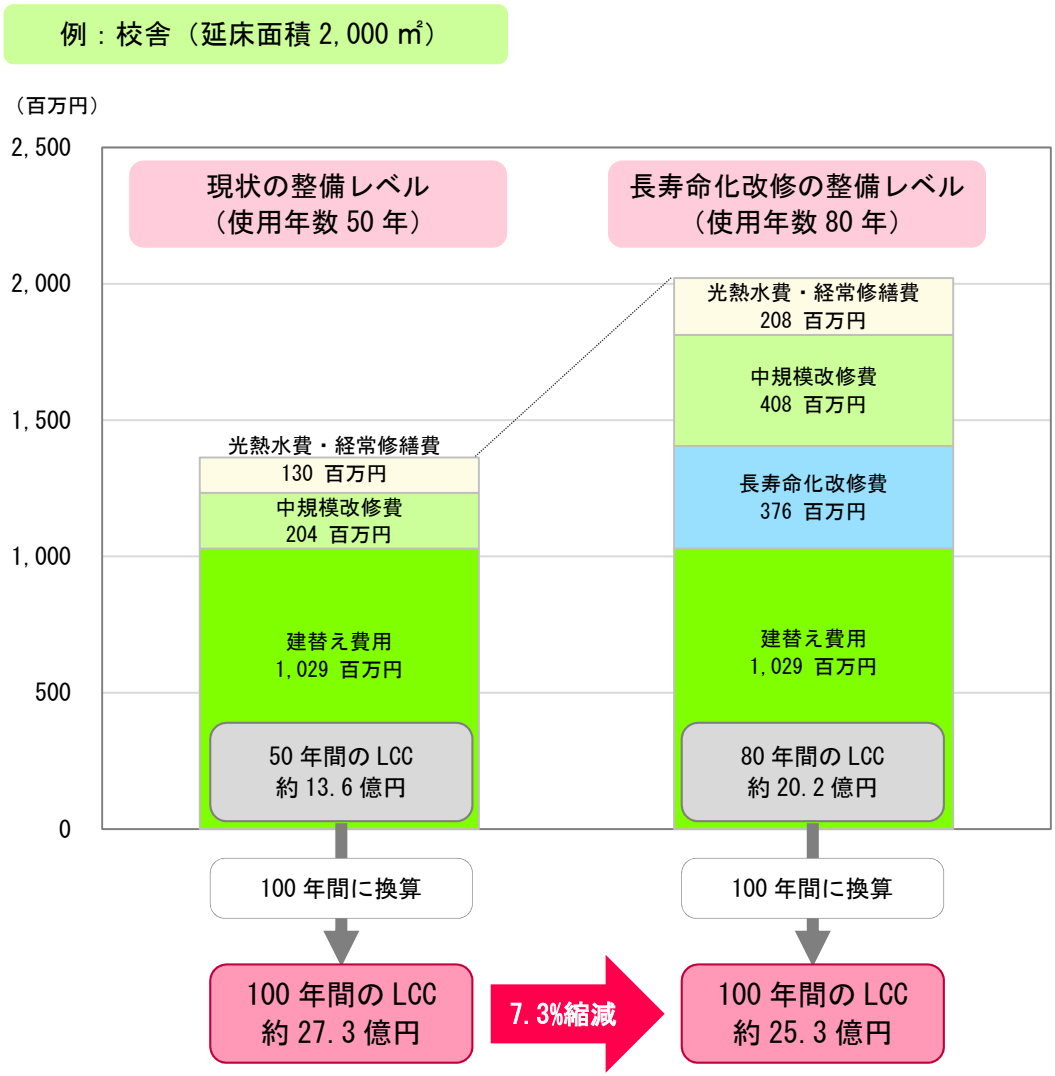


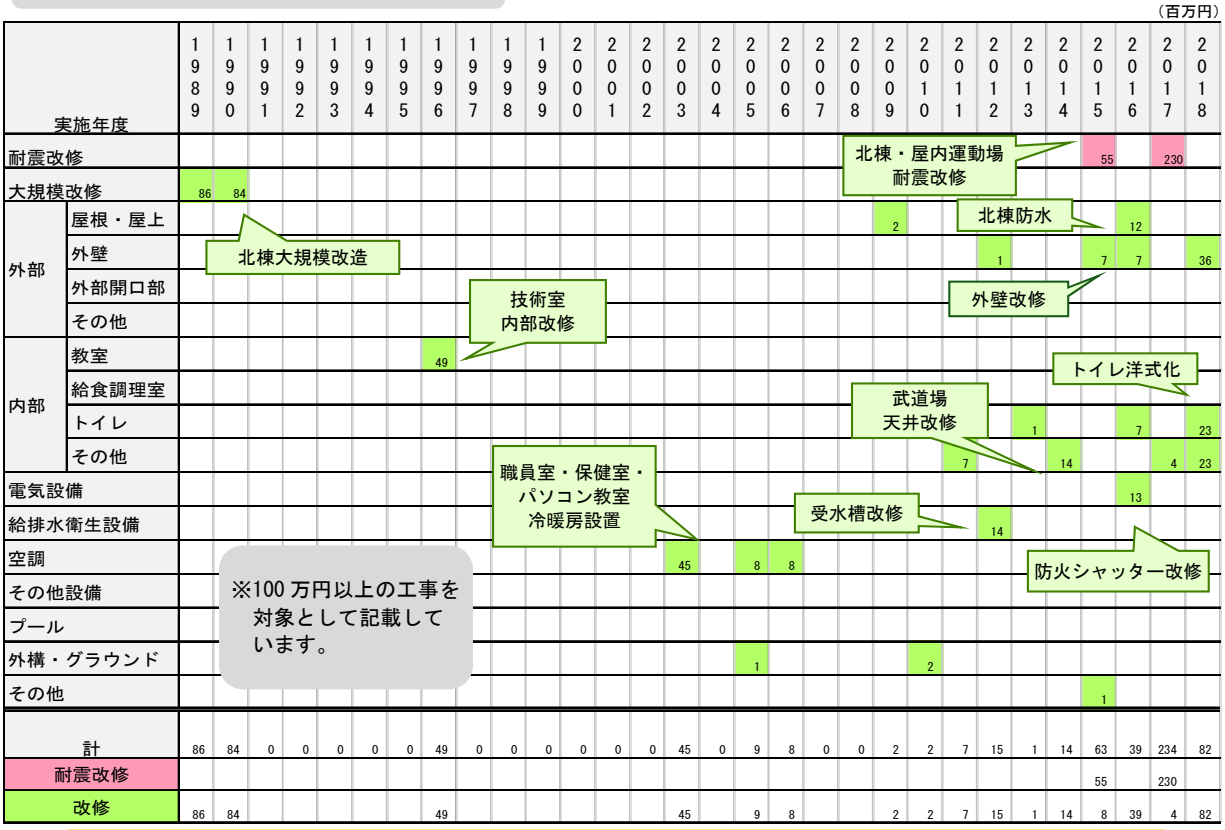
図 4−3−1　ＬＣＣコスト比較図

第４節　維持管理レベルの設定

１　現状の学校の維持管理状況

維持管理レベルの現状として，東中学校を例に各部の改修周期と工事内容を以下に示します。これまでの維持管理の問題点としては，計画的な改修ができておらず，各部の劣化進行後や故障等発生後に対応する等の事後保全となっています。

（例）東中学校の維持管理状況



改修に 1 年あたり約 2,000 円／㎡をかけていますが，Ｄ・Ｃ評価が見られる状況です。

建物名	建築年度	構造	延床面積（㎡）	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
北棟	1965	RC	4,253	A	A	C	C	C
南棟	1982	RC	1,990	D	C	B	B	B
武道場･プール	1997	SRC	507	B	B	B	B	B
屋内運動場	1961	S	720	D	D	C	C	C

図 4－4－1　現状の学校の維持管理状況例

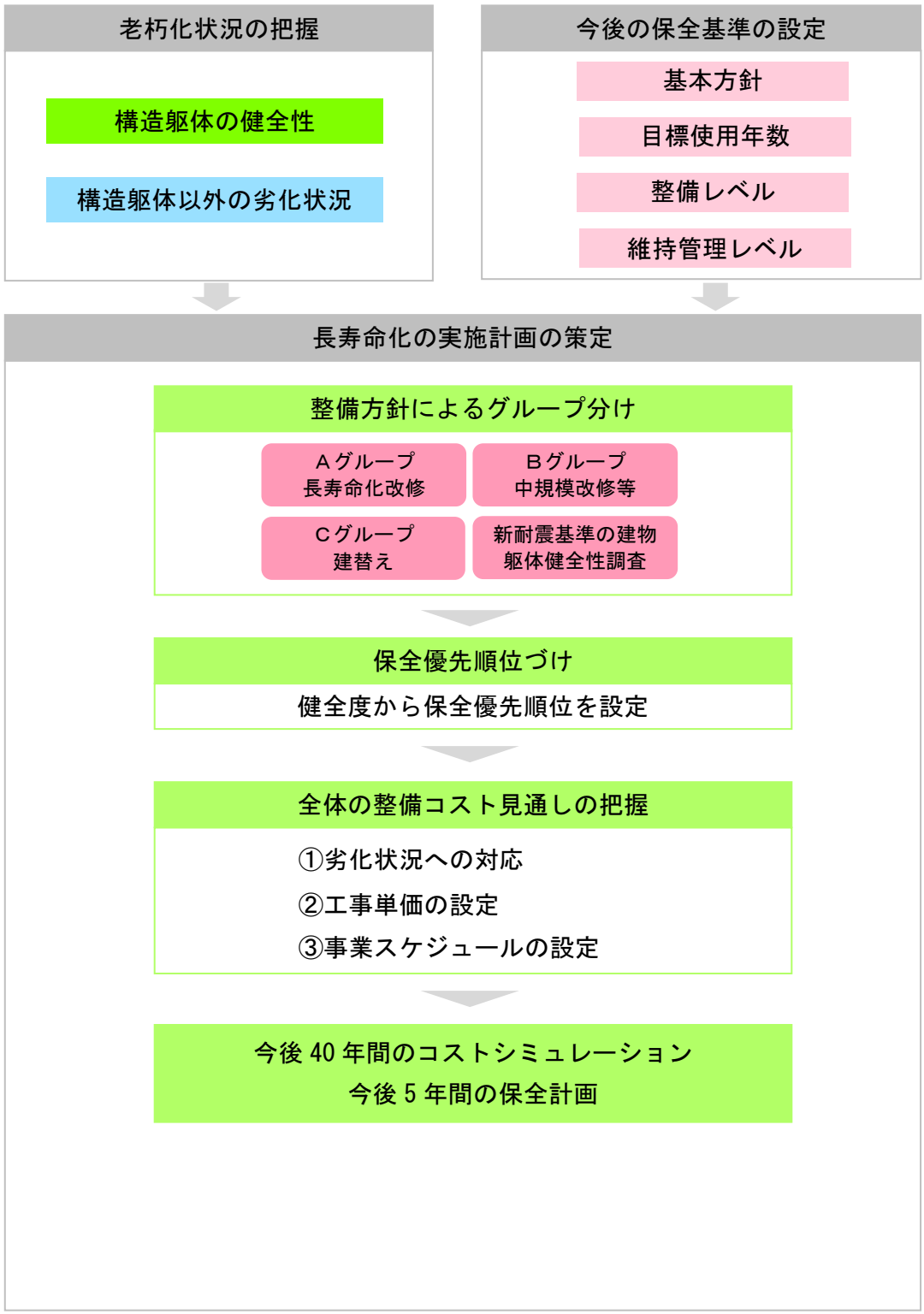
２　維持管理の見直し

施設の長寿命化を図るためには，目標使用年数の中間年である 40 年目で実施する長寿命化改修に加え，20 年目・60 年目で中規模改修を実施し，この間に発生する劣化，設備機器の故障については，状況に応じて経常修繕費で対応することで，常に建物を良い状況に保って使い続けることが可能となります。

第５章　長寿命化の実施計画

第５章　長寿命化の実施計画

第 3 章の学校施設の老朽化状況の把握，第 4 章の保全に係る基準の設定から長寿命化の実施計画の策定までのフローを以下に示します。

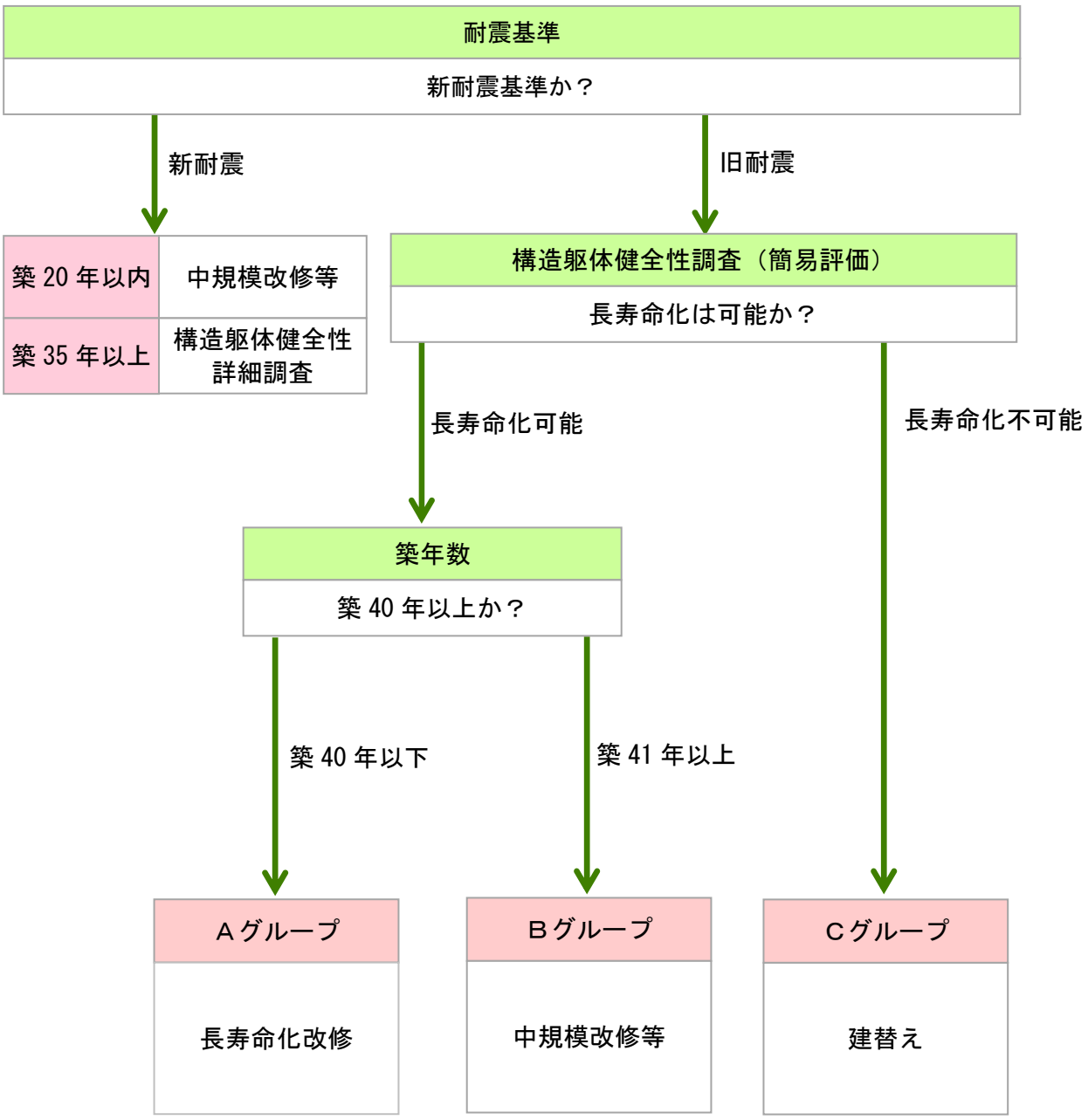


第１節　学校施設の長寿命化に向けた整備方針

１　グループごとの施設整備

学校施設の長寿命化に向けて，第 3 章で実施した構造躯体健全性の調査結果をもとに，次に示すフローチャートに沿って各グループに分け，それぞれのグループの方針に沿って今後の施設整備を行うこととします。

(1) グループ分けフローチャート



(2) グループごとの整備方針

		整備方針
旧耐震基準の建物	Ａグループ 46 棟	構造躯体健全性調査により，期待できる使用年数が 80 年以上または 60～80 年と判定された建物のうち，築後 40 年以下の建物については，原則，築後 40 年目を目安として概ね築後 45 年程度までに長寿命化改修を行い，老朽化した施設をリニューアルすることで，建替えと同程度の効果をめざします。
	Ｂグループ 144 棟	構造躯体健全性調査により，期待できる使用年数が 80 年以上または 60～80 年と判定された建物ののうち，すでに築後 41 年以上経過している建物については，中規模改修や部位修繕を行い，80 年の使用が可能となるよう建物の適切な維持管理に努めます。
	Ｃグループ 57 棟	構造躯体健全性調査により，期待できる使用年数が 60 年未満と判定された建物は，長寿命化が不可能であるため，必要最低限の修繕を行い，築後 60 年目を目安に建替えを行います。
新耐震基準の建物 102 棟		新耐震基準の建物については，これまで耐震診断を実施していないため，築後 35～40 年で構造躯体健全性調査（詳細調査）を行うこととし，長寿命化改修等の耐用年数に応じた改修を行います。 また，築後 20 年を迎える段階で中規模改修を行います。
解体のみを行う建物		廃校となった学校で耐震性のない校舎や，現在休園中の幼稚園等については，原則として解体し，新たな利活用の方針を検討することとします。

※各グループの内訳は資料編 3 を参照してください。

(3) 今後実施する必要がある構造躯体健全性調査

今回の構造躯体健全性調査（簡易評価）の根拠となっている耐震診断は，その多くが 2000 年代から 2010 年代にかけて実施したものであり，耐震診断から長寿命化改修または中規模改修の実施までの間に相当の年数が経過している場合，耐震診断時の状況から劣化が進行している可能性があります。

そのため，旧耐震基準の建物で，耐震診断の実施年度から長寿命化改修または中規模改修の実施年度までに 10 年以上の間隔がある場合，その改修工事の実施予定年度の 2 年前に，構造躯体健全性調査（詳細調査）を行い，期待できる使用年数に応じた改修等を計画することとします。

第２節　保全優先度の設定

１　保全優先度の設定方法

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考に，構造躯体以外の劣化状況について，目視による評価，経年による評価及び部位のコスト配分を踏まえた指標「健全度」を算定し，保全の優先順位づけを行います。健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

(1) 評価基準と評価点

4 段階の評価基準に対応する評価点は次のとおりです。

	評価基準		評価点
	目視による評価 （屋根・屋上，外壁）	経過年数による評価 （内部仕上げ，電気設備，機械設備）	
Ａ評価	概ね良好	20 年未満	100 点
Ｂ評価	部分的に劣化 （安全上，機能上，問題なし）	20 年～40 年未満	75 点
Ｃ評価	広範囲に劣化 （安全上，機能上，不具合発生の兆し）	40 年以上	40 点
Ｄ評価	早急に対応する必要がある （安全上，機能上，問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	10 点

(2) 部位のコスト配分

部位により建築物の安全性もしくは機能性に及ぼす影響が異なることから，5 つの部位に対するコスト配分を次のとおり定めます。

部　　位	コスト配分
１　屋根・屋上	5.1
２　外壁	17.2
３　内部仕上げ	22.4
４　電気設備	8.0
５　機械設備	7.3
合　　計	60.0

(3) 健全度の算定

健全度を次の式により算定します。

健全度　＝　総和（部位の評価点×部位のコスト配分）　÷　60

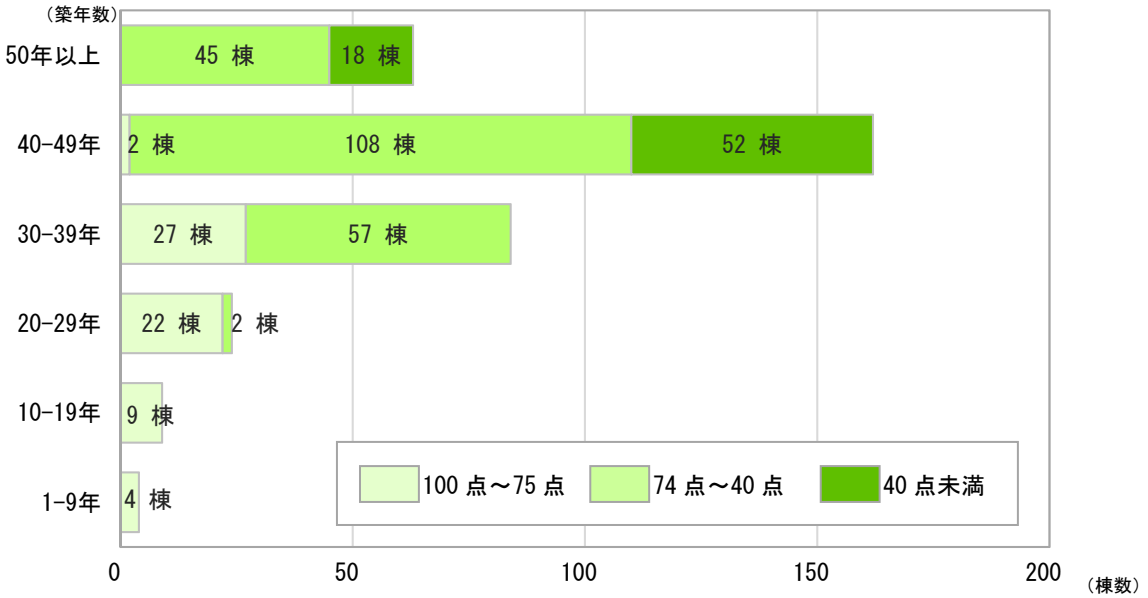
※100 点満点にするためにコスト配分の合計値（60）で割ります。

2　健全度による評価結果

現地調査を実施した施設の健全度の算定結果は次のとおりです。

健全度の点数の低い建物が改修等の優先順位が高いものとなり，文部科学省の基準では，健全度 40 点未満の建物は優先的に対策を講じることが望ましいとされています。

図 5－2－1　築年別の健全度による評価結果



※学校別の健全度は資料編 4 を参照してください。

第３節　今後の整備保全計画

１　現地調査結果による改修時期の設定

改修の実施時期については，築年数と健全度を加味して決定することとしますが，次の表に示す部位別の劣化事象に該当する建物は優先的に修繕を行います。

5 年・10 年以内に改修が必要な部位の修繕で，長寿命化改修または中規模改修を概ね 10 年以内に実施予定の場合は，部位修繕は実施せず，長寿命化改修または中規模改修において同時に実施することとします。

	5 年以内に改修が必要	10 年以内に改修が必要	現時点では改修の必要はない
屋根・屋上	Ｄ評価 ・屋上の広範囲に損壊，幅広のひび割れ，下地露出等があり，複数箇所に漏水痕がある。 ・金属屋根の広範囲に，さび，はがれ，腐食，取付金物の損壊があり，複数箇所に漏水痕がある。	Ｃ評価 ・屋上の広範囲にひび割れ，変質，排水不良，土砂の堆積，雑草が見られ，最上階天井に漏水痕がある。 ・金属屋根の広範囲に塗装の剥がれ，さび，変質等部分的な腐食・損壊がある	Ｂ・Ａ評価 ―
外壁	Ｄ評価 ・広範囲に，剥落・爆裂・幅広のひび割れ等の劣化がある。 ・複数箇所に漏水痕がある。	Ｃ評価 ・広範囲に，ひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび等の劣化が見られる。	Ｂ・Ａ評価 ―
内部仕上げ	・広範囲に劣化事象がみられる。	Ｄ評価	Ｃ・Ｂ・Ａ評価
電気設備	・漏電 ・漏水 ・防災設備の故障	Ｄ評価	Ｃ・Ｂ・Ａ評価
機械設備		Ｄ評価	Ｃ・Ｂ・Ａ評価

２　コスト算出条件

建替え，長寿命化改修，中規模改修，部位修繕のコスト算出のための単価を以下に設定します。

なお，今後の建設物価変動等の影響により，実際の建替え・改修の際には単価を再調整する場合があります。

(1) 工事別単価

工事種	建物区分	工事内容	数量	単価	
長寿命化改修	校舎	内部・外部仕上げ，コンクリート中性化対策，設備の全面更新	延面積	188.1	千円/㎡
	屋内運動場		延面積	188	千円/㎡
	武道場		延面積	170.6	千円/㎡
	幼稚園		延面積	168	千円/㎡
	給食センター		延面積	273	千円/㎡
	プール	プール槽改修，ろ過設備更新	１校	38,500	千円/校
	グラウンド	防球ネット改修，不陸調整	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ面積	111.1	千円/㎡
中規模改修	校舎	防水，屋根・外壁塗装，設備機器更新	延面積	102.1	千円/㎡
	屋内運動場	床塗装，屋根・外壁塗装，照明更新	延面積	60.5	千円/㎡
	武道場	防水，屋根・外壁塗装，設備機器更新	延面積	91.1	千円/㎡
	幼稚園		延面積	70	千円/㎡
	給食センター		延面積	113.8	千円/㎡
	プール	シート防水改修，ろ過設備改修	１校	20,000	千円/校
	グラウンド	不陸調整	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ面積	1.1	千円/㎡
部位修繕	屋上防水・屋根	シート防水改修	屋根面積	11	千円/㎡
		屋根塗装	屋根面積	22	千円/㎡
	外壁	外壁塗装	延面積	11	千円/㎡
修繕等経常経費		小さな破損，破壊等の修繕	延面積	0.6	千円/㎡
建替え	校舎	校舎建替え	延面積	324.5	千円/㎡
	屋内運動場	屋内運動場建替え	延面積	283	千円/㎡
	武道場	武道場建替え	延面積	307	千円/㎡
	幼稚園	幼稚園建替え	延面積	252	千円/㎡
	給食センター	給食センター建替え	延面積	396	千円/㎡
	プール	プール建替え	1校	110,000	千円/校
解体	校舎等	校舎・武道場・給食センター解体	延面積	59	千円/㎡
	屋内運動場等	屋内運動場・幼稚園解体	延面積	28	千円/㎡
	プール	―	1校	9,130	千円/校
仮設校舎		―	延面積	131	千円/㎡

(2) 部位別単価

部位			長寿命化改修(40 年)				中規模改修(20 年, 60 年)			
			校舎		屋内運動場		校舎		屋内運動場	
			単価	単位	単価	単位	単価	単位	単価	単位
建築	外部	屋根・屋上	11	千円/屋根㎡	22	千円/屋根㎡	11	千円/屋根㎡	22	千円/屋根㎡
		外壁	36.1	千円/外壁㎡	28	千円/外壁㎡	36.1	千円/外壁㎡	17.5	千円/外壁㎡
		外部開口部	19	千円/㎡	19	千円/㎡	5	千円/㎡	5	千円/㎡
		外部その他	4	千円/㎡	1	千円/㎡	2	千円/㎡	1	千円/㎡
	内部		55.5	千円/㎡	90	千円/㎡	8	千円/㎡	8	千円/㎡
設備	電気	受変電	20	千円/㎡	8	千円/㎡	18	千円/㎡	5	千円/㎡
		照明・ｺﾝｾﾝﾄ		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		通信		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		防災		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		その他		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
	給排水衛生	給水	25	千円/㎡	20	千円/㎡	11	千円/㎡	2	千円/㎡
		給湯		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		排水		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		衛生		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		ガス		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
		消火		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡		千円/㎡
	空調		17.5	千円/㎡	0	千円/㎡	11	千円/㎡	0	千円/㎡
合計			188.1	千円/㎡	188	千円/㎡	102.1	千円/㎡	60.5	千円/㎡

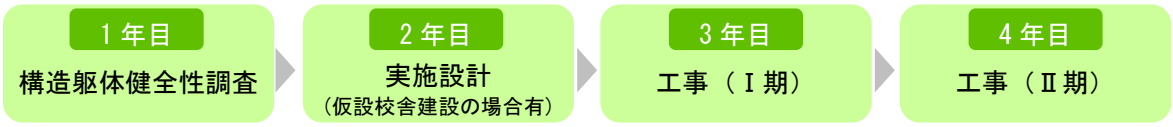
(3) 事業スケジュール

建物別・工事別の事業スケジュールの目安は次のとおりです。

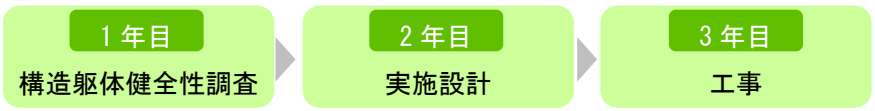
なお，実際の工事内容等により変更する可能性があります。

ア　長寿命化改修の事業スケジュール目安

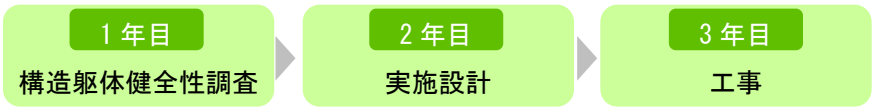
(ｱ) 校舎



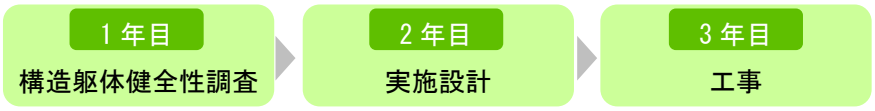
(ｲ) 屋内運動場



(ｳ) 幼稚園

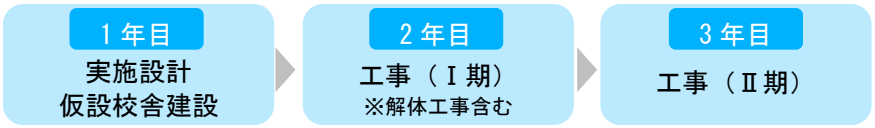


(ｴ) 給食センター

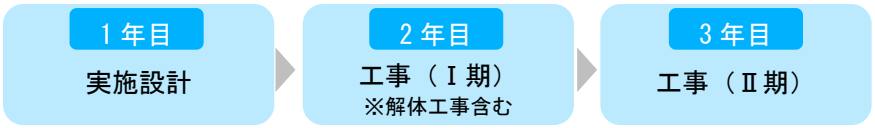


イ　建替えの事業スケジュール目安

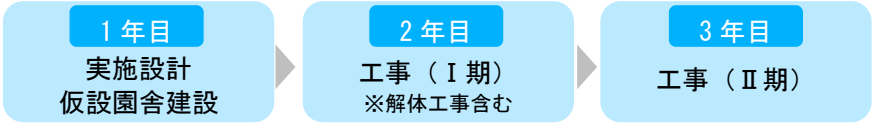
(ｱ) 校舎



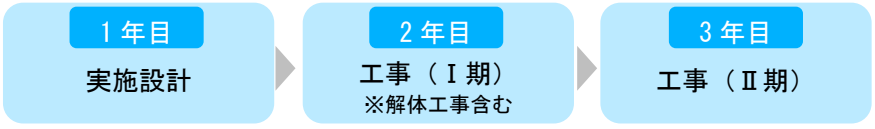
(ｲ) 屋内運動場



(ｳ) 幼稚園



(ｴ) 給食センター



(4) 保全にかかるコスト算出条件

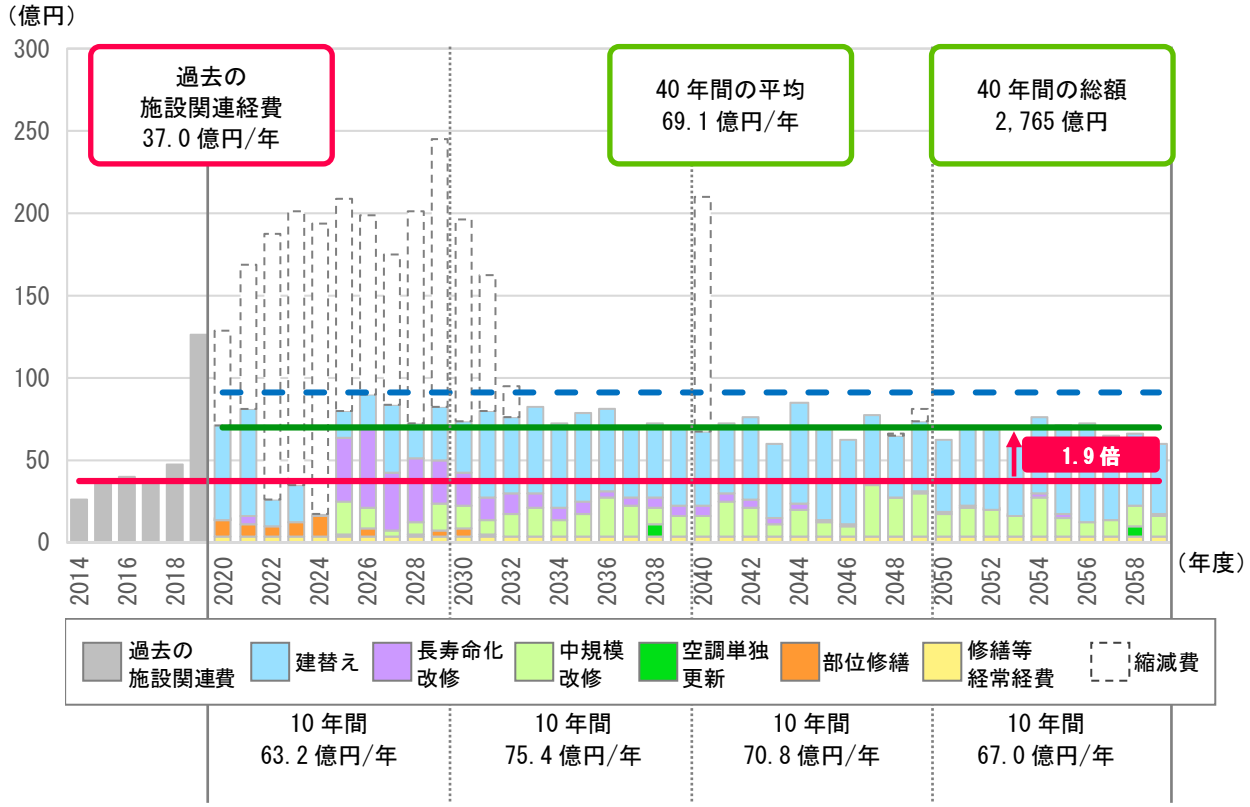
40 年間の建替え・改修のコストを算出するにあたっての条件は次のとおりです。

・現在と同面積での建替え・改修を実施すると仮定
・40 年目に長寿命化改修，20 年目と 60 年目に中規模改修を実施
・試算期間は 2020 年度（令和 2 年度）～2059 年度（令和 41 年度）
・工事時期は，築年数及び健全度の優先順位に基づき設定
・建物のＤ評価の部位は概ね 5 年，Ｃ評価の部位は概ね 10 年以内に修繕を実施
・過年度平均費用は 37.0 億円

3　長寿命化改修へシフトした場合のコストシミュレーション

長寿命化改修等を実施する場合，今後かかる費用は，今後 40 年間で総額約 2,765 億円（年平均 69.1 億円），過年度平均費用の約 1.9 倍となります。

図 5－3－1　長寿命化改修へシフトした場合のコストシミュレーション



過去5年間の施設関連経費37.0億円/年と比較すると1.9倍のコストが必要となり，コストのさらなる縮減を図ることが課題となります。

4　今後 5 年間の保全計画

今後 5 年間の保全計画は次のとおりです。学校再編に係る建替えや改修及び耐震化のための建替えを優先して実施し，これらの整備が完了後，2025 年度（令和 7 年度）を目途に長寿命化改修を開始します。

なお，財政状況，学校施設の今後の劣化状況または社会情勢の変化によっては，計画に変更が生じる場合があります。

また，経年による内部・設備の修繕については，毎年の経常経費の中で対応をしていく計画とし，現地調査等で特別な不具合が見られた場合は，その都度修繕の計画を立てることとします。

（百万円）

		2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度		
		校数	棟数	事業費	校数	棟数	事業費	校数	棟数	事業費	校数	棟数	事業費	校数	棟数	事業費
再編事業		6	8	1,797	8	10	3,871	3	3	687	1	1	806	1	1	88
建替え事業		5	5	3,926	4	4	3,476	2	2	858	1	1	1,404	0	0	0
校舎	屋上防水改修	12	12	174	10	10	70	9	9	56	8	8	46	6	6	30
校舎	外壁改修	7	7	256	12	12	217	7	7	114	11	11	198	18	18	358
屋体	床改修	11	11	165	7	7	85	5	5	75	6	6	98	6	6	115
屋体	屋根外壁改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	114	2	2	304
設備等改修		7	7	374	5	5	207	5	5	207	5	5	207	5	5	207
合　計		48	50	6,692	46	48	7,926	31	31	1,997	33	33	2,873	38	38	1,102

第４節　学校プールの整備方針

学校プールについて，整備方針を次のとおり示します。

現状と課題

過去 5 年間実績の平均では，年に 3 校のペースで改修を行っています。
小中学校であわせて 103 校にプールを保有しています。
使用期間は１年間のうち約 2 か月間ですが，建替え費用は約１億円と高額になります。

長寿命化へ

今後は 40 年程度で長寿命化改修を行い，20 年目・60 年目で中規模改修を行うことで長寿命化を図ります。

長寿命化改修	中規模改修
・プール槽大規模改修 ・附属施設の改修 ・附帯設備の更新	・プール槽シート防水改修 ・附帯施設の改修 ・附帯設備の改修

また，今後は民間や公共のプール施設を使用することも含めて方針を検討します。

第６章　継続的な運用方針

第６章　継続的な運用方針

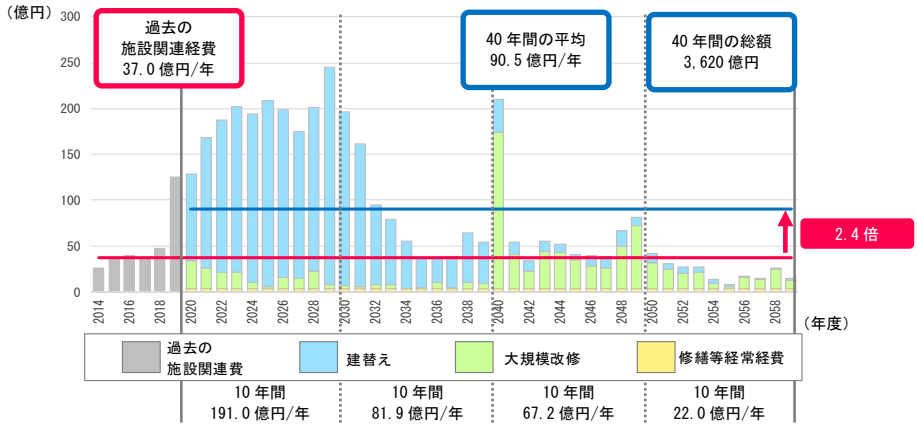
第１節　本計画のコスト効果と今後の課題

１　本計画のコスト効果

本計画検討前のコストシミュレーションと長寿命化改修へシフトした場合のコストシミュレーションを比較します。

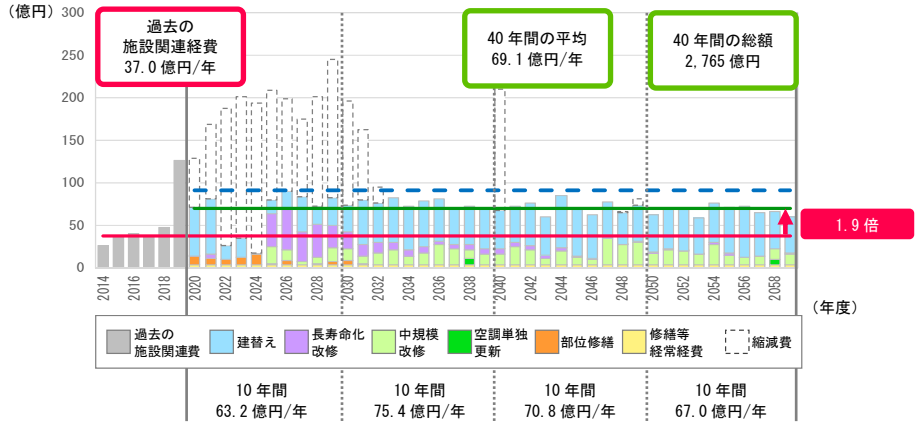
(1) 本計画検討前のコストシミュレーション（第 2 章の図 2－2－2 再掲）

築 50 年程度での建替えと部分改修を中心とした従来通りの方法を継続する場合

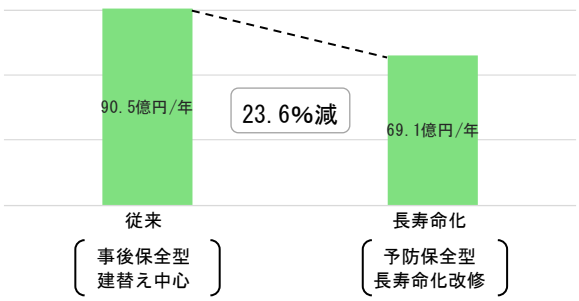


(2) 長寿命化改修へシフトした場合のコストシミュレーション（第 5 章の図 5－3－1 再掲）

学校施設の長寿命化の取組を行った場合



(3) １年あたりのコスト比較（図 6－1）



２　今後の課題

今後 40 年間のコストシミュレーションの比較のとおり，本計画を実行し学校施設の長寿命化を図ることによって，中長期的なコストの縮減が可能となります。

しかし，学校施設の長寿命化を図る場合でも，過去の学校施設関連経費の約 1.9 倍のコストが必要という結果となりました。

この課題の解決に向けて，次の取組を実施する必要があります。

(1) 建替え・長寿命化改修の効率的・効果的な実施

本計画では，旧耐震基準の建物は長寿命化改修等を実施する 2 年前に，また，新耐震基準の建物は築後 35～40 年において構造躯体健全性調査（詳細調査）を行うこととしています。

この調査により，構造躯体の劣化度を正確に把握したうえで，改修部位・工法等を詳細に検討することにより，効率的・効果的な施設整備に努めます。

(2) 施設保有量の最適化

学校の適正規模・適正配置に取り組むとともに，児童生徒数の減少により生じた余裕教室について，より一層の有効活用の促進を図りつつ，学校や地域での様々な活動において将来的にも使用する見込みがないと判断される場合は，用途の転用や取り壊しについて検討を行い，保有総量の縮小に努めます。

また，地域の実情に応じて他の公共施設機能との複合化を検討し，多目的利用を図ることで効果的な学校施設の利用をめざします。

(3) 民間活力の導入

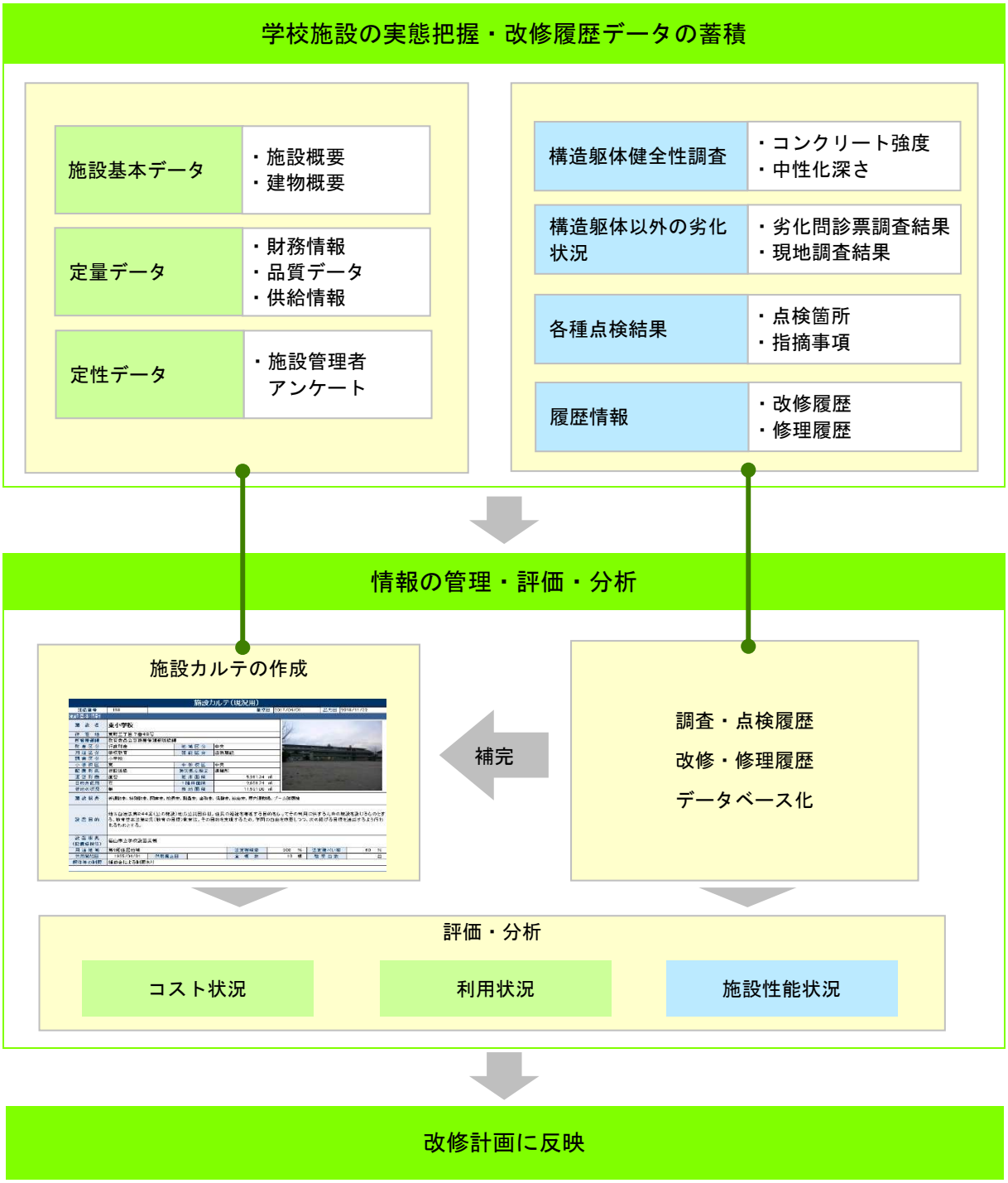
より効率的・効果的な施設整備を進めるため，ＰＰＰやＰＦＩ等の民間の専門的なノウハウや技術を活用した施設整備の手法について，研究を進めます。

第２節　継続的な運用に向けて

１　情報基盤の整備による継続的な実態把握

学校施設を効果的にマネジメントするためには，継続的に施設の実態を把握し，過去の改修・修繕履歴の情報を蓄積する必要があります。そのため，公共施設マネジメントシステム等を活用して各種データの管理を行います。

公共施設マネジメントシステムにより施設カルテを作成し，コスト情報，利用状況，施設性能状況を評価・分析します。

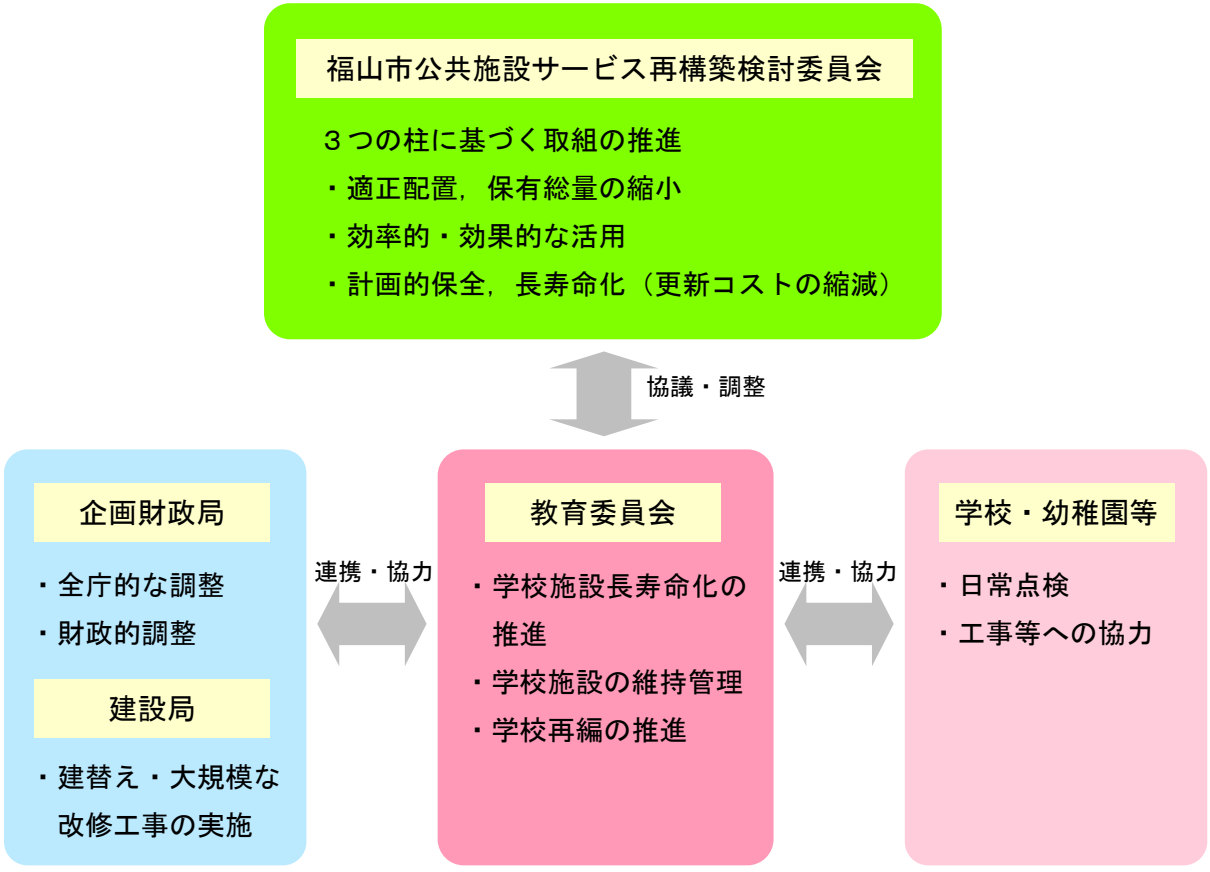


２　推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくためには，推進体制を整える必要があります。

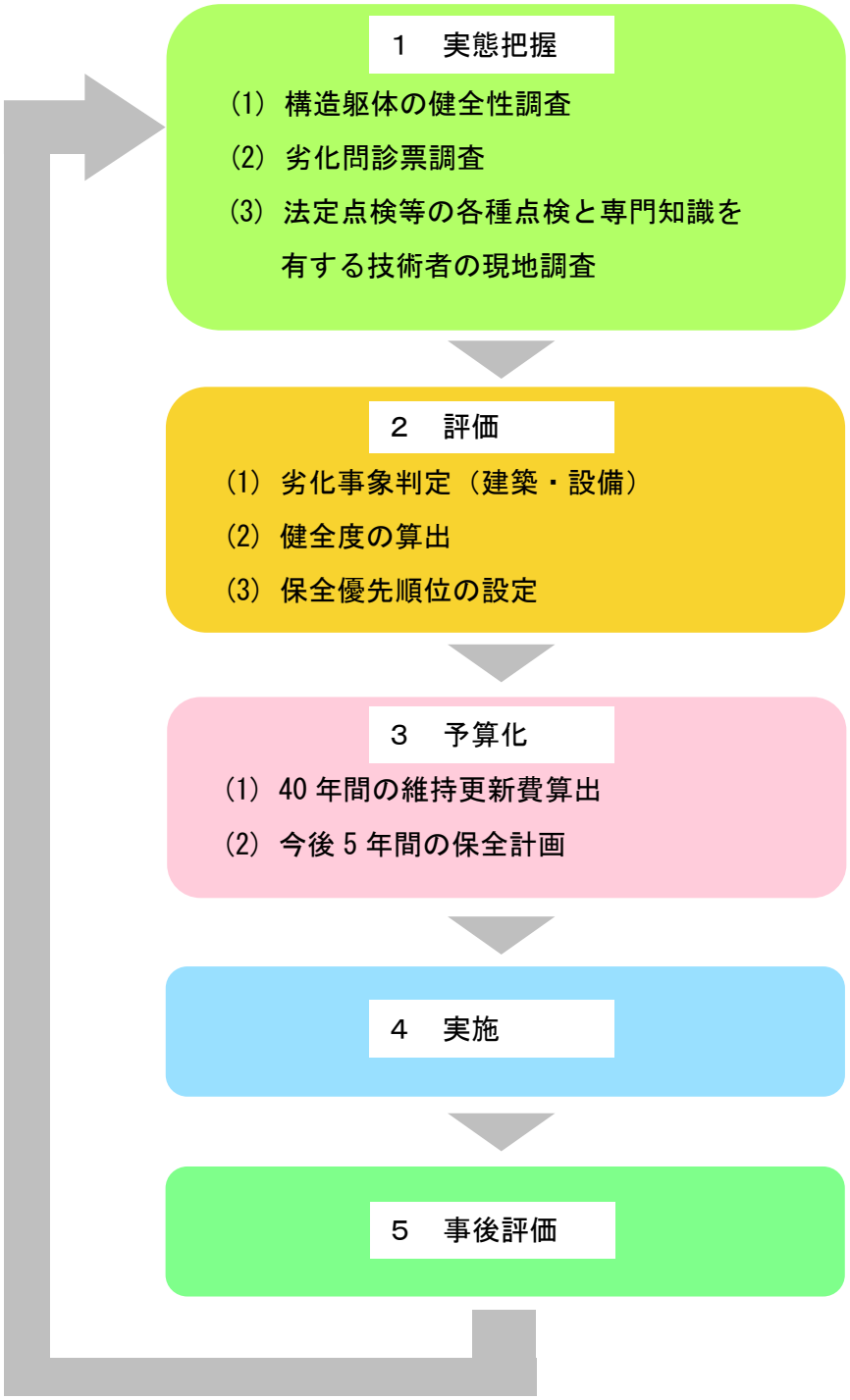
学校施設を所管している教育委員会事務局が中心となり，学校・幼稚園等との日常的な連携はもとより，組織横断的な調整・統括の役割や財政部門の役割を担う企画財政局及び建替えや大規模な改修工事を実施する建設局と緊密な連携を図り，本計画を着実に実施します。

また，必要に応じて，公共施設等サービスの再構築を行う組織横断的な推進体制である福山市公共施設サービス再構築検討委員会において協議する等により，福山市公共施設等サービス再構築基本方針との整合を図ります。



第３節　学校施設マネジメントサイクルの構築

今後，継続的に学校施設の実態把握と保全を実行するために必要なマネジメントサイクルは次のとおりです。



1　実態把握の手法

(1) 構造躯体の健全性調査

新耐震基準で，これから築 40 年程度を迎える建物は，長寿命化改修に先立って構造躯体の健全性調査を実施し，長寿命化の可否と工事内容を検討します。

また，旧耐震基準の建物で，耐震診断実施年度から長寿命化改修または中規模改修の実施年度までに 10 年以上の間隔がある場合，改修工事実施年度の 2 年前に，構造躯体健全性調査（詳細調査）を行います。

構造躯体の健全性調査内容

鉄筋コンクリート造建物及び鉄骨鉄筋コンクリート造建物については，コア抜き・はつりによる現地目視調査及び材料試験によって次の項目について調査を行い，期待できる使用年数を把握します。

圧縮強度	低強度(13.5N/mm^{2}未満）の場合は，長寿命化に適さないと判断
中性化深さ	調査時点で 30 mmに達しているものは，長寿命化に適さないと判断
中性化の進行速度	調査時点で理論値よりも中性化の進行が早ければ，長寿命化に適さないと判断
鉄筋かぶり厚さ（主筋，帯筋)の計測	耐力壁以外の壁・床は 20 mm未満，耐力壁・柱・梁は 30 mm未満の場合は，長寿命化に適さないと判断
鉄筋腐食状況調査	断面積で欠損が生じている箇所がある場合は，長寿命化に適さないと判断

屋内運動場等の鉄骨造建物についても，災害時の避難場所として整備されていることから，柱脚，仕口の状況を把握し，長寿命化の可能性を確認します。

構造躯体の健全性調査結果から期待できる使用年数を把握し，
長寿命化の可否と工事内容を検討します。

(2) 劣化問診票による調査

施設管理者に対し，劣化の把握に直結する部位・事象に関して，専門家でなくとも簡易に答えられるように設問を用意し，建物の状況を調査します。

図 6－3　劣化問診票の様式例

校番		学校名	
棟名		棟番号	
記入者		調査日	

部位ごとに、劣化状況を選択（☑）し、故障回数・劣化箇所数を「数」欄に記入して下さい。

部位		劣化状況（複数回答可）	不良箇所数を記入（色つきの部分のみ調査）				
			校舎	体育館	屋上	その他	備考
建築	1 屋根・屋上	□ 降雨時に雨漏りがある					
		□ 天井等に雨漏り痕がある					
		□ 防水層に膨れ等がある					
		□ 屋根材に錆・損傷がある					
		□ 屋根・屋上を目視点検できない					
	2 外壁	□ 鉄筋が見えているところがある					
		□ 外壁から漏水がある					
		□ タイルが剥がれている					
		□ 大きな亀裂がある					
		□ 外部手すり等が錆・腐朽している					
	3 外部開口部	□ 窓・ドアの廻りで漏水がある					
		□ 窓・ドアに錆が多くみられる					
	4 内部仕上げ（室内）	□ コンクリートの床・壁にヒビがある					
		□ 天井が破損し落下の危険がある					
		□ 床仕上材に使用上の支障がある					
建築設備	5 電気設備（照明・キュービクル・放送機器）	□ 機器が全面的に錆びている					
		□ 照明器具落下の危険がある					
		□ 機器が頻繁に故障する					
		□ 業者や行政庁から指摘がある					
	6 給水設備（受水槽等）	□ 水質・水量等で使用に支障がある					
		□ ポンプで異音、漏水がある					
		□ 業者や行政庁から指摘がある					
	7 排水設備（手洗い・トイレ）	□ 衛生器具等で使用に支障がある					
		□ ポンプで異音、漏水がある					
		□ 業者や行政庁から指摘がある					
	8 空調設備（エアコン）	□ 空調機等で使用に支障がある					
		□ 機器に異音、異臭、漏水がある					
		□ 業者や行政庁から指摘がある					
	9 その他設備（エレベーター）	□ 通常の使用に支障がある					
		□ 機器が頻繁に故障する					
		□ 業者や行政庁から指摘がある					
10 外構		□ 地盤沈下による不具合がある					
		□ 塀・擁壁に倒壊の危険がある					
		□ 舗装に凸凹があり危険					

その他の不具合等があれば自由に記入して下さい。

(3) 法定点検等の各種点検と専門知識を有する技術者による現地調査

建築物定期点検等の法定点検など各種点検を定期的に実施するほか，劣化問診票による調査の結果，劣化が進んでいると判断された建物を対象に，専門知識を有する技術者が現地調査を行い，仕様と劣化状況を確認します。劣化状況は判断基準に基づいて評価し，現地写真記録などとともに調査結果を取りまとめます。

現地調査内容

ア　部位別の調査内容

10 の部位に調査項目を設け，技術者が目視を中心に仕様と劣化状況を調査します。劣化問診票の結果から重点調査する部位を設定し，詳細な劣化把握につなげます。

現地調査内容			
躯体	・基礎の不同沈下の有無 ・鉄筋コンクリートの爆裂，ひび割れ，鉄筋露出の有無 ・鉄骨造の錆による穴あき，破断箇所の有無 ・木造の腐食・蟻害による欠損箇所の有無	電気設備	・充電方式，太陽光発電 ・受変電設備の容量，仕様，外観上の劣化状況 ・防災設備（放送設備，自動火災報知機）
屋根・屋上	・仕様の確認 ・劣化状況を目視調査 ・雨漏りの有無 ・防水層の膨れ・破れの有無 ・ルーフドレン，防水立上り，笠木，設備架台の損傷等の有無	給排水衛生設備	・給水方式（受水槽，高架水槽の有無，ポンプの有無） ・排水方式（公共下水道・浄化槽） ・給湯方式（中央・局所） ・消火設備（消火栓，連結送水管，その他消火設備等）
外壁	・方位別・仕上げ別の仕様の確認 ・劣化状況を目視調査 ・漏水の有無 ・鉄筋露出の有無	空調・換気排煙設備	・空調方式，熱源機器，機器の容量
外部開口部	・仕様の確認 ・漏水・錆の有無等の劣化状況を目視調査	その他設備	・昇降機（エレベーター，小荷物専用昇降機等） ・給食設備 ・プール循環ろ過設備
内部（室内）	・最上階の天井，外壁廻りの漏水の有無 ・各部屋，廊下，便所の床・壁・天井の仕上の劣化状況の確認 ・内部開口部の仕上（木・鋼製建具，パーテーション等）の劣化状況の確認	外構	・アプローチや駐車場の舗装，グラウンド，門，フェンス

イ　調査写真の撮影・整理

代表的な劣化箇所を記録し，記録写真を撮影します。

2　評価の手法

(1) 劣化事象判定

劣化問診票調査及び現地調査結果から劣化事象（部位）ごとに集計・分析・評価を行うとともに，定期的に実施している建築物定期点検等の各種点検結果も踏まえて保全優先度の検討を行います。

また，継続的に実態把握のデータを蓄積します。

劣化事象(部位)ごとの集計・分析・評価

ア　各部位の劣化事象を整理

部位	劣化事象の例
躯体	鉄筋露出
屋根・屋上	雨漏り，防水層の破れ
外壁	亀裂，鉄筋露出
外部開口部	建具まわり漏水，建具の発錆
内部（室内）	内壁のひび割れ，落下の危険
電気設備	機器のさび，機器の故障
給排水衛生設備	衛生機器破損
空調設備	異臭・異音
その他設備	頻繁な故障
外構	舗装の傷み

イ　劣化事象ごとの詳細な分析・評価

劣化事象ごとに事象の分析，緊急度の判定を行います。

ウ　判断基準による劣化状況の評価

次の基準により劣化状況の評価を行い，改修・修繕の優先順位付けにつなげます。

良好

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上，機能上，問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上，機能上，不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある（安全上，機能上問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

劣化

(2) 健全度評価手法

建物ごとに健全度を算定し，保全優先度の設定につなげます。

建物ごとの評価（健全度の算定）

ア　各部位の健全度の評価

健全度の評価基準		評価点
Ａ評価	概ね良好	100 点
Ｂ評価	部分的に劣化 （安全上，機能上，問題なし）	75 点
Ｃ評価	広範囲に劣化 （安全上，機能上，不具合発生の兆し）	40 点
Ｄ評価	早急に対応する必要がある （安全上，機能上，問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	10 点

イ　部位のコスト配分

部　　位	コスト配分
1　屋根・屋上	5.1
2　外壁	17.2
3　内部仕上げ	22.4
4　電気設備	8.0
5　機械設備	7.3
合　　計	60.0

ウ　健全度の算定

健全度　＝　総和（部位の評価点×部位のコスト配分）　÷　60

(3) 保全優先順位の設定方法

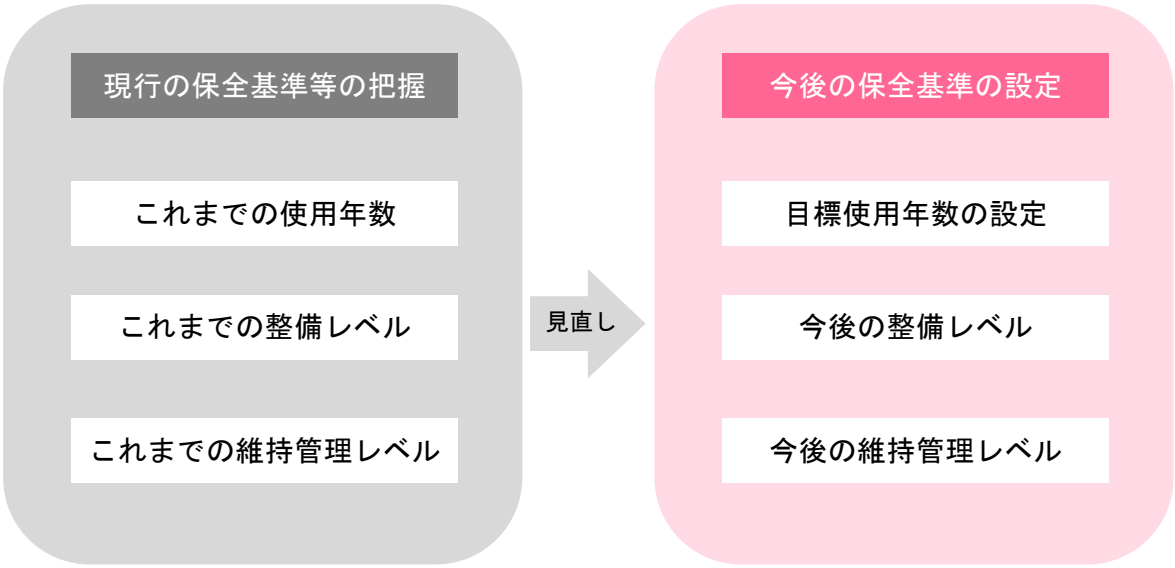
健全度の点数の低い建物が改修等の優先順位が高いものとなり，文部科学省の基準では，40 点未満の建物は優先的に対策を講じることが望ましいとされています。

そのなかでも，Ｃ評価やＤ評価の部位については，早期に改修する必要があります。

3　予算化の手法

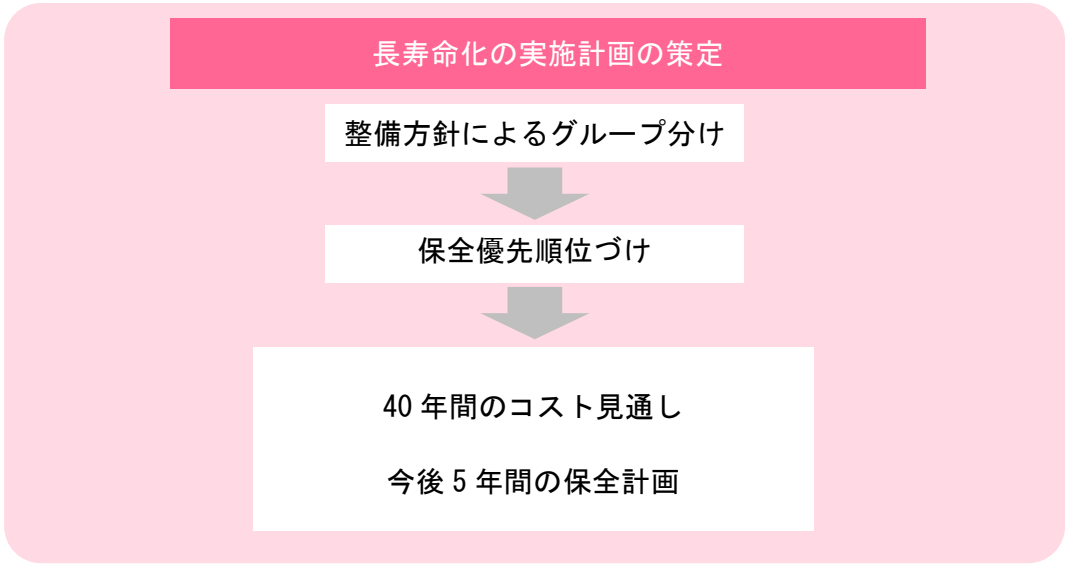
(1) 保全に係る基準の設定

現行の保全基準等を把握し，将来の社会的要求水準の高まりへ対応できるよう今後の保全基準の設定を行います。詳細については，第 4 章を参照してください。



(2) 40 年間の維持更新費算出方法

建物の実態把握・評価，保全基準の設定から今後の整備コストを算出します。
詳細については，第 5 章を参照してください。



4　実施

長寿命化改修等の実施にあたっては，設定した保全基準に基づき，少ないコストで大きな効果が得られるよう，工法等を検討し，実施します。

５　事後評価

次の点に留意して事後評価を行い，改善点や変更点を次回の本計画改訂時に反映します。

長寿命化改修等の実施内容に係る評価

・長寿命化改修等のコスト
　（計画時との工事費の差，実施時に明らかになった付帯工事等）
・整備レベル，施工性
　（省エネ効果，工事スケジュール等）
・改修による劣化度の回復状況

社会的要求水準への対応に係る評価

・社会情勢等を考慮した再整備の方向性の見直し
・時代の変化に対応した計画の見直し
・新しい管理運営方法の開発・導入

おわりに

1970 年代の高度経済成長期に集中して整備された学校施設の多くは，築 30 年から築 40 年を経過し，今後 10 年から 20 年の間に建替えや大規模な改修の時期を迎えます。

一方，少子化・高齢化の更なる進行や人口減少社会の到来により，厳しい財政状況が常態化することが予想されます。

このような状況の中，学校施設を現状のまま維持することや，これまでのように 50 年程度での建替えをすべての学校で行っていくことは非常に困難となることが予想されるため，現世代はもちろんのこと次の世代のためにも，学校施設の長寿命化は避けては通れない喫緊の課題です。

これに対応するため，不具合が生じてから対処する事後保全型の対応ではなく，未然にそれを防ぐ予防保全型の維持管理への転換による学校施設の長寿命化と計画的な建替えによるライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化とともに保有総量の縮小に取り組みます。

また，望ましい教育環境の姿は，今後も多様な変化を続けると予想されます。その時代の学校施設に求められる機能や性能を的確に把握し，多様化する学習内容・学習形態に柔軟に対応できる施設整備に努めていきます。

これらの取組により，学校施設が将来にわたって持続的に，安心・安全であり，なおかつ子どもたちが生き生きと充実した学習活動を行える場であり続けることをめざします。

資料編１　構造躯体の健全性調査による建物別の評価結果（2026 年 10 月時点）

１　小学校の建物別評価結果

(1) 鉄筋コンクリート造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度（N/mm²）	中性化深さ（mm）	理論式による深さ（mm）	期待できる使用年数
東小学校	南棟	1978	48	2010	22.9	2.2	23.9	80 以上
西小学校	南棟	1973	53	2012	15.5	33.0	25.3	60-80
南小学校	北棟	1969	57	2010	17.6	22.3	26.4	60-80
南小学校	南棟	1952	74	2012	15.3	20.7	30.5	60-80
霞小学校	北棟・特別教室棟	1961	65	2012	12.4	11.0	28.4	60 未満
霞小学校	南棟	1980	46	2012	20.6	13.0	23.3	80 以上
川口小学校	中棟	1962	64	2012	14.1	58.3	28.1	60 未満
川口小学校	南棟	1966	60	2012	23.4	12.4	27.1	80 以上
手城小学校	北棟	1971	55	2012	16.6	56.7	25.8	60 未満
手城小学校	南棟	1967	59	2012	15.0	31.0	26.9	60 未満
深津小学校	北棟	1970	56	2010	17.0	17.9	26.1	80 以上
深津小学校	南棟	1969	57	2011	20.6	25.2	26.4	60-80
樹徳小学校	北棟	1971	55	2010	15.9	27.9	25.8	60-80
樹徳小学校	南棟	1967	59	2010	14.6	31.5	26.9	60 未満
泉小学校	北棟	1971	55	2009	17.3	12.1	25.8	80 以上
泉小学校	中棟	1979	47	2012	20.3	17.8	23.6	80 以上
泉小学校	南棟	1976	50	2012	17.0	19.3	24.4	80 以上
旭小学校	北棟	1970	56	2009	21.0	15.8	26.1	80 以上
光小学校	中棟	1978	48	2012	17.6	14.3	23.9	80 以上
光小学校	南棟	1967	59	1997	16.6	24.9	26.9	60-80
引野小学校	北棟	1970	56	2012	17.4	17.9	26.1	80 以上
引野小学校	南棟	1966	60	2012	16.6	27.8	27.1	60 未満
蔵王小学校	校舎棟	1973	53	2009	19.5	10.0	25.3	80 以上
千田小学校	北棟	1979	47	2012	23.0	0.0	23.6	80 以上
千田小学校	南棟	1974	52	2011	21.7	12.1	25.0	80 以上
御幸小学校	北棟	1975	51	2009	20.4	5.6	24.7	80 以上
御幸小学校	南棟	1971	55	2009	23.1	34.6	25.8	60-80
津之郷小学校	北棟	1973	53	2012	26.6	16.2	25.3	80 以上
赤坂小学校	校舎棟	1972	54	2012	14.8	27.9	25.5	60-80
瀬戸小学校	北棟	1966	60	2009	13.9	23.2	27.1	60-80
瀬戸小学校	南棟	1975	51	2012	21.9	16.8	24.7	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度（N/mm²）	中性化深さ（mm）	理論式による深さ（mm）	期待できる使用年数
熊野小学校	北棟	1967	59	2012	18.1	16.5	26.9	80 以上
熊野小学校	南棟	1975	51	2012	18.8	11.8	24.7	80 以上
水呑小学校	北棟（東側）	1971	55	1997	19.7	3.8	25.8	80 以上
水呑小学校	北棟（西側）	1976	50	2012	21.9	8.8	24.4	80 以上
大津野小学校	北棟	1974	52	2012	21.6	24.1	25.0	60-80
大津野小学校	南棟	1974	52	2012	15.3	30.5	25.0	60-80
坪生小学校	北棟	1974	52	2009	23.6	16.4	25.0	80 以上
坪生小学校	南棟	1976	50	2012	14.6	19.6	24.4	80 以上
春日小学校	北棟	1974	52	2009	15.7	14.2	25.0	80 以上
春日小学校	南棟	1970	56	2012	22.0	23.7	26.1	60-80
神村小学校	北棟	1962	64	2012	11.5	36.8	28.1	60 未満
神村小学校	南棟	1971	55	2010	20.7	21.2	25.8	60-80
本郷小学校	北棟	1966	60	2011	11.4	22.9	27.1	60 未満
本郷小学校	南棟	1977	49	2012	18.0	22.6	24.2	60-80
松永小学校	北棟	1970	56	1998	22.1	14.1	26.1	80 以上
松永小学校	南棟	1971	55	2010	13.6	29.0	25.8	60-80
柳津小学校	南棟	1975	51	2009	13.7	16.3	24.7	80 以上
金江小学校	北棟	1979	47	2012	22.6	3.6	23.6	80 以上
金江小学校	南棟	1965	61	2012	12.7	25.8	27.4	60 未満
藤江小学校	北棟	1981	45	2010	19.5	0.0	23.0	80 以上
藤江小学校	南棟	1981	45	2010	24.2	15.4	23.0	80 以上
伊勢丘小学校	北棟	1968	58	2010	14.1	19.0	26.6	80 以上
伊勢丘小学校	南棟	1970	56	2010	16.5	30.6	26.1	60 未満
曙小学校	北棟	1970	56	1997	19.5	20.9	26.1	60-80
曙小学校	南棟	1969	57	1997	19.2	23.8	26.4	60-80
多治米小学校	校舎棟	1971	55	2011	17.6	26.1	25.8	60-80
旭丘小学校	北棟	1974	52	2012	22.4	14.2	25.0	80 以上
旭丘小学校	南棟	1973	53	2009	21.8	12.3	25.3	80 以上
有磨小学校	南棟	1966	60	2010	12.6	13.9	27.1	60 未満
福相小学校	校舎棟	1974	52	2009	15.4	0.0	25.0	80 以上
宜山小学校	校舎棟	1971	55	2010	21.2	21.1	25.8	60-80
駅家小学校	北棟	1973	53	2009	16.5	19.4	25.3	80 以上
桜丘小学校	北棟	1974	52	2012	16.2	28.2	25.0	60-80
桜丘小学校	南棟	1974	52	2012	16.1	27.0	25.0	60-80
緑丘小学校	北棟	1975	51	2012	17.9	13.8	24.7	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度（N/mm^2）	中性化深さ（mm）	理論式による深さ（mm）	期待できる使用年数
緑丘小学校	南棟	1975	51	2012	18.1	15.8	24.7	80 以上
長浜小学校	北棟	1976	50	2012	21.2	25.7	24.4	60-80
長浜小学校	南棟	1977	49	2012	18.2	27.6	24.2	60-80
西深津小学校	北棟	1978	48	2012	25.3	10.5	23.9	80 以上
西深津小学校	南棟	1978	48	2012	18.6	19.0	23.9	80 以上
野々浜小学校	北棟	1978	48	2010	23.5	12.3	23.9	80 以上
野々浜小学校	南棟	1978	48	2012	14.3	20.1	23.9	60-80
幕山小学校	北棟	1978	48	2010	17.1	18.6	23.9	80 以上
幕山小学校	南棟	1978	48	2010	15.9	18.3	23.9	80 以上
久松台小学校	北棟	1979	47	2012	28.4	9.8	23.6	80 以上
久松台小学校	南棟	1979	47	2012	24.5	14.3	23.6	80 以上
新涯小学校	北棟	1979	47	2011	24.2	8.8	23.6	80 以上
新涯小学校	南棟	1979	47	2011	18.9	11.3	23.6	80 以上
山手小学校	北棟	1980	46	2012	21.0	15.2	23.3	80 以上
山手小学校	南棟	1980	46	1997	18.3	6.8	23.3	80 以上
日吉台小学校	北棟	1980	46	2012	19.7	11.4	23.3	80 以上
日吉台小学校	南棟	1980	46	2009	22.5	14.6	23.3	80 以上
網引小学校	北棟	1966	60	2012	20.8	31.6	27.1	60-80
網引小学校	南棟	1967	59	2012	14.2	24.5	26.9	60-80
新市小学校	北棟	1974	52	2012	20.7	30.5	25.0	60-80
新市小学校	南棟	1968	58	2012	17.7	22.8	26.6	60-80
山南小学校	校舎棟	1978	48	2012	25.9	8.8	23.9	80 以上
神辺小学校	校舎棟	1975	51	2012	21.3	30.1	24.7	60-80
竹尋小学校	北棟	1967	59	2006	17.3	27.9	26.9	60 未満
竹尋小学校	南棟	1978	48	2006	17.7	7.0	23.9	80 以上
御野小学校	南棟	1977	49	2010	20.6	12.2	24.2	80 以上
湯田小学校	特別教室棟	1976	50	2012	30.6	8.3	24.4	80 以上
中条小学校	南棟	1977	49	2012	18.8	14.6	24.2	80 以上
道上小学校	北棟	1970	56	2010	16.5	15.1	26.1	80 以上
道上小学校	南棟	1978	48	2009	16.0	11.3	23.9	80 以上
遺芳丘小学校	北棟	1980	46	2009	26.0	5.4	23.3	80 以上
遺芳丘小学校	南棟	1980	46	2009	15.9	1.6	23.3	80 以上
駅家北小学校	北棟	1976	50	2009	13.7	12.9	24.4	80 以上
駅家北小学校	南棟	1979	47	2009	20.7	12.9	23.6	80 以上
常石ともに学園	校舎棟	1973	53	2011	17.5	26.6	25.3	60-80
加茂小学校	西棟	1978	48	2011	25.7	9.1	23.9	80 以上

(2) 鉄骨造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
南小学校	屋内運動場	1974	52	1998	○	80 以上
霞小学校	屋内運動場	1978	48	2003	○	80 以上
川口小学校	屋内運動場	1968	58	2005	○	80 以上
手城小学校	屋内運動場	1972	54	2004	○	80 以上
深津小学校	屋内運動場	1970	56	2002	○	80 以上
樹徳小学校	屋内運動場	1973	53	2004	○	80 以上
泉小学校	屋内運動場	1978	48	2000	○	80 以上
引野小学校	屋内運動場	1968	58	1997	○	80 以上
蔵王小学校	屋内運動場	1974	52	2005	○	80 以上
津之郷小学校	屋内運動場	1972	54	2004	○	80 以上
瀬戸小学校	屋内運動場	1969	57	2004	○	80 以上
熊野小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上
箕島小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上
高島小学校	屋内運動場	1973	53	2004	○	80 以上
大津野小学校	屋内運動場	1975	51	2003	○	80 以上
坪生小学校	屋内運動場	1975	51	2003	○	80 以上
春日小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上
神村小学校	屋内運動場	1976	50	2003	○	80 以上
本郷小学校	屋内運動場	1979	47	2002	○	80 以上
松永小学校	屋内運動場	1972	54	2004	○	80 以上
藤江小学校	屋内運動場	1981	45	2002	○	80 以上
伊勢丘小学校	屋内運動場	1971	55	1998	○	80 以上
曙小学校	屋内運動場	1971	55	1998	○	80 以上
多治米小学校	屋内運動場	1974	52	2005	○	80 以上
旭丘小学校	屋内運動場	1974	52	2000	○	80 以上
福相小学校	屋内運動場	1976	50	2003	○	80 以上
宜山小学校	屋内運動場	1973	53	2004	○	80 以上
駅家小学校	屋内運動場	1967	59	2004	○	80 以上
桜丘小学校	屋内運動場	1974	52	2003	○	80 以上
緑丘小学校	屋内運動場	1975	51	2000	○	80 以上
長浜小学校	屋内運動場	1976	50	2003	○	80 以上
西深津小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上
野々浜小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上
幕山小学校	屋内運動場	1978	48	2002	○	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
久松台小学校	屋内運動場	1979	47	2002	○	80 以上
新涯小学校	屋内運動場	1979	47	2002	○	80 以上
山手小学校	屋内運動場	1980	46	2002	○	80 以上
日吉台小学校	屋内運動場	1980	46	2002	○	80 以上
川口東小学校	屋内運動場	1981	45	2002	○	80 以上
新市小学校	屋内運動場	1969	57	2004	○	80 以上
山南小学校	屋内運動場	1979	47	2005	○	80 以上
神辺小学校	屋内運動場	1979	47	2006	○	80 以上
道上小学校	屋内運動場	1972	54	2006	○	80 以上
遺芳丘小学校	屋内運動場	1980	46	2002	○	80 以上
駅家北小学校	屋内運動場	1977	49	2003	○	80 以上
常石ともに学園	屋内運動場	1974	52	2005	○	80 以上
加茂小学校	屋内運動場	1968	58	2005	○	80 以上

2　中学校の建物別評価結果

(1) 鉄筋コンクリート造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度 (N/mm^2)	中性化深さ (mm)	理論式による深さ (mm)	期待できる使用年数
東中学校	北棟	1965	61	2010	16.0	34.8	27.4	60 未満
城南中学校	北棟	1968	58	2010	20.1	26.0	26.6	60-80
城南中学校	南棟	1979	47	2009	17.1	18.1	23.6	80 以上
城南中学校	特別教室棟	1978	48	2012	23.3	25.8	23.9	60 未満
鷹取中学校	北棟	1970	56	1997	14.9	32.0	26.1	60 未満
鷹取中学校	南棟	1977	49	2012	12.8	15.7	24.2	60-80
鷹取中学校	西棟	1961	65	2012	17.1	8.5	28.4	80 以上
城東中学校	南棟	1972	54	2012	18.9	15.3	25.5	80 以上
幸千中学校	北棟	1977	49	2012	26.3	17.0	24.2	80 以上
幸千中学校	南棟	1979	47	2009	21.6	4.1	23.6	80 以上
済美中学校	北棟	1965	61	2012	14.1	38.4	27.4	60 未満
済美中学校	南棟	1979	47	2009	17.2	16.5	23.6	80 以上
済美中学校	技術棟	1976	50	2012	28.9	16.9	24.4	80 以上
向丘中学校	北棟	1975	51	2009	15.3	12.7	24.7	80 以上
向丘中学校	南棟	1963	63	2010	13.4	11.8	27.9	60 未満
鳳中学校	A棟	1965	61	2010	15.4	41.4	27.4	60 未満
鳳中学校	B棟	1966	60	1997	17.9	16.7	27.1	80 以上
鳳中学校	C棟	1971	55	2010	19.3	27.2	25.8	60-80

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度（N/mm²）	中性化深さ（mm）	理論式による深さ（mm）	期待できる使用年数
鳳中学校	管理棟	1975	51	2012	18.2	28.3	24.7	60-80
鳳中学校	技術棟	1978	48	2012	26.8	6.5	23.9	80 以上
培遠中学校	北棟	1978	48	2009	17.5	13.8	23.9	80 以上
培遠中学校	南棟	1966	60	2012	19.1	6.2	27.1	80 以上
大成館中学校	北棟	1975	51	2009	16.3	4.6	24.7	80 以上
大成館中学校	南棟	1967	59	2010	16.5	8.0	26.9	80 以上
松永中学校	北棟	1979	47	2012	14.3	2.1	23.6	80 以上
松永中学校	南棟	1974	52	2009	11.8	24.9	25.0	60-80
中央中学校	南棟	1972	54	1998	14.8	28.7	25.5	60-80
中央中学校	特別教室棟	1973	53	2009	19.7	12.3	25.3	80 以上
芦田中学校	中棟	1979	47	2012	18.3	15.2	23.6	80 以上
駅家中学校	特別教室棟	1963	63	2010	28.7	11.0	27.9	80 以上
駅家中学校	南棟	1961	65	2010	16.8	26.1	28.4	60-80
駅家中学校	技術棟	1963	63	2010	26.6	1.9	27.9	80 以上
駅家中学校	渡り廊下	1962	64	2010	25.9	6.0	28.1	80 以上
誠之中学校	北棟	1977	49	2009	22.5	9.8	24.2	80 以上
誠之中学校	中棟	1976	50	2012	18.7	18.9	24.4	80 以上
誠之中学校	南棟	1980	46	2012	20.6	9.4	23.3	80 以上
城西中学校	北棟	1979	47	2009	15.1	7.4	23.6	80 以上
城西中学校	南棟	1979	47	2012	17.7	13.2	23.6	80 以上
大門中学校	北棟	1979	47	2012	21.6	19.3	23.6	80 以上
大門中学校	技術棟	1979	47	2012	18.9	8.3	23.6	80 以上
至誠中学校	校舎棟	1981	45	2010	21.1	19.6	23.0	80 以上
神辺中学校	北棟	1966	60	2011	13.6	49.8	27.1	60 未満
神辺中学校	管理棟	1967	59	2012	15.0	17.7	26.9	80 以上
神辺東中学校	西棟	1979	47	2012	17.0	11.2	23.6	80 以上
新市中央中学校	北棟	1977	49	2012	23.6	5.8	24.2	80 以上
新市中央中学校	南棟	1977	49	2012	22.4	25.3	24.2	60-80
加茂中学校	校舎棟	1979	47	2009	21.7	28.6	23.6	60-80

(2) 鉄骨造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
東中学校	屋内運動場	1961	65	2004	○	80 以上
城北中学校	屋内運動場	1965	61	2004	○	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
城南中学校	屋内運動場	1961	65	2004	○	80 以上
鷹取中学校	屋内運動場	1959	67	2004	○	80 以上
幸千中学校	屋内運動場	1966	60	2003	○	80 以上
鳳中学校	屋内運動場	1967	59	2003	○	80 以上
培遠中学校	屋内運動場	1968	58	2003	○	80 以上
大成館中学校	屋内運動場	1977	49	2002	○	80 以上
中央中学校	屋内運動場	1974	52	2002	○	80 以上
駅家中学校	屋内運動場	1963	63	2004	○	80 以上
誠之中学校	屋内運動場	1976	50	2002	○	80 以上
城西中学校	屋内運動場	1979	47	2002	○	80 以上
大門中学校	屋内運動場	1979	47	2002	○	80 以上
至誠中学校	屋内運動場	1981	45	2005	○	80 以上
神辺中学校	屋内運動場	1968	58	2006	○	80 以上
神辺東中学校	東棟	1979	47	2012	○	80 以上
神辺東中学校	屋内運動場	1980	46	2006	○	80 以上
新市中央中学校	屋内運動場	1978	48	2005	○	80 以上

3　義務教育学校の建物別評価結果

(1) 鉄筋コンクリート造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度 (N/mm^2)	中性化深さ (mm)	理論式による深さ (mm)	期待できる使用年数
鞆の浦学園	北棟	1978	48	2012	21.5	15.7	23.9	80 以上
鞆の浦学園	中棟	1979	47	2012	26.2	12.2	23.6	80 以上

(2) 鉄骨造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
鞆の浦学園 (旧鞆中学校)	屋内運動場	1971	55	2003	○	80 以上
想青学園 (旧千年中学校)	屋内運動場	1978	48	2005	○	80 以上

4　中高一貫校の建物別評価結果

(1) 鉄筋コンクリート造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度 (N/mm^2)	中性化深さ (mm)	理論式による深さ (mm)	期待できる使用年数
福山中・高等学校	北棟	1973	53	2012	16.3	28.6	25.3	60-80
福山中・高等学校	中棟	1973	53	2012	16.2	28.7	25.3	60-80
福山中・高等学校	南棟	1973	53	2012	18.0	25.0	25.3	60-80

(2) 鉄骨造建物

学校名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
福山中・高等学校	屋内運動場	1974	52	2005	○	80 以上

5　幼稚園の建物別評価結果

(1) 鉄筋コンクリート造建物

園名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	圧縮強度 (N/mm^2)	中性化深さ (mm)	理論式による深さ (mm)	期待できる使用年数
西幼稚園	南棟	1973	53	2012	15.5	33.0	25.3	60-80
道上幼稚園	管理普通教室棟	1976	50	2018	22.9	25.5	24.4	60-80

(2) 鉄骨造建物

園名	建物名	建築年度	築年数	診断年度	内部鉄骨健全度	期待できる使用年数
手城幼稚園	保育棟,管理棟	1968	58	2017	○	80 以上
手城幼稚園	保育棟	1970	56	2017	○	80 以上
あけぼの幼稚園	保育管理棟	1969	57	2018	○	80 以上
あけぼの幼稚園	管理保育室棟	1973	53	2018	○	80 以上
坪生幼稚園	保育棟,管理棟	1972	54	2018	○	80 以上
緑丘幼稚園	保育棟	1974	52	2017	○	80 以上
新涯幼稚園	保育管理遊戯室棟	1980	46	2017	○	80 以上
湯田幼稚園	管理普通教室棟	1973	53	2018	○	80 以上

６　新耐震基準の建物

(1) 小学校

学校名	建物名	建築年度	築年数
東小学校	北棟	2020	6
東小学校	屋内運動場	1989	37
西小学校	北棟	2023	3
西小学校	屋内運動場	1988	38
川口小学校	北棟	1982	44
旭小学校	南棟	1982	44
旭小学校	屋内運動場	1989	37
光小学校	北棟	1987	39
光小学校	屋内運動場	1991	35
千田小学校	屋内運動場	1997	29
御幸小学校	屋内運動場	1988	38
津之郷小学校	南棟	1989	37
赤坂小学校	屋内運動場	1988	38
熊野小学校	給食棟	1989	37
水呑小学校	南棟	1984	42
水呑小学校	屋内運動場	2007	19
箕島小学校	校舎棟	1981	45
箕島小学校	給食棟	1990	36
高島小学校	校舎棟	1986	40
柳津小学校	北棟	1987	39
柳津小学校	給食棟	1994	32
柳津小学校	屋内運動場	1982	44
金江小学校	屋内運動場	1987	39
有磨小学校	北棟	1990	36
有磨小学校	屋内運動場	1982	44
駅家小学校	管理棟	1989	37
川口東小学校	北棟	1981	45
川口東小学校	南棟	1981	45
駅家西小学校	北棟	1983	43
駅家西小学校	南棟	1983	43
駅家西小学校	屋内運動場	1983	43
大谷台小学校	北棟	1988	38
大谷台小学校	南棟	1988	38
大谷台小学校	給食棟	1988	38
大谷台小学校	屋内運動場	1988	38
明王台小学校	北棟	1996	30
明王台小学校	中棟	1996	30

学校名	建物名	建築年度	築年数
明王台小学校	南棟	1996	30
明王台小学校	公民館棟	1996	30
明王台小学校	屋内運動場	1996	30
常金丸小学校	校舎棟	2023	3
常金丸小学校	屋内運動場	1998	28
網引小学校	屋内運動場	2002	24
戸手小学校	校舎棟	2021	5
戸手小学校	屋内運動場	2004	22
竹尋小学校	屋内運動場	1984	42
御野小学校	北棟	1980	46
御野小学校	屋内運動場	1981	45
湯田小学校	北棟	1981	45
湯田小学校	南棟	1981	45
湯田小学校	屋内運動場	1988	38
中条小学校	北棟	1986	40
中条小学校	中棟	2002	24
中条小学校	屋内運動場	1983	43
中条小学校三谷分校	校舎棟	1990	36
中条小学校三谷分校	屋内運動場	1991	35
道上小学校	給食棟	2010	16
広瀬学園小学校	小学校棟	2021	5
広瀬学園小学校	屋内運動場	1995	31
加茂小学校	南棟	2019	7
加茂小学校	給食棟	1984	42
加茂小学校	特別教室棟	1987	39

(2) 中学校

学校名	建物名	建築年度	築年数
東中学校	南棟	1982	44
東中学校	武道場・プール	1997	29
城北中学校	北棟	2021	5
城北中学校	南棟	2019	7
鷹取中学校	武道場・プール	1992	34
城東中学校	北棟	1993	33
城東中学校	技術棟・武道場	1990	36
城東中学校	屋内運動場	2012	14
済美中学校	屋内運動場	1999	27
向丘中学校	屋内運動場	2000	26
鳳中学校	武道場・プール	1990	36

学校名	建物名	建築年度	築年数
培遠中学校	特別教室棟	1982	44
培遠中学校	武道場･プール	1993	34
松永中学校	特別教室棟	1983	43
松永中学校	屋内運動場	1998	28
精華中学校	校舎棟	1988	38
精華中学校	武道場･プール	1991	35
精華中学校	屋内運動場	1988	38
芦田中学校	特別教室棟	1981	45
芦田中学校	南棟	1985	41
芦田中学校	技術棟	1983	43
芦田中学校	屋内運動場	1992	34
駅家中学校	西棟	1983	43
大門中学校	南棟	1979	47
一ツ橋中学校	北棟	1983	43
一ツ橋中学校	南棟	1983	43
一ツ橋中学校	屋内運動場	1983	43
東朋中学校	北棟	1986	40
東朋中学校	南棟	1986	40
東朋中学校	技術棟	1986	40
東朋中学校	屋内運動場	1986	40
駅家南中学校	北棟	1987	39
駅家南中学校	技術棟	1987	39
駅家南中学校	南棟	1987	39
駅家南中学校	屋内運動場	1987	39
至誠中学校	柔剣道場	1984	42
神辺中学校	特別教室北棟	2020	6
神辺中学校	特別教室南棟	2009	17
神辺西中学校	北棟	1983	43
神辺西中学校	南棟	1982	44
神辺西中学校	屋内運動場	1984	42
広瀬学園中学校	中学校棟	1988	31
広瀬学園中学校	特別教室棟	1993	33
加茂中学校	屋内運動場	2001	25

(3) 義務教育学校

学校名	建物名	建築年度	築年数
鞆の浦学園	南棟	2018	7
鞆の浦学園	屋内運動場	1990	36
想青学園	校舎棟	2022	4
想青学園	屋内運動場(校舎内)	2022	4
想青学園	柔剣道場	1985	41

(4) 中高一貫校

学校名	建物名	建築年度	築年数
福山中・高等学校	講義棟	1998	28
福山中・高等学校	格技場	1981	35

(5) 幼稚園

園名	建物名	建築年度	築年数
幕山幼稚園	遊戯室棟	1988	38

(6) 給食センター

施設名	建物名	建築年度	築年数
沼隈給食センター	給食センター	2000	26
新市給食センター	給食センター	2013	13

資料編２　構造躯体以外の劣化状況調査における建物別評価結果（2026 年 10 月時点）

１　小学校の建物別現地評価結果

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
東小学校	北棟	2020	A	A	A	A	A
東小学校	南棟	1978	D	C	C	C	C
東小学校	屋内運動場	1989	B	B	B	B	B
西小学校	北棟	2023	A	A	A	A	A
西小学校	南棟	1973	D	D	C	C	C
西小学校	屋内運動場	1988	A	B	B	B	B
南小学校	北棟	1969	A	B	C	C	C
南小学校	南棟	1952	D	D	C	C	C
南小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C
霞小学校	北棟・特別教室棟	1961	A	A	C	C	C
霞小学校	南棟	1980	C	C	B	B	B
霞小学校	屋内運動場	1978	D	C	C	C	C
川口小学校	北棟	1982	A	C	B	B	B
川口小学校	中棟	1962	A	A	C	C	C
川口小学校	南棟	1966	C	C	C	C	C
川口小学校	給食棟	1971	D	D	C	C	C
川口小学校	屋内運動場	1968	A	A	C	C	C
手城小学校	北棟	1971	B	C	C	C	C
手城小学校	南棟	1967	C	C	C	C	C
手城小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C
深津小学校	北棟	1970	A	A	C	C	C
深津小学校	南棟	1969	D	C	C	C	C
深津小学校	屋内運動場	1970	A	A	C	C	C
樹徳小学校	北棟	1971	B	C	C	C	C
樹徳小学校	南棟	1967	D	D	C	C	C
樹徳小学校	屋内運動場	1973	A	A	C	C	C
泉小学校	北棟	1971	A	B	C	C	C
泉小学校	中棟	1979	D	D	C	C	C
泉小学校	南棟	1976	D	C	C	C	C
泉小学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C
旭小学校	北棟	1970	A	B	C	C	C
旭小学校	南棟	1982	A	C	B	B	B

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
旭小学校	屋内運動場	1989	B	B	B	B	B
光小学校	北棟	1987	C	C	B	B	B
光小学校	中棟	1978	A	D	C	C	C
光小学校	南棟	1967	B	C	C	C	C
光小学校	屋内運動場	1991	A	B	B	B	B
引野小学校	北棟	1970	C	C	C	C	C
引野小学校	南棟	1966	A	B	C	C	C
引野小学校	屋内運動場	1968	C	C	C	C	C
蔵王小学校	校舎棟	1973	C	C	C	C	C
蔵王小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C
千田小学校	北棟	1979	A	C	C	C	C
千田小学校	南棟	1974	C	D	C	C	C
千田小学校	屋内運動場	1997	A	A	B	B	B
御幸小学校	北棟	1975	A	C	C	C	C
御幸小学校	南棟	1971	A	D	C	C	C
御幸小学校	屋内運動場	1988	C	C	B	B	B
津之郷小学校	北棟	1973	A	B	C	C	C
津之郷小学校	南棟	1989	D	C	B	B	B
津之郷小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C
赤坂小学校	校舎棟	1972	A	A	C	C	C
赤坂小学校	屋内運動場	1988	A	B	B	B	B
瀬戸小学校	北棟	1966	D	A	C	C	C
瀬戸小学校	南棟	1975	A	C	C	C	C
瀬戸小学校	屋内運動場	1969	A	A	C	C	C
熊野小学校	北棟	1967	C	C	C	C	C
熊野小学校	南棟	1975	B	D	C	C	C
熊野小学校	給食棟	1989	A	B	B	B	B
熊野小学校	屋内運動場	1978	B	C	C	C	C
水呑小学校	北棟(東側)	1971	D	D	C	C	C
水呑小学校	北棟(西側)	1976	D	D	C	C	C
水呑小学校	南棟	1984	C	C	B	B	B
水呑小学校	屋内運動場	2007	A	A	A	A	A
箕島小学校	校舎棟	1981	A	D	B	B	B
箕島小学校	給食棟	1990	A	B	B	B	B

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
箕島小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C
高島小学校	校舎棟	1986	D	B	B	B	B
高島小学校	屋内運動場	1973	B	B	C	C	C
大津野小学校	北棟	1974	A	C	C	C	C
大津野小学校	南棟	1974	D	C	C	C	C
大津野小学校	屋内運動場	1975	A	A	C	C	C
坪生小学校	北棟	1974	B	C	C	C	C
坪生小学校	南棟	1976	A	C	C	C	C
坪生小学校	屋内運動場	1975	C	C	C	C	C
春日小学校	北棟	1974	A	D	C	C	C
春日小学校	南棟	1970	A	C	C	C	C
春日小学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C
神村小学校	北棟	1962	A	D	C	C	C
神村小学校	南棟	1971	A	C	C	C	C
神村小学校	屋内運動場	1976	C	D	C	C	C
本郷小学校	北棟	1966	D	D	C	C	C
本郷小学校	南棟	1977	D	D	C	C	C
本郷小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C
松永小学校	北棟	1970	D	B	C	C	C
松永小学校	南棟	1971	A	B	C	C	C
松永小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C
柳津小学校	北棟	1987	A	B	B	B	B
柳津小学校	南棟	1975	A	D	C	C	C
柳津小学校	給食棟	1994	A	A	B	B	B
柳津小学校	屋内運動場	1982	A	B	B	B	B
金江小学校	北棟	1979	B	C	C	C	C
金江小学校	南棟	1965	D	B	C	C	C
金江小学校	屋内運動場	1987	C	B	B	B	B
藤江小学校	北棟	1981	D	C	B	B	B
藤江小学校	南棟	1981	A	C	B	B	B
藤江小学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B
伊勢丘小学校	北棟	1968	C	C	C	C	C
伊勢丘小学校	南棟	1970	C	C	C	C	C
伊勢丘小学校	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
曙小学校	北棟	1970	A	B	C	C	C
曙小学校	南棟	1969	A	B	C	C	C
曙小学校	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C
多治米小学校	校舎棟	1971	C	C	C	C	C
多治米小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C
旭丘小学校	北棟	1974	A	A	C	C	C
旭丘小学校	南棟	1973	A	B	C	C	C
旭丘小学校	屋内運動場	1974	A	B	C	C	C
有磨小学校	北棟	1990	D	C	B	B	B
有磨小学校	南棟	1966	A	C	C	C	C
有磨小学校	屋内運動場	1982	C	C	B	B	B
福相小学校	校舎棟	1974	B	B	C	C	C
福相小学校	屋内運動場	1976	C	D	C	C	C
宜山小学校	校舎棟	1971	A	D	C	C	C
宜山小学校	屋内運動場	1973	A	A	C	C	C
駅家小学校	北棟	1973	B	D	C	C	C
駅家小学校	管理棟	1989	D	C	B	B	B
駅家小学校	屋内運動場	1967	A	A	C	C	C
桜丘小学校	北棟	1974	C	B	C	C	C
桜丘小学校	南棟	1974	C	C	C	C	C
桜丘小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C
緑丘小学校	北棟	1975	C	B	C	C	C
緑丘小学校	南棟	1975	A	B	C	C	C
緑丘小学校	屋内運動場	1975	A	A	C	C	C
長浜小学校	北棟	1976	A	B	C	C	C
長浜小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C
長浜小学校	屋内運動場	1976	B	C	C	C	C
西深津小学校	北棟	1978	C	C	C	C	C
西深津小学校	南棟	1978	D	D	C	C	C
西深津小学校	屋内運動場	1978	D	D	C	C	C
野々浜小学校	北棟	1978	A	C	C	C	C
野々浜小学校	南棟	1978	A	C	C	C	C
野々浜小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C
幕山小学校	北棟	1978	A	A	C	C	C
幕山小学校	南棟	1978	A	D	C	C	C
幕山小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
久松台小学校	北棟	1979	D	C	C	C	C
久松台小学校	南棟	1979	D	B	C	C	C
久松台小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C
新涯小学校	北棟	1979	B	D	C	C	C
新涯小学校	南棟	1979	A	D	C	C	C
新涯小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C
山手小学校	北棟	1980	D	C	B	B	B
山手小学校	南棟	1980	D	B	B	B	B
山手小学校	屋内運動場	1980	C	B	B	B	B
日吉台小学校	北棟	1980	A	D	B	B	B
日吉台小学校	南棟	1980	A	A	B	B	B
日吉台小学校	屋内運動場	1980	C	C	B	B	B
川口東小学校	北棟	1981	B	C	B	B	B
川口東小学校	南棟	1981	D	D	B	B	B
川口東小学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B
駅家西小学校	北棟	1983	A	C	B	B	B
駅家西小学校	南棟	1983	D	C	B	B	B
駅家西小学校	屋内運動場	1983	D	C	B	B	B
大谷台小学校	北棟	1988	A	B	B	B	B
大谷台小学校	南棟	1988	A	B	B	B	B
大谷台小学校	給食棟	1988	A	A	B	B	B
大谷台小学校	屋内運動場	1988	B	C	B	B	B
明王台小学校	北棟	1996	A	B	B	B	B
明王台小学校	中棟	1996	A	B	B	B	B
明王台小学校	南棟	1996	A	B	B	B	B
明王台小学校	公民館棟	1996	A	B	B	B	B
明王台小学校	屋内運動場	1996	B	A	B	B	B
常金丸小学校	校舎棟	2023	A	A	A	A	A
常金丸小学校	屋内運動場	1998	A	A	B	B	B
網引小学校	北棟	1966	A	C	C	C	C
網引小学校	南棟	1967	A	C	C	C	C
網引小学校	屋内運動場	2002	A	A	A	A	A
新市小学校	北棟	1974	B	D	C	C	C
新市小学校	南棟	1968	A	D	C	C	C

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
新市小学校	屋内運動場	1969	B	A	C	C	C
戸手小学校	校舎棟	2021	A	A	A	A	A
戸手小学校	屋内運動場	2004	A	A	A	A	A
山南小学校	校舎棟	1978	B	C	C	C	C
山南小学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C
神辺小学校	校舎棟	1975	A	C	C	C	C
神辺小学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C
竹尋小学校	北棟	1967	A	C	C	C	C
竹尋小学校	南棟	1978	A	B	C	C	C
竹尋小学校	屋内運動場	1984	B	B	B	B	B
御野小学校	北棟	1980	A	C	B	B	B
御野小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C
御野小学校	屋内運動場	1981	A	C	B	B	B
湯田小学校	特別教室棟	1976	B	C	C	C	C
湯田小学校	北棟	1981	D	C	B	B	B
湯田小学校	南棟	1981	D	D	B	B	B
湯田小学校	給食棟	1980	A	C	B	B	B
湯田小学校	屋内運動場	1988	D	C	B	B	B
中条小学校	北棟	1986	A	B	B	B	B
中条小学校	中棟	2002	A	B	A	A	A
中条小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C
中条小学校	屋内運動場	1983	B	B	B	B	B
中条小学校三谷分校	校舎棟	1990	B	B	B	B	B
中条小学校三谷分校	屋内運動場	1991	B	C	B	B	B
道上小学校	北棟	1970	A	D	C	C	C
道上小学校	南棟	1978	A	D	C	C	C
道上小学校	給食棟	2010	A	A	A	A	A
道上小学校	屋内運動場	1972	C	B	C	C	C
遺芳丘小学校	北棟	1980	A	A	B	B	B
遺芳丘小学校	南棟	1980	A	A	B	B	B
遺芳丘小学校	屋内運動場	1980	A	A	B	B	B
駅家北小学校	北棟	1976	A	A	C	C	C
駅家北小学校	南棟	1979	A	A	C	C	C
駅家北小学校	屋内運動場	1977	B	C	B	C	C

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
常石ともに学園	校舎棟	1973	B	C	C	C	C
常石ともに学園	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C
広瀬学園小学校	小学校棟	2021	A	A	A	A	A
広瀬学園小学校	屋内運動場	1995	A	B	B	B	B
加茂小学校	西棟	1978	D	C	C	C	C
加茂小学校	給食棟	1984	B	A	B	B	B
加茂小学校	特別教室棟	1987	D	D	B	B	B
加茂小学校	屋内運動場	1968	B	B	C	C	C

2　中学校の建物別現地評価結果

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
東中学校	北棟	1965	A	A	C	C	C
東中学校	南棟	1982	D	C	B	B	B
東中学校	屋内運動場	1961	D	D	C	C	C
東中学校	武道場･プール	1997	B	B	B	B	B
城北中学校	北棟	2021	A	A	A	A	A
城北中学校	南棟	2019	A	A	A	A	A
城北中学校	屋内運動場	1965	B	C	C	C	C
城南中学校	北棟	1968	A	C	C	C	C
城南中学校	南棟	1979	A	C	C	C	C
城南中学校	特別教室棟	1978	D	C	C	C	C
城南中学校	普通教室棟	1961	D	D	C	C	C
城南中学校	屋内運動場	1961	A	A	C	C	C
鷹取中学校	北棟	1970	A	C	C	C	C
鷹取中学校	南棟	1977	A	C	C	C	C
鷹取中学校	西棟	1961	D	C	C	C	C
鷹取中学校	技術棟	1962	D	C	C	C	C
鷹取中学校	屋内運動場	1959	A	A	C	C	C
鷹取中学校	武道場･プール	1992	B	B	B	B	B
城東中学校	北棟	1993	D	B	B	B	B
城東中学校	南棟	1972	A	A	C	C	C
城東中学校	技術棟･武道場	1990	B	B	B	B	B
城東中学校	屋内運動場	2012	A	A	A	A	A
幸千中学校	北棟	1977	A	C	C	C	C
幸千中学校	南棟	1979	A	C	C	C	C

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
幸千中学校	屋内運動場	1966	A	A	C	C	C
済美中学校	北棟	1965	A	C	C	C	C
済美中学校	南棟	1979	C	C	C	C	C
済美中学校	技術棟	1976	D	C	C	C	C
済美中学校	屋内運動場	1999	A	A	B	B	B
向丘中学校	北棟	1975	D	D	C	C	C
向丘中学校	南棟	1963	A	A	C	C	C
向丘中学校	屋内運動場	2000	A	A	A	A	A
鳳中学校	A棟	1965	A	D	C	C	C
鳳中学校	B棟	1966	B	B	C	C	C
鳳中学校	C棟	1971	C	C	C	C	C
鳳中学校	管理棟	1975	B	D	C	C	C
鳳中学校	技術棟	1978	D	C	C	C	C
鳳中学校	屋内運動場	1967	A	A	C	C	C
鳳中学校	武道場・プール	1990	B	B	B	B	B
培遠中学校	北棟	1978	D	D	C	C	C
培遠中学校	南棟	1966	A	C	C	C	C
培遠中学校	特別教室棟	1982	D	D	B	B	B
培遠中学校	屋内運動場	1968	A	A	C	C	C
培遠中学校	武道場・プール	1993	B	B	B	B	B
大成館中学校	北棟	1975	A	C	C	C	C
大成館中学校	南棟	1967	D	D	C	C	C
大成館中学校	屋内運動場	1977	D	D	C	C	C
松永中学校	北棟	1979	C	C	C	C	C
松永中学校	南棟	1974	B	C	C	C	C
松永中学校	特別教室棟	1983	C	C	B	B	B
松永中学校	屋内運動場	1998	A	A	B	B	B
精華中学校	校舎棟	1988	A	A	B	B	B
精華中学校	屋内運動場	1988	B	B	B	B	B
精華中学校	武道場・プール	1991	B	B	B	B	B
中央中学校	南棟	1972	D	C	C	C	C
中央中学校	特別教室棟	1973	A	C	C	C	C
中央中学校	屋内運動場	1974	C	C	C	C	C
芦田中学校	特別教室棟	1981	D	C	B	B	B

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
芦田中学校	中棟	1979	D	C	C	C	C
芦田中学校	南棟	1985	A	C	B	B	B
芦田中学校	技術棟	1983	D	C	B	B	B
芦田中学校	屋内運動場	1992	B	B	B	B	B
駅家中学校	特別教室棟	1963	C	D	C	C	C
駅家中学校	南棟	1961	D	B	C	C	C
駅家中学校	西棟	1983	D	C	B	B	B
駅家中学校	技術棟	1963	B	B	C	C	C
駅家中学校	渡り廊下	1962	A	A	C	C	C
駅家中学校	屋内運動場	1963	A	A	C	C	C
誠之中学校	北棟	1977	A	D	C	C	C
誠之中学校	中棟	1976	D	D	C	C	C
誠之中学校	南棟	1980	D	C	B	B	B
誠之中学校	屋内運動場	1976	A	A	C	C	C
城西中学校	北棟	1979	D	C	C	C	C
城西中学校	南棟	1979	C	B	C	C	C
城西中学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C
大門中学校	北棟	1979	B	C	C	C	C
大門中学校	南棟	1979	D	C	C	C	C
大門中学校	技術棟	1979	C	D	C	C	C
大門中学校	屋内運動場	1979	C	C	C	C	C
一ツ橋中学校	北棟	1983	A	C	B	B	B
一ツ橋中学校	南棟	1983	D	D	B	B	B
一ツ橋中学校	屋内運動場	1983	C	C	B	B	B
東朋中学校	北棟	1986	D	C	B	B	B
東朋中学校	南棟	1986	D	C	B	B	B
東朋中学校	技術棟	1986	D	C	B	B	B
東朋中学校	屋内運動場	1986	C	C	B	B	B
駅家南中学校	北棟	1987	A	B	B	B	B
駅家南中学校	南棟	1987	A	B	B	B	B
駅家南中学校	技術棟	1987	A	B	B	B	B
駅家南中学校	屋内運動場	1987	B	B	B	B	B
至誠中学校	校舎棟	1981	B	D	B	B	B
至誠中学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B
至誠中学校	柔剣道場	1984	B	B	B	B	B

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
神辺中学校	北棟	1966	A	A	C	C	C
神辺中学校	管理棟	1967	A	C	C	C	C
神辺中学校	特別教室北棟	2020	A	A	A	A	A
神辺中学校	特別教室南棟	2009	A	A	A	A	A
神辺中学校	屋内運動場	1968	A	D	C	C	C
神辺東中学校	西棟	1979	C	C	C	C	C
神辺東中学校	東棟	1979	A	D	C	C	C
神辺東中学校	屋内運動場	1980	B	C	B	B	B
神辺西中学校	北棟	1983	C	B	B	B	B
神辺西中学校	南棟	1982	D	C	B	B	B
神辺西中学校	屋内運動場	1984	C	B	B	B	B
新市中央中学校	北棟	1977	B	C	C	C	C
新市中央中学校	南棟	1977	B	C	C	C	C
新市中央中学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C
広瀬学園中学校	中学校棟	1988	A	B	B	B	B
広瀬学園中学校	特別教室棟	1993	A	B	B	B	B
加茂中学校	校舎棟	1979	D	B	C	C	C
加茂中学校	屋内運動場	2001	A	A	A	A	A

3　義務教育学校の建物別現地評価結果

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
鞆の浦学園	北棟	1978	A	A	A	A	A
鞆の浦学園	中棟	1979	A	A	A	A	A
鞆の浦学園	南棟	2018	A	A	A	A	A
鞆の浦学園（旧鞆小）	屋内運動場	1990	A	A	B	B	B
鞆の浦学園（旧鞆中）	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C
想青学園	校舎棟	2022	A	A	A	A	A
想青学園	屋内運動場（校舎内）	2022	A	A	A	A	A
想青学園	柔剣道場	1985	B	B	B	B	B
想青学園（旧千年中）	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C

4　中高一貫校の建物別現地評価結果

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
福山中・高等学校	北棟	1973	D	C	C	C	C
福山中・高等学校	中棟	1973	D	C	C	C	C
福山中・高等学校	南棟	1973	D	C	C	C	C
福山中・高等学校	講義棟	1998	B	B	B	B	B
福山中・高等学校	屋内運動場	1974	A	B	C	C	C
福山中・高等学校	格技場	1981	B	C	B	B	B

5　幼稚園の建物別現地評価結果

園名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
西幼稚園	南棟	1973	D	D	C	C	C
手城幼稚園	保育棟,管理棟	1968	B	C	C	C	C
手城幼稚園	保育棟	1970	B	C	C	C	C
伊勢丘幼稚園	遊戯室棟,保育室棟	1966	C	C	C	C	C
あけぼの幼稚園	保育管理棟	1969	B	B	C	C	C
あけぼの幼稚園	管理保育室棟	1973	B	B	C	C	C
坪生幼稚園	保育棟,管理棟	1972	C	C	C	C	C
緑丘幼稚園	保育棟	1974	C	C	C	C	C
新涯幼稚園	保育管理棟・遊戯室棟	1980	B	C	B	B	B
湯田幼稚園	管理普通教室棟	1973	B	C	C	C	C
道上幼稚園	管理普通教室棟	1976	B	C	C	C	C

6　給食センターの建物別現地評価結果

施設名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
沼隈給食センター	給食センター	2000	B	B	A	A	A
新市給食センター	給食センター	2013	A	A	A	A	A

資料編３　施設整備方針別グループの学校別・建物別内訳（2026 年 10 月時点）

長寿命化のライフサイクルの位置づけ

１　Ａグループ

長寿命化改修を行うグループは，次のとおりです。なお，今後の構造躯体健全性詳細調査の結果や学校再編の状況等により実際の改修内容等が変更する場合があります。

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
霞小学校	南棟	1980	46	80 以上
泉小学校	中棟	1979	47	80 以上
千田小学校	北棟	1979	47	80 以上
本郷小学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
金江小学校	北棟	1979	47	80 以上
藤江小学校	北棟	1981	45	80 以上
藤江小学校	南棟	1981	45	80 以上
藤江小学校	屋内運動場	1981	45	80 以上
久松台小学校	北棟	1979	47	80 以上
久松台小学校	南棟	1979	47	80 以上
久松台小学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
新涯小学校	北棟	1979	47	80 以上
新涯小学校	南棟	1979	47	80 以上
新涯小学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
山手小学校	北棟	1980	46	80 以上
山手小学校	南棟	1980	46	80 以上
山手小学校	屋内運動場	1980	46	80 以上
日吉台小学校	北棟	1980	46	80 以上
日吉台小学校	南棟	1980	46	80 以上
日吉台小学校	屋内運動場	1980	46	80 以上
川口東小学校	屋内運動場	1981	46	80 以上
山南小学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
神辺小学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
遺芳丘小学校	北棟	1980	46	80 以上
遺芳丘小学校	南棟	1980	46	80 以上
遺芳丘小学校	屋内運動場	1980	46	80 以上
駅家北小学校	南棟	1979	47	80 以上
城南中学校	南棟	1979	47	80 以上
幸千中学校	南棟	1979	47	80 以上
済美中学校	南棟	1979	47	80 以上
松永中学校	北棟	1979	47	80 以上
芦田中学校	中棟	1979	47	80 以上
誠之中学校	南棟	1980	46	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
城西中学校	北棟	1979	47	80 以上
城西中学校	南棟	1979	47	80 以上
城西中学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
大門中学校	北棟	1979	47	80 以上
大門中学校	技術棟	1979	47	80 以上
大門中学校	屋内運動場	1979	47	80 以上
至誠中学校	校舎棟	1981	45	80 以上
至誠中学校	屋内運動場	1981	45	80 以上
神辺東中学校	西棟	1979	47	80 以上
神辺東中学校	東棟	1979	47	80 以上
神辺東中学校	屋内運動場	1980	46	80 以上
鞆の浦学園	中棟	1979	47	80 以上
新涯幼稚園	保育管理棟 遊戯室棟	1980	46	80 以上

2　Ｂグループ

中規模改修や部位修繕を行うグループは，次のとおりです。なお，今後の構造躯体健全性詳細調査の結果や学校再編の状況等により実際の改修内容等が変更する場合があります。

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
東小学校	南棟	1978	48	80 以上
西小学校	南棟	1973	53	60-80
南小学校	北棟	1969	57	60-80
南小学校	南棟	1952	74	60-80
南小学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
霞小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
川口小学校	南棟	1966	60	80 以上
川口小学校	給食棟	1971	55	60-80
川口小学校	屋内運動場	1968	58	80 以上
手城小学校	屋内運動場	1972	54	80 以上
深津小学校	北棟	1970	58	80 以上
深津小学校	南棟	1969	57	60-80
深津小学校	屋内運動場	1970	58	80 以上
樹徳小学校	北棟	1971	55	60-80
樹徳小学校	屋内運動場	1973	53	80 以上
泉小学校	北棟	1971	55	80 以上
泉小学校	南棟	1976	50	80 以上
泉小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
旭小学校	北棟	1970	56	80 以上
光小学校	中棟	1978	48	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
光小学校	南棟	1967	59	60-80
引野小学校	北棟	1970	56	80 以上
引野小学校	屋内運動場	1968	58	80 以上
蔵王小学校	校舎棟	1973	53	80 以上
蔵王小学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
千田小学校	南棟	1974	52	80 以上
御幸小学校	北棟	1975	51	80 以上
御幸小学校	南棟	1971	55	60-80
津之郷小学校	北棟	1973	53	80 以上
津之郷小学校	屋内運動場	1972	54	80 以上
赤坂小学校	校舎棟	1972	54	60-80
瀬戸小学校	北棟	1966	60	60-80
瀬戸小学校	南棟	1975	51	80 以上
瀬戸小学校	屋内運動場	1969	57	80 以上
熊野小学校	北棟	1967	59	80 以上
熊野小学校	南棟	1975	51	80 以上
熊野小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
水呑小学校	北棟(東側)	1971	55	80 以上
水呑小学校	北棟(西側)	1976	50	80 以上
箕島小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
高島小学校	屋内運動場	1973	53	80 以上
大津野小学校	北棟	1974	52	60-80
大津野小学校	南棟	1974	52	60-80
大津野小学校	屋内運動場	1975	51	80 以上
坪生小学校	北棟	1974	52	80 以上
坪生小学校	南棟	1976	50	80 以上
坪生小学校	屋内運動場	1975	51	80 以上
春日小学校	北棟	1974	52	80 以上
春日小学校	南棟	1970	56	60-80
春日小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
神村小学校	南棟	1971	55	60-80
神村小学校	屋内運動場	1976	50	80 以上
本郷小学校	南棟	1977	49	60-80
松永小学校	北棟	1970	56	80 以上
松永小学校	南棟	1971	55	60-80
松永小学校	屋内運動場	1972	54	80 以上
柳津小学校	南棟	1975	51	80 以上
伊勢丘小学校	北棟	1968	58	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
伊勢丘小学校	南棟	1970	56	60-80
伊勢丘小学校	屋内運動場	1971	88	80 以上
曙小学校	北棟	1970	56	60-80
曙小学校	南棟	1969	57	60-80
曙小学校	屋内運動場	1971	55	80 以上
多治米小学校	校舎棟	1971	55	60-80
多治米小学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
旭丘小学校	北棟	1974	52	80 以上
旭丘小学校	南棟	1973	53	80 以上
旭丘小学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
福相小学校	校舎棟	1974	52	80 以上
福相小学校	屋内運動場	1976	50	80 以上
宜山小学校	校舎棟	1971	55	60-80
宜山小学校	屋内運動場	1973	53	80 以上
駅家小学校	北棟	1973	53	80 以上
駅家小学校	屋内運動場	1967	59	80 以上
桜丘小学校	北棟	1974	52	60-80
桜丘小学校	南棟	1974	52	60-80
桜丘小学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
緑丘小学校	北棟	1975	51	80 以上
緑丘小学校	南棟	1975	51	80 以上
緑丘小学校	屋内運動場	1975	51	80 以上
長浜小学校	北棟	1976	50	60-80
長浜小学校	南棟	1977	49	60-80
長浜小学校	屋内運動場	1976	50	80 以上
西深津小学校	北棟	1978	48	80 以上
西深津小学校	南棟	1978	48	80 以上
西深津小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
野々浜小学校	北棟	1978	48	80 以上
野々浜小学校	南棟	1978	48	60-80
野々浜小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
幕山小学校	北棟	1978	48	80 以上
幕山小学校	南棟	1978	48	80 以上
幕山小学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
網引小学校	北棟	1966	60	60-80
網引小学校	南棟	1967	59	60-80
新市小学校	北棟	1974	52	60-80
新市小学校	南棟	1968	58	60-80

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
新市小学校	屋内運動場	1969	57	80 以上
山南小学校	校舎棟	1978	48	80 以上
神辺小学校	校舎棟	1975	51	60-80
竹尋小学校	南棟	1978	48	80 以上
御野小学校	南棟	1977	49	80 以上
湯田小学校	特別教室棟	1976	50	80 以上
湯田小学校	給食棟	1980	46	60-80
中条小学校	南棟	1977	49	80 以上
道上小学校	北棟	1970	56	80 以上
道上小学校	南棟	1978	48	80 以上
道上小学校	屋内運動場	1972	54	80 以上
駅家北小学校	北棟	1976	50	80 以上
駅家北小学校	屋内運動場	1977	49	80 以上
常石ともに学園	校舎棟	1973	53	60-80
常石ともに学園	屋内運動場	1974	45	80 以上
加茂小学校	西棟	1978	48	80 以上
加茂小学校	屋内運動場	1968	51	80 以上
東中学校	屋内運動場	1961	65	80 以上
城北中学校	屋内運動場	1965	61	80 以上
城南中学校	北棟	1968	58	60-80
城南中学校	特別教室棟	1978	48	60-80
城南中学校	屋内運動場	1961	65	80 以上
鷹取中学校	南棟	1977	49	60-80
鷹取中学校	西棟	1961	65	80 以上
鷹取中学校	屋内運動場	1959	67	80 以上
城東中学校	南棟	1972	54	80 以上
幸千中学校	北棟	1977	49	80 以上
幸千中学校	屋内運動場	1966	60	80 以上
済美中学校	技術棟	1976	50	80 以上
向丘中学校	南棟	1963	63	60-80
鳳中学校	B棟	1966	60	80 以上
鳳中学校	C棟	1971	55	60-80
鳳中学校	管理棟	1975	51	60-80
鳳中学校	技術棟	1978	48	80 以上
鳳中学校	屋内運動場	1967	59	80 以上
培遠中学校	北棟	1978	48	80 以上
培遠中学校	南棟	1966	60	80 以上
培遠中学校	屋内運動場	1968	58	80 以上

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
大成館中学校	北棟	1975	51	80 以上
大成館中学校	南棟	1967	59	80 以上
大成館中学校	屋内運動場	1977	49	80 以上
松永中学校	南棟	1974	52	60-80
中央中学校	南棟	1972	54	60-80
中央中学校	特別教室棟	1973	53	80 以上
中央中学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
駅家中学校	特別教室棟	1963	63	80 以上
駅家中学校	南棟	1961	65	60-80
駅家中学校	渡り廊下	1962	64	80 以上
駅家中学校	技術棟	1963	63	80 以上
駅家中学校	屋内運動場	1963	63	80 以上
誠之中学校	北棟	1977	49	80 以上
誠之中学校	中棟	1976	50	80 以上
誠之中学校	屋内運動場	1976	50	80 以上
神辺中学校	管理棟	1967	52	80 以上
神辺中学校	屋内運動場	1968	51	80 以上
新市中央中学校	北棟	1977	49	80 以上
新市中央中学校	南棟	1977	49	60-80
新市中央中学校	屋内運動場	1978	48	80 以上
加茂中学校	校舎棟	1979	47	60-80
鞆の浦学園	北棟	1978	48	80 以上
鞆の浦学園（旧鞆中）	屋内運動場	1971	55	80 以上
福山中・高等学校	北棟	1973	53	60-80
福山中・高等学校	中棟	1973	53	60-80
福山中・高等学校	南棟	1973	53	60-80
福山中・高等学校	屋内運動場	1974	52	80 以上
道上幼稚園	管理普通教室棟	1976	50	60-80
西幼稚園	南棟	1973	53	60-80
手城幼稚園	保育棟・管理棟	1968	58	80 以上
手城幼稚園	保育棟	1970	56	80 以上
あけぼの幼稚園	保育管理棟	1969	57	80 以上
あけぼの幼稚園	管理保育室棟	1973	53	80 以上
坪生幼稚園	保育棟,管理棟	1972	54	80 以上
緑丘幼稚園	保育棟	1974	52	80 以上
湯田幼稚園	管理普通教室棟	1973	53	80 以上

３　Ｃグループ

建替え等を検討するグループは，次のとおりです。なお，学校再編の状況等により実際の改修内容等が変更する場合があります。

学校名	建物名	建築年度	築年数	期待できる使用年数
霞小学校	北棟･特別教室棟	1961	65	60 未満
川口小学校	中棟	1962	64	60 未満
手城小学校	北棟	1971	55	60 未満
手城小学校	南棟	1967	59	60 未満
樹徳小学校	南棟	1967	59	60 未満
引野小学校	南棟	1966	60	60 未満
神村小学校	北棟	1962	64	60 未満
本郷小学校	北棟	1966	60	60 未満
金江小学校	南棟	1965	61	60 未満
伊勢丘小学校	南棟	1970	56	60 未満
有磨小学校	南棟	1966	60	60 未満
竹尋小学校	北棟	1967	59	60 未満
東中学校	北棟	1965	61	60 未満
城南中学校	普通教室棟	1961	65	60 未満
鷹取中学校	北棟	1970	56	60 未満
鷹取中学校	技術棟	1962	64	60 未満
済美中学校	北棟	1965	61	60 未満
向丘中学校	南棟	1963	63	60 未満
鳳中学校	Ａ棟	1965	61	60 未満
神辺中学校	北棟	1966	60	60 未満

４　新耐震基準の建物

新耐震基準の建物は，次のとおりです。

長寿命化改修の対象であり，設計時に構造躯体健全性詳細調査を実施します。

学校名	建物名	建築年度	築年数
東小学校	北棟	2020	6
東小学校	屋内運動場	1989	37
西小学校	北棟	2023	3
西小学校	屋内運動場	1988	38
川口小学校	北棟	1982	44
旭小学校	南棟	1982	44
旭小学校	屋内運動場	1989	37
光小学校	北棟	1987	39
光小学校	屋内運動場	1991	35

学校名	建物名	建築年度	築年数
千田小学校	屋内運動場	1997	29
御幸小学校	屋内運動場	1988	38
津之郷小学校	南棟	1989	37
赤坂小学校	屋内運動場	1988	38
熊野小学校	給食棟	1989	37
水呑小学校	南棟	1984	42
水呑小学校	屋内運動場	2007	19
箕島小学校	校舎棟	1981	45
箕島小学校	給食棟	1990	36
高島小学校	校舎棟	1986	40
柳津小学校	北棟	1987	39
柳津小学校	給食棟	1994	32
柳津小学校	屋内運動場	1982	44
金江小学校	屋内運動場	1987	39
有磨小学校	北棟	1990	36
有磨小学校	屋内運動場	1982	44
駅家小学校	管理棟	1989	37
川口東小学校	北棟	1981	45
川口東小学校	南棟	1981	45
駅家西小学校	北棟	1983	43
駅家西小学校	南棟	1983	43
駅家西小学校	屋内運動場	1983	43
大谷台小学校	北棟	1988	38
大谷台小学校	南棟	1988	38
大谷台小学校	給食棟	1988	38
大谷台小学校	屋内運動場	1988	38
明王台小学校	北棟	1996	30
明王台小学校	中棟	1996	30
明王台小学校	南棟	1996	30
明王台小学校	公民館棟	1996	30
明王台小学校	屋内運動場	1996	30
常金丸小学校	校舎棟	2023	3
常金丸小学校	屋内運動場	1998	28
網引小学校	屋内運動場	2002	24
戸手小学校	校舎棟	2021	5
戸手小学校	屋内運動場	2004	22
竹尋小学校	屋内運動場	1984	42

学校名	建物名	建築年度	築年数
御野小学校	北棟	1980	46
御野小学校	屋内運動場	1981	45
湯田小学校	北棟	1981	45
湯田小学校	南棟	1981	45
湯田小学校	屋内運動場	1988	38
中条小学校	北棟	1986	40
中条小学校	中棟	2002	24
中条小学校	屋内運動場	1983	43
道上小学校	給食棟	2010	16
広瀬学園小学校	小学校棟	2021	5
広瀬学園小学校	屋内運動場	1995	31
加茂小学校	南棟	2019	7
加茂小学校	給食棟	1984	42
加茂小学校	特別教室棟	1987	39
東中学校	南棟	1982	44
東中学校	武道場・プール	1997	29
城北中学校	北棟	2021	5
城北中学校	南棟	2019	7
鷹取中学校	武道場・プール	1992	34
城東中学校	北棟	1993	33
城東中学校	技術棟・武道場	1990	36
城東中学校	屋内運動場	2012	14
済美中学校	屋内運動場	1999	27
向丘中学校	屋内運動場	2000	26
鳳中学校	武道場・プール	1990	36
培遠中学校	特別教室棟	1982	44
培遠中学校	武道場・プール	1993	34
松永中学校	特別教室棟	1983	43
松永中学校	屋内運動場	1998	28
精華中学校	校舎棟	1988	38
精華中学校	武道場・プール	1991	35
精華中学校	屋内運動場	1988	38
芦田中学校	特別教室棟	1981	45
芦田中学校	南棟	1985	41
芦田中学校	技術棟	1983	43
芦田中学校	屋内運動場	1992	34
駅家中学校	西棟	1983	43
大門中学校	南棟	1979	47

学校名	建物名	建築年度	築年数
一ツ橋中学校	北棟	1983	43
一ツ橋中学校	南棟	1983	43
一ツ橋中学校	屋内運動場	1983	43
東朋中学校	北棟	1986	40
東朋中学校	南棟	1986	40
東朋中学校	技術棟	1986	40
東朋中学校	屋内運動場	1986	40
駅家南中学校	北棟	1987	39
駅家南中学校	技術棟	1987	39
駅家南中学校	南棟	1987	39
駅家南中学校	屋内運動場	1987	39
至誠中学校	柔剣道場	1984	42
神辺中学校	特別教室北棟	2020	6
神辺中学校	特別教室南棟	2009	17
神辺西中学校	北棟	1983	43
神辺西中学校	南棟	1982	44
神辺西中学校	屋内運動場	1984	42
広瀬学園中学校	中学校棟	1988	31
広瀬学園中学校	特別教室棟	1993	33
加茂中学校	屋内運動場	2001	25
鞆の浦学園	南棟	2018	7
鞆の浦学園（旧鞆小）	屋内運動場	1990	36
想青学園	校舎棟	2022	4
想青学園	屋内運動場（校舎内）	2022	4
想青学園	柔剣道場	1985	41
福山中・高等学校	講義棟	1998	28
福山中・高等学校	格技場	1981	45
沼隈給食センター	給食センター	2000	26
新市給食センター	給食センター	2013	13

資料編４　健全度による学校別・建物別評価結果（2026 年 10 月時点）

今後の保全優先度を検討する上で，現地調査を実施した施設の健全度を以下に示します。

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
東小学校	北棟	2020	A	A	A	A	A	100
東小学校	南棟	1978	D	C	C	C	C	37
東小学校	屋内運動場	1989	B	B	B	B	B	75
西小学校	北棟	2023	A	A	A	A	A	100
西小学校	南棟	1973	D	D	C	C	C	29
西小学校	屋内運動場	1988	A	B	B	B	B	77
南小学校	北棟	1969	A	B	C	C	C	55
南小学校	南棟	1952	D	D	C	C	C	29
南小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C	62
霞小学校	北棟･特別教室棟	1961	A	A	C	C	C	62
霞小学校	南棟	1980	C	C	B	B	B	62
霞小学校	屋内運動場	1978	D	C	C	C	C	37
川口小学校	北棟	1982	A	C	B	B	B	67
川口小学校	中棟	1962	A	A	C	C	C	62
川口小学校	南棟	1966	C	C	C	C	C	40
川口小学校	給食棟	1971	D	D	C	C	C	29
川口小学校	屋内運動場	1968	A	A	C	C	C	62
手城小学校	北棟	1971	B	C	C	C	C	43
手城小学校	南棟	1967	C	C	C	C	C	40
手城小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C	62
深津小学校	北棟	1970	A	A	C	C	C	62
深津小学校	南棟	1969	D	C	C	C	C	37
深津小学校	屋内運動場	1970	A	A	C	C	C	62
樹徳小学校	北棟	1971	B	C	C	C	C	43
樹徳小学校	南棟	1967	D	D	C	C	C	29
樹徳小学校	屋内運動場	1973	A	A	C	C	C	62
泉小学校	北棟	1971	A	B	C	C	C	55
泉小学校	中棟	1979	D	D	C	C	C	29
泉小学校	南棟	1976	D	C	C	C	C	37
泉小学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C	62
旭小学校	北棟	1970	A	B	C	C	C	55
旭小学校	南棟	1982	A	C	B	B	B	67

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
旭小学校	屋内運動場	1989	B	B	B	B	B	75
光小学校	北棟	1987	C	C	B	B	B	62
光小学校	中棟	1978	A	D	C	C	C	37
光小学校	南棟	1967	B	C	C	C	C	43
光小学校	屋内運動場	1991	A	B	B	B	B	77
引野小学校	北棟	1970	C	C	C	C	C	40
引野小学校	南棟	1966	A	B	C	C	C	55
引野小学校	屋内運動場	1968	C	C	C	C	C	40
蔵王小学校	校舎棟	1973	C	C	C	C	C	40
蔵王小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C	62
千田小学校	北棟	1979	A	C	C	C	C	45
千田小学校	南棟	1974	C	D	C	C	C	31
千田小学校	屋内運動場	1997	A	A	B	B	B	84
御幸小学校	北棟	1975	A	C	C	C	C	45
御幸小学校	南棟	1971	A	D	C	C	C	37
御幸小学校	屋内運動場	1988	C	C	B	B	B	62
津之郷小学校	北棟	1973	A	B	C	C	C	55
津之郷小学校	南棟	1989	D	C	B	B	B	59
津之郷小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C	62
赤坂小学校	校舎棟	1972	A	A	C	C	C	62
赤坂小学校	屋内運動場	1988	A	B	B	B	B	77
瀬戸小学校	北棟	1966	D	A	C	C	C	55
瀬戸小学校	南棟	1975	A	C	C	C	C	45
瀬戸小学校	屋内運動場	1969	A	A	C	C	C	62
熊野小学校	北棟	1967	C	C	C	C	C	40
熊野小学校	南棟	1975	B	D	C	C	C	34
熊野小学校	給食棟	1989	A	B	B	B	B	77
熊野小学校	屋内運動場	1978	B	C	C	C	C	43
水呑小学校	北棟(東側)	1971	D	D	C	C	C	29
水呑小学校	北棟(西側)	1976	D	D	C	C	C	29
水呑小学校	南棟	1984	C	C	B	B	B	62
水呑小学校	屋内運動場	2007	A	A	A	A	A	100
箕島小学校	校舎棟	1981	A	D	B	B	B	58
箕島小学校	給食棟	1990	A	B	B	B	B	77
箕島小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C	40
高島小学校	校舎棟	1986	D	B	B	B	B	69

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
高島小学校	屋内運動場	1973	B	B	C	C	C	53
大津野小学校	北棟	1974	A	C	C	C	C	45
大津野小学校	南棟	1974	D	C	C	C	C	37
大津野小学校	屋内運動場	1975	A	A	C	C	C	62
坪生小学校	北棟	1974	B	C	C	C	C	43
坪生小学校	南棟	1976	A	C	C	C	C	45
坪生小学校	屋内運動場	1975	C	C	C	C	C	40
春日小学校	北棟	1974	A	D	C	C	C	37
春日小学校	南棟	1970	A	C	C	C	C	45
春日小学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C	62
神村小学校	北棟	1962	A	D	C	C	C	37
神村小学校	南棟	1971	A	C	C	C	C	45
神村小学校	屋内運動場	1976	C	D	C	C	C	31
本郷小学校	北棟	1966	D	D	C	C	C	29
本郷小学校	南棟	1977	D	D	C	C	C	29
本郷小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C	37
松永小学校	北棟	1970	D	B	C	C	C	47
松永小学校	南棟	1971	A	B	C	C	C	55
松永小学校	屋内運動場	1972	A	A	C	C	C	62
柳津小学校	北棟	1987	A	B	B	B	B	77
柳津小学校	南棟	1975	A	D	C	C	C	37
柳津小学校	給食棟	1994	A	A	B	B	B	84
柳津小学校	屋内運動場	1982	A	B	B	B	B	77
金江小学校	北棟	1979	B	C	C	C	C	43
金江小学校	南棟	1965	D	B	C	C	C	47
金江小学校	屋内運動場	1987	C	B	B	B	B	72
藤江小学校	北棟	1981	D	C	B	B	B	59
藤江小学校	南棟	1981	A	C	B	B	B	67
藤江小学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B	62
伊勢丘小学校	北棟	1968	C	C	C	C	C	40
伊勢丘小学校	南棟	1970	C	C	C	C	C	40
伊勢丘小学校	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C	62
曙小学校	北棟	1970	A	B	C	C	C	55
曙小学校	南棟	1969	A	B	C	C	C	55
曙小学校	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C	62
多治米小学校	校舎棟	1971	C	C	C	C	C	40

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
多治米小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C	62
旭丘小学校	北棟	1974	A	A	C	C	C	62
旭丘小学校	南棟	1973	A	B	C	C	C	55
旭丘小学校	屋内運動場	1974	A	B	C	C	C	55
有磨小学校	北棟	1990	D	C	B	B	B	59
有磨小学校	南棟	1966	A	C	C	C	C	45
有磨小学校	屋内運動場	1982	C	C	B	B	B	62
福相小学校	校舎棟	1974	B	B	C	C	C	53
福相小学校	屋内運動場	1976	C	D	C	C	C	31
宜山小学校	校舎棟	1971	A	D	C	C	C	37
宜山小学校	屋内運動場	1973	A	A	C	C	C	62
駅家小学校	北棟	1973	B	D	C	C	C	34
駅家小学校	管理棟	1989	D	C	B	B	B	59
駅家小学校	屋内運動場	1967	A	A	C	C	C	62
桜丘小学校	北棟	1974	C	B	C	C	C	50
桜丘小学校	南棟	1974	C	C	C	C	C	40
桜丘小学校	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C	62
緑丘小学校	北棟	1975	C	B	C	C	C	50
緑丘小学校	南棟	1975	A	B	C	C	C	55
緑丘小学校	屋内運動場	1975	A	A	C	C	C	62
長浜小学校	北棟	1976	A	B	C	C	C	55
長浜小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C	45
長浜小学校	屋内運動場	1976	B	C	C	C	C	43
西深津小学校	北棟	1978	C	C	C	C	C	40
西深津小学校	南棟	1978	D	D	C	C	C	29
西深津小学校	屋内運動場	1978	D	D	C	C	C	29
野々浜小学校	北棟	1978	A	C	C	C	C	45
野々浜小学校	南棟	1978	A	C	C	C	C	45
野々浜小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C	40
幕山小学校	北棟	1978	A	A	C	C	C	62
幕山小学校	南棟	1978	A	D	C	C	C	37
幕山小学校	屋内運動場	1978	C	C	C	C	C	40
久松台小学校	北棟	1979	D	C	C	C	C	37
久松台小学校	南棟	1979	D	B	C	C	C	47
久松台小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C	37
新涯小学校	北棟	1979	B	D	C	C	C	34

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
新涯小学校	南棟	1979	A	D	C	C	C	37
新涯小学校	屋内運動場	1979	D	C	C	C	C	37
山手小学校	北棟	1980	D	C	B	B	B	59
山手小学校	南棟	1980	D	B	B	B	B	69
山手小学校	屋内運動場	1980	C	B	B	B	B	72
日吉台小学校	北棟	1980	A	D	B	B	B	58
日吉台小学校	南棟	1980	A	A	B	B	B	84
日吉台小学校	屋内運動場	1980	C	C	B	B	B	62
川口東小学校	北棟	1981	B	C	B	B	B	65
川口東小学校	南棟	1981	D	D	B	B	B	51
川口東小学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B	62
駅家西小学校	北棟	1983	A	C	B	B	B	67
駅家西小学校	南棟	1983	D	C	B	B	B	59
駅家西小学校	屋内運動場	1983	D	C	B	B	B	59
大谷台小学校	北棟	1988	A	B	B	B	B	77
大谷台小学校	南棟	1988	A	B	B	B	B	77
大谷台小学校	給食棟	1988	A	A	B	B	B	84
大谷台小学校	屋内運動場	1988	B	C	B	B	B	65
明王台小学校	北棟	1996	A	B	B	B	B	77
明王台小学校	中棟	1996	A	B	B	B	B	77
明王台小学校	南棟	1996	A	B	B	B	B	77
明王台小学校	公民館棟	1996	A	B	B	B	B	77
明王台小学校	屋内運動場	1996	B	A	B	B	B	82
常金丸小学校	校舎棟	2023	A	A	A	A	A	100
常金丸小学校	屋内運動場	1998	A	A	B	B	B	84
網引小学校	北棟	1966	A	C	C	C	C	45
網引小学校	南棟	1967	A	C	C	C	C	45
網引小学校	屋内運動場	2002	A	A	A	A	A	100
新市小学校	北棟	1974	B	D	C	C	C	34
新市小学校	南棟	1968	A	D	C	C	C	37
新市小学校	屋内運動場	1969	B	A	C	C	C	60
戸手小学校	校舎棟	2021	A	A	A	A	A	100
戸手小学校	屋内運動場	2004	A	A	A	A	A	100
山南小学校	校舎棟	1978	B	C	C	C	C	43
山南小学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C	62
神辺小学校	校舎棟	1975	A	C	C	C	C	45

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
神辺小学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C	62
竹尋小学校	北棟	1967	A	C	C	C	C	45
竹尋小学校	南棟	1978	A	B	C	C	C	55
竹尋小学校	屋内運動場	1984	B	B	B	B	B	75
御野小学校	北棟	1980	A	C	B	B	B	67
御野小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C	45
御野小学校	屋内運動場	1981	A	C	B	B	B	67
湯田小学校	特別教室棟	1976	B	C	C	C	C	43
湯田小学校	北棟	1981	D	C	B	B	B	59
湯田小学校	南棟	1981	D	D	B	B	B	51
湯田小学校	給食棟	1980	A	C	B	B	B	67
湯田小学校	屋内運動場	1988	D	C	B	B	B	59
中条小学校	北棟	1986	A	B	B	B	B	77
中条小学校	中棟	2002	A	B	A	A	A	93
中条小学校	南棟	1977	A	C	C	C	C	45
中条小学校	屋内運動場	1983	B	B	B	B	B	75
道上小学校	北棟	1970	A	D	C	C	C	37
道上小学校	南棟	1978	A	D	C	C	C	37
道上小学校	給食棟	2010	A	A	A	A	A	100
道上小学校	屋内運動場	1972	C	B	C	C	C	50
遺芳丘小学校	北棟	1980	A	A	B	B	B	84
遺芳丘小学校	南棟	1980	A	A	B	B	B	84
遺芳丘小学校	屋内運動場	1980	A	A	B	B	B	84
駅家北小学校	北棟	1976	A	A	C	C	C	62
駅家北小学校	南棟	1979	A	A	C	C	C	62
駅家北小学校	屋内運動場	1977	B	C	B	C	C	56
常石ともに学園	校舎棟	1973	B	C	C	C	C	43
常石ともに学園	屋内運動場	1974	A	A	C	C	C	62
広瀬学園小学校	小学校棟	2021	A	A	A	A	A	100
広瀬学園小学校	屋内運動場	1995	A	B	B	B	B	77
加茂小学校	西棟	1978	D	C	C	C	C	37
加茂小学校	給食棟	1984	B	A	B	B	B	82
加茂小学校	特別教室棟	1987	D	D	B	B	B	51
加茂小学校	屋内運動場	1968	B	B	C	C	C	53
東中学校	北棟	1965	A	A	C	C	C	62
東中学校	南棟	1982	D	C	B	B	B	59

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
東中学校	屋内運動場	1961	D	D	C	C	C	29
東中学校	武道場･プール	1997	B	B	B	B	B	75
城北中学校	北棟	2021	A	A	A	A	A	100
城北中学校	南棟	2019	A	A	A	A	A	100
城北中学校	屋内運動場	1965	B	C	C	C	C	43
城南中学校	北棟	1968	A	C	C	C	C	45
城南中学校	南棟	1979	A	C	C	C	C	45
城南中学校	特別教室棟	1978	D	C	C	C	C	37
城南中学校	普通教室棟	1961	D	D	C	C	C	29
城南中学校	屋内運動場	1961	A	A	C	C	C	62
鷹取中学校	北棟	1970	A	C	C	C	C	45
鷹取中学校	南棟	1977	A	C	C	C	C	45
鷹取中学校	西棟	1961	D	C	C	C	C	37
鷹取中学校	技術棟	1962	D	C	C	C	C	37
鷹取中学校	屋内運動場	1959	A	A	C	C	C	62
鷹取中学校	武道場･プール	1992	B	B	B	B	B	75
城東中学校	北棟	1993	D	B	B	B	B	69
城東中学校	南棟	1972	A	A	C	C	C	62
城東中学校	技術棟･武道場	1990	B	B	B	B	B	75
城東中学校	屋内運動場	2012	A	A	A	A	A	100
幸千中学校	北棟	1977	A	C	C	C	C	45
幸千中学校	南棟	1979	A	C	C	C	C	45
幸千中学校	屋内運動場	1966	A	A	C	C	C	62
済美中学校	北棟	1965	A	C	C	C	C	45
済美中学校	南棟	1979	C	C	C	C	C	40
済美中学校	技術棟	1976	D	C	C	C	C	37
済美中学校	屋内運動場	1999	A	A	B	B	B	84
向丘中学校	北棟	1975	D	D	C	C	C	29
向丘中学校	南棟	1963	A	A	C	C	C	62
向丘中学校	屋内運動場	2000	A	A	A	A	A	100
鳳中学校	A棟	1965	A	D	C	C	C	37
鳳中学校	B棟	1966	B	B	C	C	C	53
鳳中学校	C棟	1971	C	C	C	C	C	40
鳳中学校	管理棟	1975	B	D	C	C	C	34
鳳中学校	技術棟	1978	D	C	C	C	C	37
鳳中学校	屋内運動場	1967	A	A	C	C	C	62

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
鳳中学校	武道場･プール	1990	B	B	B	B	B	75
培遠中学校	北棟	1978	D	D	C	C	C	29
培遠中学校	南棟	1966	A	C	C	C	C	45
培遠中学校	特別教室棟	1982	D	D	B	B	B	51
培遠中学校	屋内運動場	1968	A	A	C	C	C	62
培遠中学校	武道場･プール	1993	B	B	B	B	B	75
大成館中学校	北棟	1975	A	C	C	C	C	45
大成館中学校	南棟	1967	D	D	C	C	C	29
大成館中学校	屋内運動場	1977	D	D	C	C	C	29
松永中学校	北棟	1979	C	C	C	C	C	40
松永中学校	南棟	1974	B	C	C	C	C	43
松永中学校	特別教室棟	1983	C	C	B	B	B	62
松永中学校	屋内運動場	1998	A	A	B	B	B	84
精華中学校	校舎棟	1988	A	A	B	B	B	84
精華中学校	屋内運動場	1988	B	B	B	B	B	75
精華中学校	武道場･プール	1991	B	B	B	B	B	75
中央中学校	南棟	1972	D	C	C	C	C	37
中央中学校	特別教室棟	1973	A	C	C	C	C	45
中央中学校	屋内運動場	1974	C	C	C	C	C	40
芦田中学校	特別教室棟	1981	D	C	B	B	B	59
芦田中学校	中棟	1979	D	C	C	C	C	37
芦田中学校	南棟	1985	A	C	B	B	B	67
芦田中学校	技術棟	1983	D	C	B	B	B	59
芦田中学校	屋内運動場	1992	B	B	B	B	B	75
駅家中学校	特別教室棟	1963	C	D	C	C	C	31
駅家中学校	南棟	1961	D	B	C	C	C	47
駅家中学校	西棟	1983	D	C	B	B	B	59
駅家中学校	技術棟	1963	B	B	C	C	C	53
駅家中学校	渡り廊下	1962	A	A	C	C	C	62
駅家中学校	屋内運動場	1963	A	A	C	C	C	62
誠之中学校	北棟	1977	A	D	C	C	C	37
誠之中学校	中棟	1976	D	D	C	C	C	29
誠之中学校	南棟	1980	D	C	B	B	B	59
誠之中学校	屋内運動場	1976	A	A	C	C	C	62
城西中学校	北棟	1979	D	C	C	C	C	37
城西中学校	南棟	1979	C	B	C	C	C	50

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
城西中学校	屋内運動場	1979	A	A	C	C	C	62
大門中学校	北棟	1979	B	C	C	C	C	43
大門中学校	南棟	1979	D	C	C	C	C	37
大門中学校	技術棟	1979	C	D	C	C	C	31
大門中学校	屋内運動場	1979	C	C	C	C	C	40
一ツ橋中学校	北棟	1983	A	C	B	B	B	67
一ツ橋中学校	南棟	1983	D	D	B	B	B	51
一ツ橋中学校	屋内運動場	1983	C	C	B	B	B	62
東朋中学校	北棟	1986	D	C	B	B	B	59
東朋中学校	南棟	1986	D	C	B	B	B	59
東朋中学校	技術棟	1986	D	C	B	B	B	59
東朋中学校	屋内運動場	1986	C	C	B	B	B	62
駅家南中学校	北棟	1987	A	B	B	B	B	77
駅家南中学校	南棟	1987	A	B	B	B	B	77
駅家南中学校	技術棟	1987	A	B	B	B	B	77
駅家南中学校	屋内運動場	1987	B	B	B	B	B	75
至誠中学校	校舎棟	1981	B	D	B	B	B	56
至誠中学校	屋内運動場	1981	C	C	B	B	B	62
至誠中学校	柔剣道場	1984	B	B	B	B	B	75
神辺中学校	北棟	1966	A	A	C	C	C	62
神辺中学校	管理棟	1967	A	C	C	C	C	45
神辺中学校	特別教室北棟	2020	A	A	A	A	A	100
神辺中学校	特別教室南棟	2009	A	A	A	A	A	100
神辺中学校	屋内運動場	1968	A	D	C	C	C	37
神辺東中学校	西棟	1979	C	C	C	C	C	40
神辺東中学校	東棟	1979	A	D	C	C	C	37
神辺東中学校	屋内運動場	1980	B	C	B	B	B	65
神辺西中学校	北棟	1983	C	B	B	B	B	72
神辺西中学校	南棟	1982	D	C	B	B	B	59
神辺西中学校	屋内運動場	1984	C	B	B	B	B	72
新市中央中学校	北棟	1977	B	C	C	C	C	43
新市中央中学校	南棟	1977	B	C	C	C	C	43
新市中央中学校	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C	62
広瀬学園中学校	中学校棟	1988	A	B	B	B	B	77
広瀬学園中学校	特別教室棟	1993	A	B	B	B	B	77
加茂中学校	校舎棟	1979	D	B	C	C	C	47

学校名	建物名	建築年度	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度
加茂中学校	屋内運動場	2001	A	A	A	A	A	100
鞆の浦学園	北棟	1978	A	A	A	A	A	100
鞆の浦学園	中棟	1979	A	A	A	A	A	100
鞆の浦学園	南棟	2018	A	A	A	A	A	100
鞆の浦学園（旧鞆小）	屋内運動場	1990	A	A	B	B	B	84
鞆の浦学園（旧鞆中）	屋内運動場	1971	A	A	C	C	C	62
想青学園	校舎棟	2022	A	A	A	A	A	100
想青学園	屋内運動場（校舎内）	2022	A	A	A	A	A	100
想青学園	柔剣道場	1985	B	B	B	B	B	75
想青学園（旧千年中）	屋内運動場	1978	A	A	C	C	C	62
福山中・高等学校	北棟	1973	D	C	C	C	C	37
福山中・高等学校	中棟	1973	D	C	C	C	C	37
福山中・高等学校	南棟	1973	D	C	C	C	C	37
福山中・高等学校	講義棟	1998	B	B	B	B	B	75
福山中・高等学校	格技場	1981	B	C	B	B	B	65
福山中・高等学校	屋内運動場	1974	A	B	C	C	C	55
西幼稚園	南棟	1973	D	D	C	C	C	29
手城幼稚園	保育棟,管理棟	1968	B	C	C	C	C	43
手城幼稚園	保育棟	1970	B	C	C	C	C	43
あけぼの幼稚園	保育管理棟	1969	B	B	C	C	C	53
あけぼの幼稚園	管理保育室棟	1973	B	B	C	C	C	53
坪生幼稚園	保育棟,管理棟	1972	C	C	C	C	C	40
緑丘幼稚園	保育棟	1974	C	C	C	C	C	40
新涯幼稚園	保育管理棟　遊戯室棟	1980	B	C	B	B	B	65
湯田幼稚園	管理普通教室棟	1973	B	C	C	C	C	43
道上幼稚園	管理普通教室棟	1976	B	C	C	C	C	43
沼隈給食センター	給食センター	2000	B	B	A	A	A	91
新市給食センター	給食センター	2013	A	A	A	A	A	100

資料編５　用語集（50 音順）

あ

ＩＣＴ	Information and Communication Technology の略。情報通信技術からその応用利用場面まで広く使用され，コンピューターやインターネットの進化と広がりで，工学的技術から企業経営・人文・社会科学，コミュニケーションまでその応用範囲を広げている技術・手法の総称をいう。
ＥＨＰ	空調設備のうち電動機駆動式のエアコン「電気モータヒートポンプ」のこと。電気モーターを使用してコンプレッサを動かし，冷媒を循環させて気化と液化を繰り返すことで冷暖房を行う。
イエナプラン教育	ドイツのイエナ大学の教育学教授が始めた学校教育。オランダで普及しており，子ども一人ひとりの個性を尊重しながら自立と共生を学ぶ。その特徴は，次のとおり。 ・学級が，異なる年齢の子どもたちで編成される。 ・「対話」「遊び」「仕事（学習）」「催し（行事や祝い）」の４つの活動を循環的に行う。 ・教室を「リビングルーム」として捉え，安心して過ごせる環境づくりを行う。
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか，社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し，保持し続けるため，建物や設備の点検・診断を行い，必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。
インフラ	インフラストラクチャーの略で，都市活動を支える基盤的構造物。具体的には，鉄道，幹線道路，下水道，エネルギー，情報の供給処理ネットワークなどがこれに該当する。
インフラ長寿命化基本計画	「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が平成 25 年 11 月に策定した計画で，国民の安全・安心を確保し，中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに，維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すもの。国や地方公共団体，その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象としている。
ＬＥＤ	Light Emitting Diode の略で，発光ダイオードと呼ばれる半導体のこと。白熱電球と比較して寿命がとても長く，省エネルギーであるため，多用途に利用されている。

か

改修	経年劣化した建物の部分または全体の原状回復を図る工事や，建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあったり，教育上，著しく不適当な状態にあったりする既存の建物を「建替える」こと。
外部開口部	採光，換気，通行などを目的とした建物の外気に面する開口部のこと。窓や扉等の外部建具や換気口となっていることが多い。
躯体	建物の柱，梁，壁，基礎等の構造耐力上主要な部分のこと。
グラウンド不陸調整	グラウンドの凹凸を修正すること。

クラック	建物の外壁等に見られるひび割れのこと。
コア抜き	床や壁に円筒形の穴を開け，コンクリートコアを採取すること。採取された円柱型のコアを用いてコンクリート中性化試験やコンクリート圧縮強度試験等を行う。採取した個所は修復を行う。
コンクリート圧縮強度	コンクリートがどれくらいの重さに耐えられるかを示す。13.5N/mm^2 は 1cm^2 当たり約 135kg に耐えられる。
コンクリート中性化	経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われることをいい，中性化の進む速さは時間の平方根に比例することが知られている。鉄筋コンクリート造建物等でコンクリートの中性化が進行すると内部の鉄筋がさびやすい状況になる。

さ

ＧＨＰ	空調設備のうちガスエンジン駆動式のエアコン「ガスエンジンヒートポンプ」のこと。ガスエンジンで動かすコンプレッサで冷媒を循環させて気化と液化を繰り返すことで冷暖房を行う。
仕口	柱と梁のように，方向の異なる 2 つ以上の部材を接合したり，交差させること。またはその接合箇所のこと。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う，事後的な保全のこと。
修繕	経年劣化した建物の部分を，既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料，形状，寸法を用いて原状回復を図ること。
受変電設備	電力会社の変電所から供給される高電圧の電気を，学校等の建物で使用できる低い電圧に変圧するための設備であり，変圧器や配電盤等を一括して金属製の箱内に収めたもの。

た

耐震化	建物が地震で倒壊しないよう補強すること。
耐震基準	一定の強さの地震が起きても倒壊または損壊しない建築物が建てられるよう，建築基準法が定めている基準のこと。1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日に導入された現行の耐震基準を新耐震基準といい，それ以前に用いられていた耐震基準を旧耐震基準という。
耐震診断	建築士などの専門家が，既存の建物が地震に対して安全であるか否かを調査して判断すること。
長寿命化	建物の構造体の耐用年数，いわゆる建物本来の寿命まで建物の物理的な性能をできる限り健全に維持し，使い続けようという考えに立つこと。
長寿命化改修	老朽化した建物について，物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え，建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。
鉄筋かぶり厚さ	鉄筋コンクリート造建物のコンクリートの表面から鉄筋の表面までの最小距離のこと。
鉄筋コンクリート造（ＲＣ造）	主に柱や梁，床・壁が鉄筋とコンクリートで構成されている建物または工法のこと。

<table>
<tr><td>鉄筋コンクリートの爆裂</td><td>建物のひび割れ等から雨水や炭酸ガスが躯体内に浸入してコンクリート中性化が進み，躯体内の鉄筋にさびが発生することにより，鉄筋の体積が膨張し鉄筋周辺のコンクリートが押し出された状態のこと。</td></tr>
<tr><td>鉄筋腐食状況</td><td>鉄筋コンクリート造建物で，コンクリートの中性化が進むと，鉄筋周囲のコンクリートが中性になり，鉄筋の腐食が始まる。劣化の程度は表 1 の 4 段階に大まかに分けられ，それぞれの段階での鉄筋の腐食は表 2 のような状態となる。
表 1
<table><tr><th rowspan="2">劣化度の判定</th><th colspan="2">評価基準</th></tr><tr><th>外観の劣化症状</th><th>鉄筋の腐食状況</th></tr><tr><td>健全</td><td>めだった劣化症状はない</td><td>鉄筋の腐食はグレードⅡ以下</td></tr><tr><td>軽度</td><td>乾燥収縮等による幅 0.3 ㎜未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）</td><td>腐食グレードⅢの鉄筋がある</td></tr><tr><td>中度</td><td>鉄筋腐食による幅 0.5 ㎜未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）</td><td>腐食グレードⅣの鉄筋がある</td></tr><tr><td>重度</td><td>鉄筋腐食による幅 0.5 ㎜以上のひび割れ，浮き，鉄筋の露出などが認められる</td><td>腐食グレードⅤの鉄筋がある，または，大多数の鉄筋がⅣ</td></tr></table>表 2
<table><tr><th>腐食度</th><th colspan="2">腐食状態</th></tr><tr><td>Ⅰ</td><td></td><td>腐食がなく，黒皮の状態</td></tr><tr><td>Ⅱ</td><td></td><td>表面にわずかな点さびが生じている</td></tr><tr><td>Ⅲ</td><td></td><td>表面に薄いさびがひろがっており，コンクリートにさびが付着している</td></tr><tr><td>Ⅳ</td><td></td><td>やや厚みのある膨張性のさびが生じているが，断面欠損は比較的少ない</td></tr><tr><td>Ⅴ</td><td></td><td>鉄筋全体にわたって著しい膨張性のさびが生じており，断面欠損がある</td></tr></table>（文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引」より）</td></tr>
<tr><td>鉄骨造（Ｓ造）</td><td>柱や梁など骨組に鉄骨を使用した建物または工法のこと。</td></tr>
<tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）</td><td>鉄骨の柱の周りに鉄筋を組み，コンクリートを打ち込んだもので柱や梁，床・壁を構成している建物または工法のこと。鉄骨と鉄筋コンクリートが協力した構造体として働く。</td></tr>
<tr><td>トイレのドライ化</td><td>従来の学校のトイレとして主流であった，主にタイル貼りで排水溝が設置され水を流して清掃する湿式トイレを，ビニル系床材等を用いることにより最小限の水の使用で清掃する乾式トイレへ改修すること。</td></tr>
<tr><td>特認校</td><td>通学区域に関係なく，当該市町村内のどこからでも就学を認める学校。本市では，不登校等児童生徒の実態に配慮した教育課程を実施する。</td></tr>
</table>

な

延床面積	建物の各階の床面積の合計のこと。

は

はつり	コンクリート等を削るなどの作業全般のこと。
バリアフリー	高齢者・障がい者等が社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。

ＰＦＩ	Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設や維持管理，運営等を民間資金や経営能力及び技術能力を活用し，効果的かつ効率的に社会資本整備を図る事業手法のこと。
ＰＰＰ	Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で，民間資本や民間のノウハウを利用し，効率化や公共サービスの向上をめざすもの。
複合化	本来は異なった機能・用途である建物を１つに集約して計画する手法。
福山市公共施設等サービス再構築基本方針	「福山市総合計画」に基づくまちづくりを進めていく上での公共施設等に関するマネジメントの方針を示すもの。
福山市公立就学前教育・保育施設の再整備計画	保護者や地域のニーズに即した教育・保育環境の実現に資することを目的として策定された，福山市立の就学前の教育・保育施設の再整備と地域子育て支援を包括する計画。
福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針	福山市のめざす子ども像である「福山に愛着と誇りを持ち，変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」を育成するため，子どもたちにとっての教育効果をより高めていくことを基本に，小中一貫教育の推進と望ましい学校教育環境を実現するための方針。
福山市総合計画	市制施行 100 周年後の新たなまちづくりに向け，だれもが心豊かにいきいきと暮らせ，夢と希望あふれる社会を実現するため，市民を始め，産学金官民といった多様な主体と共有する福山市の未来ビジョンとして示すもの。
福山市立学校施設耐震化推進計画	児童生徒が安心して安全に学べるとともに，災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう，福山市立学校施設の耐震化を推進する計画。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間，その性能や機能を良好な状態に保つほか，社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し，保持し続けること。保全のための手段として，点検・診断・改修等がある。

や

幼保連携型認定こども園	幼稚園と保育所の両方の機能をあわせ持つ単一の施設である認定こども園としての機能を果たす施設。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から，機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う，予防的な保全のこと。なお，あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。

ら

ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）	建物の計画，設計から建設，維持管理，解体，廃棄までの全期間に必要な費用のこと。
ルーフドレン	屋根・屋上に設置する雨水用の排水金物。雨水に伴う土砂や木の葉などの流入を防ぐ。